

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
事前及び事後の指導	3~4	三期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は教職課程における、養護教諭になるための学習として位置づけられている。また、受講動機としては「資格取得に必要である」80.0%、「必須科目である」53.3%、「関心のある内容である」13.3%であった。</p> <p>これらのことから、養護実習に向けての準備や実習後のカンファレンスを通して、自分が目指す養護教諭像や学校現場での実践についてより具体的にイメージできるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。さらに学生が養護実習で経験する職務内容について、学校現場で実践できるように具体的な事例を示し、わかりやすく解説することを心がけた。授業の事前準備として、classroomに事前に資料を掲載し、予習・復習に役立つようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は85.0点であった。理想的レベル（90点以上）は8名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識・理解に関しては85.0%、思考・判断85.0%、意欲・関心85.3%、技能表現86.0%であった。授業では基礎的な問題の定着を確認しつつ、復習問題を課題に出すなどの工夫を通して、応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた（平均値4.1 中央値4.0）、また意欲・関心においては、自分が学ぼうとしている専門分野において様々な課題を検討する力を得ることができた（平均値3.8、中央値4.0）であった。さらに、職業選択の参考になった（平均値4.1 中央値4.0）であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「教職課程科目」であり、養護教諭になるための学習として位置付けられている。 受講動機としては受講動機としては「資格取得に必要である」80.0%、「必須科目である」53.3%、「関心のある内容である」13.3%であった。 また、学生の授業評価においては、思考・判断において知識を確認、修正したり、新たに得ることができた（平均値4.1 中央値4.0）と答えている。また、関心・意欲においては自分が学ぼうとしている専門分野について、さまざまな課題を検討する力を得ることができた（平均値3.9、中央値4.0）、職業選択の参考になった（平均値4.1 中央値4.0）と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て知識理解に関する達成度をさらに定着させるために、基礎知識を活用し、応用問題に適応するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の学習量の評価においては、「養護教諭の専門性を高めるために自ら勉強した。」、「採用試験の勉強をした。」、「自主学习。」、「復習。」などの意見があり、熱心に授業に取り組んでいた。講義でしっかりと基礎知識を身につけ、グループワークなどを取り入れ、学校現場で臨機応変に活躍できるような実践的な力を身につけることができるように授業を改善していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、学校現場では、医学的知識を身につけた専門職としての活躍が期待されている。養護実習で経験する救急処置について、実践事例を通して、学んだ知識をさらに活用できるような実践力が身につくように授業内容を工夫していきたい。授業においてもclassroomの機能を活用し、積極的に演習ができるような授業内容を工夫していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教職実践演習（養護教諭）	4	後期	選択	はい	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は教職課程における、養護教諭になるための学習として位置づけられ、さらに教職実践の進化を図るための科目として位置づけられている。</p> <p>受講動機としては「資格取得に必要である」82.4%、「必須科目である」64.7%、「関心のある内容である」23.5%であった。</p> <p>本科目では、養護実習を通して学んだことを通して、自分が目指す養護教諭像や学校現場での実践についてより具体的にイメージできるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。さらに学校現場においてより実践力を身につけることができるように、保健教育における「性に関する指導」、「養護教諭と多職種連携について」の講義内容を設け、養護教諭の職務内容と専門性について理解が深まるように授業内容を工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は90.0点（±3.3）であった。理想的レベル（90点以上）は15名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識・理解に関しては、90.0%、思考・判断90.4%、関心・意欲90.4%、技能・表現90.6%であった。</p> <p>授業では、養護実習の実践を通して個人で振り返り、個人の課題を把握しグループワークを通して課題に取り組み、学校現場での実践に生かすことができるように授業内容を工夫した。また、学校現場において対応を求められている現代的な課題に対応できるように、「養護教諭と多職種連携について」事例を通じた授業展開を行った。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた（平均値4.0 中央値4.0）、また意欲・関心においては、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができた（平均値3.8 中央値4.0）、職業選択の参考になった（平均値3.9 中央値4.0）であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「教職課程科目」であり、養護教諭になるための学習、教職実践の深化を図る科目として位置づけられている。 受講動機としては受講動機としては「資格取得に必要である」82.4%、「必須科目である」64.7%、「関心のある内容である」23.5%であった。 また、学生の授業評価においては、思考・判断において知識を確認、修正したり、新たに得ることができた（平均値4.0 中央値4.0）、意欲・関心においては自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた（平均値3.8 中央値4.0）と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容の妥当性 本科目は、教職課程の深化を図るための科目として位置付けられている。授業においては養護実習の経験を通して、学校現場で実践できる力を養成するために、講義と演習のバランスを考慮した。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性に問題は無いと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量の評価として授業の課題以外に取り組んだこととして、「授業の課題をさらに詳しく調べるために取り組んだ。」「演習問題について制度や機関について調べた。」「情報収集、話を聴く。」など採用試験の勉強や授業に熱心に取り組んでいた。今後もオンラインでの授業が想定されるが、classroom等も活用し、学校現場で臨機応変に活躍し、実践できるような力を身につけることができるように、グループワークなどを積極的に取り入れ、授業を行っていききたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、教職実践の深化を図る科目である。養護教諭は学校において、医学的知識を身につけた専門職としての活躍が期待されている。子どもたちを取り巻く環境は複雑化しており、養護教諭は多職種と連携し課題を解決できるような実践力が求められている。福祉学科の特性を活かし「養護教諭と多職種連携」についての講義を通し、課題解決に向けて学んだ知識をさらに活用し実践力が身につくように授業内容を工夫していききたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	永町 友恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学（新約聖書）	1	後期	必修	いいえ	88

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>聖書を学ぶことが初めての学生にも、分かりやすくなるように準備いたしました。インターネットを通しての講義なので視覚的に説明するために、YouTubeなどの教材も積極的に取り入れました。また教会音楽を通して聴覚的にもキリスト教会の雰囲気を感じられるように工夫し、色々なジャンルの教会音楽を紹介しました。さらに聖書の言葉を信じた、キリスト者の人生からも学べるように何人かの人物を紹介して学んでいただきました。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義直ぐに課題を提出する学生もいれば、前期終盤にまとめて提出する学生もいました。成績は前期よりも厳しく採点しました。そのことで、大学の講義だという自覚を持たせました。オンラインでの講義は、キリスト教学にとっては講義しにくい面がありました。特に学生から質問を受けることは、オンラインの講義中では非常に難しかったと思います。しかし課題提出の時に質問した学生には、返答で答えたり、学生共通の質問や誤解している場合は、次の講義の冒頭で説明しました。来季からは対面で講義ができることを楽しみにしております。またキリスト教、そして聖書の入門的な位置づけの講義ですので、授業だけで完結するようにプログラムを組み立てました。今後はさらに図書館に多くのキリスト教関係の書物があることの紹介や、さらなる学びの方向性についてもアピールできたらと思います。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

この講義の目的は、実際に聖書を手に取り、読んでもらうこと。そして聖書の全体像をつかんでもらう。さらに、この西南女学院大学の創立精神がこの聖書の中にあることを知ってもらうことです。後期は新約聖書を学ぶことでしたので、イエス・キリストとはどのような存在なのか、聖書の人物はどのような人生を経験したのか。またキリストの教えが世界にどのように影響を与えたかを知っていただくことでした。しかし聖書にあまり興味のない学生がいたことは事実です。その方々に色々なジャンルの教会音楽を通して、キリスト教学に興味を持っていただけるようにアピールしました。またこのコロナ禍にあって学生たちが不安を持つ中で、講義の最初の祈り、心休まる体験もできました。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

対面講義とオンライン講義の違いがあるので、対面になった時に、どのように講義を進めていくかが問われます。また今年度は私自身が、講義の初年度でしたので、講義を準備するだけで精一杯でありました。今後、もう一度講義のカリキュラムを全体的に見直し、より良い講義を進められるように改善していきたいと思います。またハウリングや音声が聞きにくい状況があったことも知りました。これは受け手側のネット環境にも問題がある場合がありますが、気をつけて行きたいと思いました。この講義は知的面だけの学びではないので、実際に教会の礼拝に参加することや、大学のチャペルをリアルに参加することができたら、より講義の内容が理解できるのではないかと思います。インターネットを通しての講義でありましたので、最大限ユーチューブなどから教材を選び視覚的に見せられたことは良かったと思います。対面の講義になっても引き続きそれらを利用したいと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

新型コロナウイルスの影響で全ての講義がオンラインになり、チャペルもオンラインで、そして実際に学生たちが教会の礼拝に参加できない厳しい状態での講義でありましたので、講義を進めるのに非常に難しさを覚えました。私自身最初の年であり、講義の計画を立てるところから始まりました。そのため準備期間が限られていましたし、またオンライン授業の進め方を学ぶところからのスタートにも不安がありました。オンライン講義の手ほどきをしていただいた皆様には感謝いたします。そのような中でも、学生たちに、神、イエスさま、そして聖書のすばらしさを感じていただけたのではないかと思います。またキリスト者の社会的貢献から学び、弱さを覚える方々がキリストにあって生き生きと生活した姿をお知らせすることもできました。また福祉の精神がキリスト教の精神とも共通性があることも学んでいただけたと思います。そして聖書の中の女性にスポットを当て、女子大の学生に聖書登場人物に対して近さを感じていただきました。さらにこのキリスト教の信仰で、この西南女学院大学が創立されたことを分かち合うことができました。しかし大学の講義ですから、さらなるキリスト教学、聖書の学びに進めるよう、今後準備していきたいと思っています。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初年次セミナーII	1	後期	必修	いいえ	87

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は44名（回答率50.6%）であった。学生の受講動機は「必修科目である」が90.9%であった。このほか、「単位数を確保する」、「資格取得に必要である」がともに25.0%、「関心のある内容である」が20.5%であった。この科目は、全体での共通の講義のほか、教員のオムニバス形式(6回1クールで行うので、実際に学生が受講する教員は2名)で行う科目であることから、各教員の専門性を重視しつつ、「初年次セミナーI」で学んだ「調べる」「聞く」「読む」「書く」ための技能に加えて、「発表する」「討論する」ための技能を身につけることを目的として授業を行った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価について、理想的レベル（90点以上）に達した学生は33名いた一方、例年ほぼいなかった再試験対象者は2名出たほか、出席数不足により単位取得できなかった学生が9名と、過去に例のない多さであり、意欲的な学生と意欲の低い学生の格差が目についた。到達度自己評価をみると、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値がともに4.3、「自分なりの目標を達成した」の平均値が4.2、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値がいずれも4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値がともに4.0であった。その他の項目の平均値も3.9～3.7を示しており、ほぼ同様の傾向を示している。学習量については、授業の準備を1回も行わなかった学生が14名、1回行った学生は6名、2、3回行った学生は13名、4,5回行った学生は7名、6回行った学生は4名であり、「初年次セミナーI」に比べて学習量はかなり減少している。これは、学生の出席率や課題提出率が例年より低かったことも影響していると思われる。また、図書館の図書、雑誌を利用した学生、学術データベースを利用した学生はともに5名であった一方、インターネットを利用した学生は22名であったことから、遠隔授業が多く、週2～3日しか大学に来ることができなかった中で、インターネットで積極的に調べようと努力した跡がみられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「必修科目」、「総合人間科学科目」であり、大学における学習の技能を身につけるための科目である。当然福祉の専門領域を学ぶための技能を身につけるための科目でもあり、内容的には妥当であると考え。②DP行動目標から見ると、すべてのDPの基礎となる内容を網羅しているともいえる。よって、内容的妥当性には問題ないと考え。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は4.4、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値がいずれも4.3、「説明は理解しやすいものであった」の平均値が4.2であった。これらの数値については、ほぼ遠隔授業で行った昨年度より上昇しており、前期の「初年次セミナーI」と同様の水準を維持している。学習量について、授業の復習を全くしなかった学生は12名、授業の課題以外の学習に取り組んでいない学生は34名と、一昨年度より大幅に減少した昨年度に比べて、割合としては大幅に上昇している。授業の課題以外の学習に取り組んだ学生は10名であった。具体的に取り組んだ学習は、「積極的に本を読んだ」、「インターネットで調べた」、「記録した内容を整理しました」、「興味分野に関する情報の収集」などだが、これらは授業の課題と密接に関連する学習でもある。他方、授業の課題以外の学習に取り組まなかった理由については、「他の講義の課題を行っていたから」との意見があった一方で、「授業内容で十分だと感じた」、「課題で十分だと思ったから」との意見が見られ、さらには「課題の取り組み方がよくわからなかった」との意見がみられた。学習の技能については、振り返り、繰り返しながら徐々に身につくものでもあり、学生が積極的な学習姿勢をとるための動機づけが今後の課題であると言えよう。学生の意見については、「わかりやすかったし、ディベート楽しかったです！レポート訂正もされて良かったです！」との意見があった。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

この科目では、全学共通の総合人間科学科目として、「調べる」「聞く」「読む」「書く」技能の習得に重点を置いた「初年次セミナーI」を基礎として、研究倫理のほか、さらに「発表する」「討論する」技能の習得を目指したが、当初の目標はおおむね達成できたと言えよう。次年度以降も「初年次セミナーI」「初年次セミナーII」を通じて、専門教育が本格化する2年次以降の学習をより深めるため、大学で学ぶための基礎的な知識、技能を身に付けることを目指す。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生涯スポーツ	1	後期	選択	いいえ	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、からだを動かすことが中心のスポーツ実技の授業であり、学生が積極的に自律心をもって楽しく行えるように、指示は必要最小限にした。また、カロリーカウンターを用いることによって、授業中の歩数や消費カロリーを把握させ、からだを動かすことへの動機づけを図った。</p> <p>ラケットスポーツ（バドミントン、卓球、テニス）では、練習によって各種スポーツにおける技能を高めさせると同時に、ルールを理解させることによって、学生自身が積極的に試合ができるようにした。また、ダブルスのゲームでは毎回ペアを入れ替えるなど、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることができるよう工夫した。試合後は反省点や次回に向けての改善点（課題）などを実習記録にまとめさせることによって、各種スポーツ技能のさらなる向上を意識させた。</p> <p>ウォーキングやジョギングについては、自分に合ったペース、友達と会話ができるペースで行わせることによって、無理なく運動が続けられるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は82.3（±9.2）点であった。成績分布別にみると、90点以上が23%、89～80点が45%、79～70点が14%、69～60点が12%であり、残り6%は欠席が多く、評価対象とはならなかった。ほとんどの学生が標準的レベルに達しており、68%の学生は理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が54%、「わりにそうだと思う」が37%、「まあまあそうだと思う」が9%であり、すべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.4）。</p> <p>「知識・理解 (DP1)」に関する学生の到達度自己評価（質問項目2と3）についても、「かなりそうだと思う」が37～49%、「わりにそうだと思う」が32～37%、「まあまあだと思う」が15～24%、「少しそうでないと思う」が0～7%であり、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた（平均値4.0～4.3）。</p> <p>「態度 (DP4)」に関する学生の到達度自己評価（質問項目9）についても、「かなりそうだと思う」が34%、「わりにそうだと思う」が22%、「まあまあだと思う」が32%、「少しそうでないと思う」が12%であり、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた（平均値3.8）。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

総合人間科学・全学共通科目の「女性と健康」領域に含まれる科目である。ラケットスポーツ（バドミントン、卓球、テニス）の技術練習およびゲームを行った。「全体を通した」学生の到達度自己評価では、ほとんどの学生が肯定的な回答を行っていた。また、「知識・理解（DP1）」、「態度（DP4）」、および「技能・表現（DP5）」に関する学生の到達度自己評価でも、ほとんどの学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP、CP、カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生による授業の質評価は、平均値が3.8～4.4であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。

本科目では、ラケットスポーツおよびウォーキング・ジョギングを実技として行うため、講義の時のような予習・復習を必ずしも必要としていない。そのことを反映してか、ほとんどの学生は予習・復習を行っておらず、その必要性もないと考えている学生も数人いた。このことに対しては、ラケットスポーツのルールや練習方法を調べさせ、レポートとして提出させるなどしたいと考えている。

また、日常生活を活動的に過ごすことが、健康や体力の維持・増進につながることを考えれば、学生自身に日々の歩数や消費カロリーを記録させ、それを提出させることは、運動することへの動機づけになると考える。すでに学生の中には授業以外で日々意識的に歩いたり、トレーニングなどを行っている者もいた。来年度は、このような活動的な学生が更に増えるように工夫したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

概ね目標は達成できたと考える。

今後の課題としては、本実習以外でも積極的にからだを動かす学生の数を増やすことである。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
女性史	2	後期	選択	いいえ	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>近代日本の女性史の学習を通して、現在に続くジェンダー問題の所在を確認することを重点化し、教育制度やメディアが意識形成に与えた影響を取り上げながら授業を進めた。初回に女性史を学ぶ意味が「伝統」を疑う知的根拠を獲得すること、そのためにジェンダーの視点で歴史を見直すことを伝え、全講義の流れを、明治時代、大正時代、15年戦争期、高度成長期、21世紀までであること確認した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>明治から戦後に至る近代日本の女性史に関する基本的な知識を理解することを目標としていたが、歴史に関する基礎知識量や歴史的関心の差が学生間で見受けられた。試験前に、授業の総復習をして、ジェンダーの視点でみる近代日本の女性の位置づけを確認した。試験の結果からみると、得点分布は上位にやや傾きがあり、ポイントはおおむね理解していることが確認された。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

現在の社会経済フォーラムが示す日本の女性の地位の低さの原因を歴史的背景に見出し、産業化と女性の民主化と関連付けて理解できるよう、ネットで取得できる最新のデータを示した。また、テレビや映画で描かれた女性像もネット動画で視聴できるものを活用し、時代背景を映像で確認するとともにジェンダーの視点で製作者の意図を考えさせた。おおむね内容的妥当性は認められるが、当事者性を持って考えるまでに至らない一部の学生は存在した。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

初回の授業で、通説となっている歴史観をジェンダーの視点で見直すと新たな歴史が見えることを伝えた。授業では近現代史が中心であるが、各自の高校までの歴史授業による知識量に格差がある点を踏まえ、インターネット上の図表や動画も使用した。他学科も合わせると人数が多いのが課題であるが、今回はオンラインだったので、ネット上で質問を投げかけ、双方向的なやり取りを確保した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

女性史は範囲が広いと、主に日本の近代史を中心に絞り、現在の女性の状況と関連付けて授業を進めたために、生徒の関心を現状のジェンダー課題、すなわち固定的性別役割分担意識に集中させることができ、知識の理解を深められたと評価できる。今後は、日本の歴史を学ぶことを通して国際的なジェンダー平等についても知識を広げたいと、日本の課題を改めて客観的に考えられるよう思考力を高めていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
文学	1	後期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現代社会においてなぜ文学を学ばなければならないか、まずそこから学生に解かねばならない。その理由と目的を理解させることから始め、「文学は実学である」ことに中心軸を置き、学生自身の生活、選んだ専門分野を重ねて鑑みることによって、日常触れている表現、歴史、心、時代性、古典等々すべてが繋がって行くものであり生きてゆくうえで自身のアイデンティティと切り離せないものであることを理解させるべく導いた。そういったことをベースにして文学の諸問題の実例を掲げながら考察する際、私たちがドラマや映画を見て感動することは、即ち、自分自身の人生を客観的に眺めていることと「文学」が同じであることを教授した。ここまでが第一の重要点である。そして次にいよいよ文学作品の消化である。感じた内容には正解はないが、なぜそのように感じたか、が最も重要であり、そこに時代性を重ねて鑑みることによって古典を学ぶことが出来る。また愛情表現においても国によって、あるいは時代によって千差万別である。太陽の色しかり。…そういったことをどう理解し、どう考察するのか。だから文学は実学であるというのである。そうして初めて「解釈」へと展開してゆくのである。私の講義においては少なくとも学生はここまでは理解している。またこの度、前述していることをさらに深めるために「文学と性教育」という新しいテーマを掲げ、「性」とは「ころざしを持って生きることであり、本来の性教育（欧米）が目指したものは広範囲な人間教育（全人教育）が中心である」ことが大変重要であるので、若い世代が新たな価値観を形成してゆく一助が性教育の本来の目的であるという説明を行った。この様に正しく理解して初めて正しい表現が出来ることを教示したが、一部の学生に伝わらない部分があったようで、今後は説明を分かりやすく改善しようと思う。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の提出する感想文には、文学に対する理解と覚醒が見受けられた。それは講義の回を重ねるごとに増してゆくようであらう。数字にするならば80%である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容妥当性については、良かったようである。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

リモート講義ではあったが学生たちの集中は途切れることなく反応はかなり良かったようである。コロナのために実現できないこともあったが、次回からは工夫しながら進めてゆきたく思っている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

達成状況の総括的評価としては、かなり良く、80%である。さらなる高見を目指して努力検討してゆきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1	後期	選択	はい	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は46名（回答率58.2%）であった。受講動機を見ると、「資格取得に必要である」67.4%、「必修科目である」43.5%、「単位数を確保する」39.1%、「関心のある内容である」28.3%であった。教職必修科目であるが、今年度も福祉学科の1年生の多くがこの科目を受講した。憲法は学生自身の今後の生活や人生に関係が深い、ということを明確に伝えることを心掛けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は第1回を除いて対面で授業で行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける可能性を考慮して、昨年度に引き続き、授業中の確認テスト、コメントおよび後期終了時のレポートで成績評価を行った。素点の平均点は80.00点であった。再試対象者は0名だったが、出席数不足の学生が7名と、例年より多かった。また、理想的レベル（90点以上）に達した者は14名であった。学生による到達度自己評価については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値がともに4.3、「自分なりの目標を達成した」の平均値が4.2、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値がともに4.1であった。「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」を除く他の項目の平均値は4.0-3.7の間にあり、全体的に昨年度よりやや上昇している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけから見ると、本学は「総合人間科学」科目であり、教職指定科目であることに加えて、シラバスにも明記してある通り、福祉専門科目である「権利擁護論」で学ぶ内容の基礎となる。加えて将来社会の中で、対人社会サービスの担い手となる学生にとって、援助の対象者を人権の主体たる個人として理解するための基礎を得るためには重要であり、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

②DP行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考えられる。よって、内容的妥当性には問題ないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値がともに4.5、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.4、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が4.2であった。いずれも昨年度よりやや上昇している。他方、講義の冒頭で予習・復習の具体的な仕方について説明したが、予習を全くしなかった学生は30名、復習を全くしなかった学生は24名と、昨年度より大幅に増加している。授業以外の学習として「ノートにまとめたりした」、「ネットで分からないところを調べた」、「選挙のサイトを見た」などの記述があった。他方、授業以外に学習していない理由として「他の課題が手一杯だった」、「何をしたら良いか分からなかった」、「授業内容で十分だと感じたから」などの記述が見られた。学生の意見については、「ありがとうございました」とのコメントのほかは特になかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総合人間科学科目とする本科目の位置づけから、豊かな教養のもと、社会を多面的に捉える基礎的な知識の形成についてはおおむね達成できたと考えており、特に改善すべき課題はないと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	桐原 隆弘

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人生と哲学	1	後期	選択	はい	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>テキストの内容を理解するために、テキスト準拠の書き込み式資料を配信した。</p> <p>テキストを読んで空欄に書き込み、授業で解説を受けることで理解を深めることができる。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は試験ではなく毎回の小レポートと期末レポートで成績評価を行った。</p> <p>小レポートではできるだけ身近な課題（たとえば人格の尊厳と労働環境、討議倫理と合意形成）に哲学思想を結びつけるよう工夫した。明敏な問題意識を感じさせる答案も複数あり、次回授業の最初に答案例をくわしく紹介し、前回内容の理解を深めるよう工夫した。</p> <p>期末レポートは講義内容全体をふまえて、各自テキスト、配布資料等を読み直し、一定量の小論文を書かせた。全体に期末レポートの出来栄はよかったように思う。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

哲学思想を日常のさまざまな課題と結び付けて解説することを心掛けており、内容はおおむね妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

書き込み式資料をプリントアウトしていない場合に「何をしたいかわからない」ということになった可能性がある（複数コメントあり）。今年度はすべてオンライン授業であったため、授業への取り組み方についてクラスルーム等で指示すべきであったと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

ただテキストの内容を理解するにとどまらず、哲学思想を日常生活のさまざまな課題に適用することを極力心がけた。コロナやウクライナ紛争など、世界観や価値観を動揺させる事態が続いている。哲学に何ができるか。微力ながら学生の助力ができるよう、時事問題も適宜取り入れながら工夫したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語発展	1	後期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 中国語発展の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の50.0%を除いて、③「関心のある内容である」は100.0%で、「資格取得に必要である」は25.5%であった。これらのことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。</p> <p>2. 実際の受講人数が6名で、語学の初級としては妥当と思います。学生一人一人に対して指導ができました。</p> <p>3. 「教員とのコミュニケーションが取れる」という学生の意見から、今学期は事情により、Meetの遠隔授業を行うことになりました。画面を通して学生たちが積極的に参加しました。ただし、対面授業と比べて、不足部分もあります。今後の授業いおいで、できる限り教師と学生の間だけでなく、学生同士の間での会話場面や機会を増やしていくことに工夫したい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. A評価は5名、B評価は1名であり、最終的な成績の平均値は「86.8点」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（遠隔の定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。</p> <p>2. (DP-1)の知識理解、(DP-5)の技能表現をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わすことができる能力を初歩的に習得していた。</p> <p>3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週3回の復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習することが評価するべきです。</p>
---	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点4.8点、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.8点、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は4.3点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 「授業の質の評価」について、各項目の平均値は4.8以上に達していて、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。
2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。
3. 「図書館やインターネット等の利用」は、遠隔授業の影響で、インターネットの学習がかなり利用したことが見られて、いい結果であります。授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

1. 中国語発展は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。
2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。
3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。
4. 実用性のある語学資格の取得を目指します。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	金 光子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハンゲル発展	1	後期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期で習得した知識や学習のコツなどを踏まえて、さらに韓国語に対する知識を深く身に付けられるよう、筆記や会話の練習を取り入れながら分かりやすい授業になるよう心がけた。また、受講動機は「関心のある内容」が9割近くを占めていたこともあり、韓国の社会や文化などにも触れながら授業を進めていくことで、語学の習得と韓国社会や文化への理解の相乗効果が得られたと考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	毎週の提出課題についてみると、回数が進むにつれて学習の成果が表れており、後半に向けては十分な内容の課題を出せるようになった。しかしながら到達度自己評価の多くの項目における3-4の数値は課題到達度と内容理解度に差異が認められる可能性がある。よって教育目標はやや到達したと考えている。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本講義は語学学習を通じて韓国という国・地域に興味をもち、言葉に現れる文化の違いなどを理解し、また実際に韓国語を話すことによって異文化への理解を深めながら学習が可能になったと思うので、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないと思う。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進度は課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に質問を受けて指導にあたったりもした。授業の進め方については学生からの意見を取り入れながら授業の作成に臨んだが、内容理解度の違いに対するフォローをより十分にする必要があると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

本講義は、前期で身につけた基礎的学力を踏まえて発展的な文法知識の習得と日常における実践的会話能力が備わることを目指しているが、講義の履修後にも韓国語を継続的に学習し続ける学生が少なくないなか、韓国語によるコミュニケーション力をもってして日本と韓国の相互理解を深めていける一助になれたのではないかと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報処理演習	1	後期	選択	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講人数が少なかったこと、個人差はあるものの全体的に経験値が高く、授業進行が容易であり、受講者の理解度に合わせて、授業の進行速度や内容を調整することができた。エクセルによる統計処理とVBAを中心に講義を行い、情報処理基礎で学んだ基礎的知識をベースとした主体的・実践的な内容となることを重視した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。ただし、授業内容を主体的・実践的に使いこなせるレベルまで到達したのは、一部の学生のみだった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、在学中のレポート作成や発表など、さらには、就職後の実務において、データの扱い方の理解と効率化を目的としている。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であるが、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は非常に高いものの、履修率が低いため、本科目の意義を理解している学生は、学科の全学生の1割程度と推測される。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

エクセルによる統計処理およびVBAの両方について授業を行ったが、すべて遠隔授業であった。質問の受け答えなどについての制約に対応するため、コミュニケーションツールを利用し、多くの質問を受け付けることができた。またGoogle Meetのブレイクアウトが、学生が自由に出入りできないなどの制約が合ったため、Meetを複数起動してグループワークを行うなどの工夫を行い、円滑なグループワークを行うことができた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	塚本 美紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
北九州の過去・現在・未来	2	後期	選択	はい	58

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学の「地域創生」の中の科目であり、3年後期に設定されている。北九州についての基本的な知識を外部講師の講演から学び、地域や国際社会の課題について、自分が学んでいることをどのように生かせるのかということを考えるよう授業を設計した。全学共通で講座が開かれているので、オンラインのポスターセッションを実施し、それぞれの専門分野のことについて互いに学び合える場も設定した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全員の最終的な成績が標準的なレベルを超えており、到達度自己評価では若干名の学生が「全くそうでないと思う」または「少しそうでないと思う」と回答しているが、大半の学生は肯定的な回答をしている。また、レポートや発表なども、専門教育科目で学んだことこの授業内で学んだことが反映された内容になっており、教育目標は概ね達成されたと考える。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP, カリキュラムマップ上の位置付けからみでの内容的妥当性 本科目は総合人間科学の「地域創生」の中の科目で、3年前期に設定されている。大学がある地域のことについて学ぶとともに自分の学んでいる専門分野をこの地域でどのように生かせるかということについても考える内容となっている。学生の成績についても、標準的なレベルに達していることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>② DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 DPの各項目について目標が達成されていることから内容的に妥当であったと考える。</p> <p>③ まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、多くの学生が肯定的な回答をしているが、若干名の学生が「全くそうではないと思う」または「少しそうではないと思う」と回答している。遠隔授業の形態での実施で、250名を超える受講生であったため、学生が発言することもできず、チャットで意見のやり取りを行うこともできず、教員からの一方通行の形でしか授業を行うことができなかったため、対応に苦慮した。その部分を補完するため、Googleクラスルームやメールで常時質問等を受け付けるようにして対応した。学生の反応が見えないので、ほぼ毎回小テストを行なって、授業内容が学生に伝わっているかどうか確認しながら実施した。また、テスト、レポート、提出物などの評価基準や課題の内容や期限については、口頭だけでは間違いがあってはいけないので、全てGoogleクラスルームに明記した。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>最終的な成績や到達度自己評価から、地域のことについて学ぶとともに専門教育科目で学んだことを地域の中でどのように活かすかということについて考えるを通して、学びを深めていくという目標はある程度到達できたのではないかと考える。しかしながら、受講生がかなり多いため、授業運営上難しい面も多くあったため、大人数でも支障なく実施できるような方法を工夫したい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
高齢者支援学Ⅰ	2	前期	選択	はい	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保健福祉学部の3学科（看護学科、福祉学科、栄養学科）による合同授業である。受講動機を見ると、「関心のある内容である」（66.7%）となっており、学習意欲の高さが伺える（最も多い項目は「単位数を確保する」77.8%であった）。授業内容は、アクティブ高齢者に対する支援について、講義（4コマ）とPBL（事例検4コマ）を行うものである。 講義では、介護保険制度の概要について教授し、他学科の学生も内容を理解できるよう、解説方法や提示資料を工夫した。また、PBLでは5つの班を担当し、円滑に展開できるよう側面から支援した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成度について、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う44.4%）であり、目標をある程度達成できたと言える。「意欲関心」（DP3）については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う33.3%）であり、これも目標をある程度達成できたと言える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う33.3%）であり、目標をある程度達成できたと言える。 以上、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価結果から、本科目の教育目標は全体としてある程度達成できたと考えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ
授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価の結果からも、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ
本科目は保健福祉学部（3学科）の学生が各分野の専門性に基づき協働でPBLに取り組むものであり、本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケートにおける「学習量の評価」では、授業の準備0回（55.6%）と復習（55.6%）が見られた。また、「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」は、「していない」（44.4%）であった。本科目はPBL形式であり、特に学生の主体的学習態度が求められる。約半数の学生については、この点において課題が残ったと言える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の教育目標はある程度達成されたと言えるが、学生の主体的学習態度の醸成という点では課題が残った。本科目は、保健福祉学部3学科による合同授業であり、本年度の成果と課題を担当者間でしっかりと共有し、次年度の授業運営に臨みたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリア開発	1	後期	必修	いいえ	87

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初回に、この授業で労働政策や福祉政策、企業の雇用システムとの関連において自身のキャリア形成を考える力を身につけること、多角的な視点でキャリア形成をとらえられるよう多様な外部や内部の講師を招いていることを伝えた。また、初回では、主体的な意識で授業に臨めるよう、キャリアコンサルタント(外部講師)から学生と双方向的なやり取りをして、1年生の必須授業として受講を義務付けられているが受け身にならないよう工夫した。栄養士という資格をどのように生かすか、あるいは、方向性を変える場合も主体的な選択ができるようにキャリアコンサルタントから話をしてもらった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>メディアリテラシー、リーガルリテラシー、データリテラシーなど身の回り情報を読み解く力、自らのキャリア・デザインについて考える力は、各講義後の課題や、期末レポートで測った。特に、期末レポートでは、自分の望むキャリアにおける社会的課題を把握し、その解決方法について主体的に客観的に考えることができるかを評価した。レポート課題を出す際に、この評価基準を文書で説明し、キャリアをめぐる思考が個人的体験を根拠とすることにとどまらないこと、社会構造と関連づけることを明確にした。ほとんどの学生が基準を達成した。ただし、社会的課題の背景にある事象への言及が不足している学生が一部存在した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自分の望むキャリアにおける課題を把握し、その解決方法について主体的に考えることができることを目的に、キャリアについての個人の意識がどのように社会的に形成されてきたかを学術的な視点による現状の制度の分析や歴史的背景を解説した。また、多様な講師が講義をすることで、現状把握はより深まったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

講義及びインターネット動画の鑑賞によって知識を得るだけでなく、労働法では招聘弁護士が自身の関わった事件から法律を解説したり過労死された方の遺族から具体的な困窮状況を話してもらったり、ほかにも専業主夫の体験談、本学卒業生の職業生活、キャリアコンサルタントによるワークショップなど、共感的に主体的に自身のキャリアの可能性や社会的課題を理解できるような内容となった。コロナ感染拡大防止のためにすべての授業はオンラインとなり、外部講師の講義もオンラインでの受講となった。そのため、チャット機能やグループフォームを活用し、随時学生からの反応を得ることができた。各回の感想及び授業評価アンケートをみると、概ね学生たちは集中して話を聴くことができたようであった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

期末レポートなどから、概ね、学生が自身のキャリア形成について考える時間となったこと、自身の可能性について自信を持てるようになったこと、今後の学生生活の重要性に気づいたことは、評価できる。従来の課題は受講者人数が多いために個別的な対応ができないことであったが、本年度はオンライン授業の利点としてチャット機能などを活用し学生の意見を諮ることができた。次年度は対面で学生との活発なやり取りの工夫が求められる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
実践キャリアプランニング	2	後期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、キャリア形成のために様々な知識を身につけておくことの重要性を理解してもらい、担当者の専門である社会学の知見を基にして自身のキャリアについて考えてもらうことを目的としている。本学科は、アンケートの回答者数が少ないため、全学科を合わせた傾向でみる必要があるが、「受講動機」では「関心のある内容だから」が多くなっており、本科目の意義についてはシラバスを通じて概ね伝わっているものと考えられる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎回、講義のあとに感想や自身の考えをコメントするよう求めたが、ほとんどの学生が真面目に受講し、自身のキャリアについて真剣に考えていることが伺える内容であったことから、本科目の目標は概ね達成できたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの「自分なりの目標を達成した」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」「職業選択の参考になった」などの項目で肯定的な回答が高い割合を占めていることから、内容は概ね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケートの結果から、受講者の多くが本科目の予習や復習にはあまり時間を割いていなかった。自由記述の結果から、今年度は遠隔授業により学生の負担が増加していたことが伺える。学生にあまり負担をかけないよう配慮をしたつもりであるが、それは適切であったと考えられる。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

アンケートの結果から、総合的にみて本科目の目標は概ね達成出来ていると考えられるため、次年度に大幅な内容の変更は必要ないと考えている。コロナの影響などで社会に様々な変化が生じている中で、今の情勢に応じた内容の講義となるよう工夫していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
現代社会と福祉	3	通年	必修	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（3年次・必修）の1つである。内容は、主に福祉政策に関するものであり、学生にとってはやや難易度が高いと思われる。したがって、授業は教科書を中心に展開し、単元ごとにレジュメを作成した。また、重要語句やポイント等を判別しやすいようレジュメの内容・形式を工夫するとともに、図表・イラスト等も積極的に用いた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>期末試験の平均は80.1点であり、教育目標は達成したと考える。各DPの達成度について、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う30.0%、わりにそうだと思う42.9%)であり、目標をある程度達成したと言える。「思考判断」(DP2)は、「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う14.3%、わりにそうだと思う55.6%)であり、これも目標をある程度達成したと言える。「意欲関心」(DP)は、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(かなりそうだと思う15.9%、わりにそうだと思う50.8%)であり、ある程度目標を達成したと考える。</p> <p>一方で、授業評価アンケートでは、「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」(していない76.3%)、「授業の予習・復習」(していない60.3%、57.1%)が見られ、学生の自発的学習態度の涵養という点で課題が残った。</p>					
*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ

既述の通り、期末試験の平均点は80.1であった。また、学生の到達度自己評価においても、本科目の教育目標はある程度達成されており、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ

本科目は、旧カリキュラムにおいて1年次の開講であったが、難易度がやや高く、昨年度より3年次の開講となった。期末試験の結果や教育目標の到達度を見ても、CP・カリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の教育目標はある達成されたものの、「学習量の評価」を見ると、授業の課題以外の学習に取り組んでいない割合や予習・復習に1回も取り組んでいない割合が一定数見られた。今後は、学生の自発的な学習態度を引き出す観点から、授業運営の改善を図ってきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生にとってはやや難易度が高いと思われた本科目であったが、教育目標はある程度達成できた。これには単元ごとのレジュメの作成、図表・イラストの積極的活用などが有効であったと考える。引き続きこれらの取り組みを行ってきたい。

一方で、学生の自発的学習の促進という点では、昨年同様の課題が示された。授業を通して抱いた福祉への興味・関心を自ら主体的に深めていく学習態度をどう培っていくか、今後も考えていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	高口 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助の理論と方法Ⅰ	2	通年	必修	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が98%であり、「資格取得に必要である」が70%、「関心のある内容である」が21.6%と履修動機が低い科目でもあった。相談援助の基盤を学ぶ科目であるが関心は低い。授業では対人援助に関する具体的イメージが持てるよう事例を豊富に取り入れながら、ディスカッションを行い、自分事として語ることで理解を深める工夫を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.2、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」4.1「専門分野のさまざまな課題を検討する力をえることができた」の平均値が4.1と、相談援助に関する理解を高めることができた。「専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」「職業選択の参考になった」の平均値4以上という評価からも、本教科を通して、相談援助に関する関心を高めることができた様子が伺える。一方「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は3.7と全体を見ると低めであった。これは授業内容が記録や要約、知識の習得を中心に授業を進めていたためであると考え。今後、学生が主体的に学習に取り組めるよう、問いや考察を深める機会を取り入れた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見て、本科目は資格取得に必要な「選択科目」であり、相談援助に関する基盤となる知識を高める教科である。受講動機は低いですが、受講を通して学習達成度の自己評価は高まっていることからみても、DP、CPともに内容は妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について「評価基準が明らかである」の平均値4.1、「学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.1、「説明は理解しやすいものであった」3.9、「口頭、文書など、何らかの形で質問を受け付け、答える機会が作られていた」の平均値は4.2であった。今後は、評価基準や学習課題など明確に示すよう意識して取り組みたい。また、考察や意見交換の時間を意識的に設けたい。学習量の評価では、積極的に記録を取り入れたこともあり、期待以上に予習復習に取り組んでいる様子が伺える。更に理解を深めるため、学生が自主的に調べて考察することが出来るよう工夫したい。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお願いします。

相談援助の基本的知識を「学ぶ」時間と、学んだことをディスカッションしたり記録する時間を多く設けた事から、学生の知識向上につながったと考える。その結果、相談援助に関する関心が高まったと考える。さらに、ディスカッションの時間などを積極的に取り入れ、自身の考えを深める機会を設けた。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助の理論と方法Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については、「必修科目である」88.6%、「資格取得に必要である」60.0%であった。本科目は1年次「相談援助の基盤と専門職」、2年次「相談援助の理論と方法Ⅰ」の学習内容の理解を前提とした科目であると同時に、「相談援助の理論と方法Ⅱ」では難度が高くなり、これまでにこの科目に関心があった学生でさえ学習意欲の低下、理解が困難になるなどのおそれが予想される科目である。ソーシャルワークを学ぶ上でなぜこのような内容の理解が必要なのかということ、今学んでいることがソーシャルワーク実践にどのように位置づけられるかということ伝えることに努めた。また、例年は実習を終えた後の授業においては、実習での経験や学びを意識して学びを深めることにつながるよう授業を進めているが、今年度においては新型コロナウイルス感染拡大により実習時期に大きなばらつきが生じ、実習での経験を前提に授業内容を理解する学生がいる一方で、実習開始に至らずなかなか具体的な実践のイメージが持てないままに授業を受ける学生も多いため、より具体的に詳細な実践事例を用いてクライアントの状況へのイメージを膨らませつつ分析・考察を深め実践技法を理解することが可能となるような授業展開に努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>定期試験は例年と同様の難易度で実施したが、前期試験の平均が82.4点、後期試験の平均が90.2点といずれも授業内容への理解度の高さを示す結果が得られた。学習到達度の自己評価においては、「知識・理解」(DP1)において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う42.9%、わりにそうだと思う45.7%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う37.1%、わりにそうだと思う51.4%)、「思考・判断」(DP2)においては、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う28.6%、わりにそうだと思う60.0%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う28.6%、わりにそうだと思う57.1%)、「関心・意欲」(DP3)においては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う31.4%、わりにそうだと思う54.3%)、「態度」(DP4)においては「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う28.6%、わりにそうだと思う51.4%)であった。本科目における教育目標はある程度達成できたと考えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP:行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記載したように、試験の結果、学生の学習到達度自己評価から、DPにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。</p> <p>②CP:カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は1年次「相談援助の基盤と専門職」および2年次「相談援助の理論と方法Ⅰ」での学習内容の理解を前提とした科目であると同時にこれら2科目と比較して難度が高くなるため、これら2科目での学習内容を振り返りつつ、他の関連科目での学習内容も取り入れつつ、総合的かつ包括的にソーシャルワークを実践するための視点と求められる知識を培うことを意識した授業内容と展開を心掛けた。相談援助に関わる関連科目での学びの統合が求められる科目という点から、適切な位置づけであると考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均値4.0～4.4であり、自由回答では「難しい教科だがわかりやすい説明で理解することができた」「ワーカーは柔軟な考えをもち、アプローチを組み合わせることで行く支援の必要性を感じた」「たくさんのアプローチやモデル、人物の学びを通してさらにこの科目に興味をわいた。引き続き学びを深めていきたい」などのコメントが寄せられた。一定程度の評価を得たと考える。</p>
---	--

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総合的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目において、ソーシャルワークの実践に関する知識を身につけ、相談援助事例においてどのように事象を捉え、考察するかという視点を養うことはある程度まで達成できたと考える。授業での学びのみにとどまらず、学生がさらに学びを深めようとする意欲を引き出し、主体的自発的に学ぼうとする態度の形成につながるよう、さらなる改善を行っていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域福祉論	2	通年	必修	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期は、地域福祉の基礎概念や民生委員、社会福祉協議会、共同募金等の地域福祉を推進する主体について講義を展開した。後期は、前期の学びを踏まえ、地域福祉を推進するためのソーシャルワーク（「地域福祉援助」）を中心に講義を展開した。具体的には、従来から社会福祉協議会等の基本的な実践技術であったコミュニティワーク（地域福祉の基盤づくり）に加え、近年、「社会的つながりの弱い人々」や「制度の狭間」、「複合課題」などへの対応として重視されるようになったコミュニティソーシャルワーク（地域を基盤としたソーシャルワーク）についての内容にて通年を通して講義を構成した。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。なお本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、遠隔システムを軸に授業を展開した。 ① 講話法を中心とした講義の展開が主であった。地域福祉の視点は、福祉専門職のみならず、教職・保育などと地域を担う支援者において横断的な理解が求められる。そのため3年次以降の本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。③ 前期及び後期の半ば(8コマ目)には、これまでの講義内容の振り返りとして、レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。④ 本講義の特性上、地域福祉に係る知識の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、78点であり、再試対象は0名であった。本年度は遠隔授業が中心であったが、全員が標準的レベル及び理想的レベルに概ね達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、中央値4.0に対して、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」が平均値4.1であった。次に(1)(3)(5)などの順であった。3「授業の質評価」は中央値の水準であった。 知識理解に関しては、地域福祉の観点からその知識について問うものである。地域福祉の概念・歴史、法律・制度、近年の地域福祉の問題等については、広範な情報量となるため、現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士・精神保健福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、地域福祉の概念・歴史、法律・制度、サービスを理解できるように今後も務める。 学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>
---	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の専門を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は地域における地域福祉の推進の主体や概念、近年の地域社会における福祉的課題の現状を踏まえて、地域における地域住民の役割、地域の支援機関・施設、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の地域福祉の展望等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による地域の実情(福祉的課題、地域の動向等)、福祉法制度・サービスの動向を注察する必要があるが、2021年度の講義に関しては、学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価から表現技能に関する達成度が比較的低かったが、今後の社会状況の変化による地域の実情(福祉的課題、地域の動向等)、福祉法制度・サービスの動向等についての表現の機会が少なかった点では方法的妥当性の問題である。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題(具体的な事例)を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値3.4と全体数値よりも低かった。本科目は地域における地域福祉の推進の主体や概念、近年の地域社会における福祉的課題の現状を踏まえて、地域における地域住民の役割、地域の支援機関・施設、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の地域福祉の展望等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。そのため、考え、話し合い、発表する機会が少なかった。次年度に向けて関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の専門を学ぶ位置づけであることから、地域福祉に関する知識の形成については概ね達成できたが、関心意欲及び思考判断の面で課題を残した。この点は、地域福祉は広範な知識を取り扱うため、イメージしにくい課題があると考え。そのため事例の検討や演習活動を一部取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出していきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会保障論	2	通年	必修	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は46名（回答率58.2%）であった。受講動機を見ると、「必修科目である」93.5%、「資格取得に必要である」71.7%であった。本学科における必修科目であるとともに、社会福祉士・精神保健福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、法改正が頻繁に行われる社会保障制度について、最新の情報を提供することに努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は、すべて遠隔授業で行ったことより、授業中の確認テスト、コメントおよび前期・後期終了時のレポートで成績評価を行った。素点の平均点は74.78点（福祉・養護教諭コース2年75.41点、子ども家庭福祉コース2年72.85点）であった。また、再試対象者は2名、理想的レベル（90点以上）に達した者は6名であった。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.0、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値はいずれも3.8であるほか、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」を除くその他の項目の平均値は3.7であった。昨年度をやや下回っているが、「遠隔授業疲れ」の影響も否定はできない。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「必修科目」、「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは高い。試験の平均点が60点台とやや低いが、これについては、学生の授業以外における学習量の問題であると考え。国家試験受験のために必要な最低限度の内容となっているため、内容的には妥当であると考え。②DP行動目標から見ると、自己評価と成績の分布に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値はともに4.3、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値は4.2、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は3.9であった。ほぼ昨年度と同様の数値であった。学習量について、予習をしていない学生が20名、復習をしていない学生が12名と、授業以外の学習をしていない学生は昨年度より減少している。その理由については、「授業で十分だった」、「課題で精一杯だった」、「他の科目の課題があったため」、「長いオンライン授業に疲れていたから」などの回答がみられた。他方、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習について「復習」、「気になったことをネットで調べた」などの回答があった。学生の意見については、「解説、レジュメが分かりやすかったです」、「もう少し話すスピードゆっくりでお願いしたいです」とのコメントが見られた。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特にないと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
高齢者福祉論	2	通年	必修	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、2年生を対象とした福祉専門科目（必修）であり、社会福祉士指定科目の1つでもある。授業は、教科書を中心に展開し、単元ごとにレジュメを作成するなど、学生の内容理解を助けた。また、重要語句やポイントが判別しやすいようレジュメの内容・形式を工夫した。毎回の授業後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努めた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>期末試験の平均は81.0点であった。また、授業評価アンケートでの学生の到達度自己評価においても、「自分なりの目標を達成した」（わりにそうだと思う35.3%、かなりそうだと思う41.2%）が示され、目標はある程度達成されたと考える。各DPの達成度について、学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（わりにそうだと思う29.4%、かなりそうだと思う50.0%）となり、目標のある程度達成できたと言える。「思考判断」（DP2）については、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」（わりにそうだと思う32.4%、かなりそうだと思う44.1%）であり、これも目標のある程度達成できたと考える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（わりにそうだと思う41.2%、かなりそうだと思う41.2%）であり、目標を達成できたと考える。</p> <p>一方で、授業評価アンケートからは、本科目を通して知識の修得はできたものの、学生の主体的学習態度を引き出すと言う点で課題があることが明らかとなった。例えば、学生が授業の課題以外に学習に取り組んだ割合は、「していない」（41.2%）であった。また、授業参加のための準備学習（30分程度の予習）をしていない学生が52.9%、授業の復習をしていない学生が32.4%見られた。図書の学術データベースやインターネットの利用も低調であった（「利用しなかった」が各100%、61.8%）。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ

試験結果（平均81.0点）や学生の達成度自己評価結果からも教育目標は概ね達成しており、DP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ

本科目は福祉専門科目（必修）であり、社会福祉士指定科目でもある。3年次の相談援助実習の領域の1つに高齢者福祉領域があることから、本科目の配当年次に問題はないと考える。また、教育目標も概ね達成しており、CP・カリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の教育目標はある程度達成したと判断できる一方で、授業評価アンケートからは、学生の主体的な学習態度を十分に引き出すことができていない状況が示された。また、予習・復習についても十分に取り組めていない状況が明らかとなった。昨年度同様に、毎回の授業ごとに予習・復習のポイントを的確に提示し、学生の学習量を担保していく必要があると考える。また、課題を課すことも検討する必要があると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の教育目標は、ある程度達成できたと考える。しかし、期末試験の得点差に大きな開きが見られ（最高点94点、最低点43点）、学生の理解度には差があることが推察された。この点、毎回提出させるコメントカードの内容を踏まえた復習や小テストの定期的実施も必要と思われる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	秋竹 純

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
高齢者福祉論	2	通年	必修	はい	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は最初から遠隔での講義であった為、予め資料には介護現場での具体事例などを明記し、復習の時に重要な部分が想起しやすいよう資料作りに重点を置いた。また、学生は資格取得に必要な科目であることも理解し受講しているため、国家試験等で出題されやすいポイントなどを追加しながら講義を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	やや達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>知識理解については、成績評価において一部の学生（受験資格なし）を除き、定期試験で欠点者がでなかったことが根拠といえる。「学習量の評価」コメントでは、わからなかった事についてインターネット検索を行った学生が多く、知識を補完使用とした事も伺える。意欲関心、思考判断については、講義終了後のコメント提出内容から、獲得した知識を自身の家族や身近な出来事と統合させ、思考している学生が多かったこと、獲得した知識を新たに展開するための想起も多かったことが挙げられる。しかし、講義内容がやや難しかったというコメントもあり、導入部分での解説や、よりわかりやすい表現、講義のスピードなど途中確認が必要であった点が課題である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

社会福祉分野における当科目の位置づけとして、講義内容が前半の法制度のみならず「高齢者介護」の各論について触れているため、バランス良く妥当であると考えます。また資格取得という明確な目的を持って受講している学生が多いため、他科目で得た知識とともに本科目で得た知識が上積みされ、興味関心や自己学習のきっかけ作りになっていると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、教員が遠隔授業に不慣れな点によるものが多くネットワークの環境や音声など改善点が挙げられる。よって、受講生には十分な講義環境であったとは言い難く、課題が残ったといえる。しかし、講義中ではないが、講義終了後に気づいた点や、質問など発言が見られ、授業への積極性については評価できる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

講義環境について、やや課題は残ったが教育目標については概ね達成できた。次年度は開講なし。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
障害者福祉論	2	後期	必修	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次必修科目であり、社会福祉士指定科目である。本科目は社会福祉の基礎となる科目のひとつでもあるため、障害者福祉の理念や基本的な視点を伝えるとともに、国家試験に必要な知識を伝達できるようにした。学生の受講動機を見てみると、「必修科目である」が98%、「資格取得に必要である」が68.6%、「関心のある内容である」が15.7%であり、関心の低さがうかがえる。</p> <p>本科目では障害者の理念や基本的な視点を伝えるために、出生前診断に象徴される優生思想や、「親亡き後」問題に象徴される社会的排除や孤立の問題といった具体的な事象を取り上げながら講義を展開した。オンラインの講義で限界はあったものの、障害者の実像について具体的にイメージできるよう、できるだけ動画等の視覚教材を用いるようにした。さらに学生が国家試験を意識できるよう、講義中に国家試験を用いた問題演習を取り入れた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は77.8点、中央値80点であり、全体的には標準的な成績であった。ただし内訳をみると、A評価32.9%、B評価17.7%、C評価10.1%、D評価25.3%、E評価13.9%と成績の開きが大きく、再試験対象者が11名であった。学生の学習到達度の自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」の平均値3.7、中央値4.0となっており、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名、「少しそうでないと思う」と回答した学生が2名いた。各項目をみると、DP1の知識理解については、平均値3.9-4.1、中央値4.0であり、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1-2名いた。DP3の意欲関心については、平均値3.9、中央値4.0であり、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。次年度は、成績下位の学生も授業の内容を十分に理解していけるよう、説明の仕方や教材を工夫し、よりわかりやすい授業を心がけていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は2年次の必修科目であり、社会福祉士指定科目である。本科目は「福祉専門科目」の中でも、社会福祉の基礎となる科目であるため、より多くの学生が講義内容を理解できるよう、説明の仕方や教材を工夫していく必要がある。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>4. に記したように成績の平均値、および学生の自己評価から概ね妥当であったと考えられるが、より多くの学生が講義内容を理解できるよう、説明の仕方や教材を工夫していく必要がある。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価は、平均値3.7-4.2、中央値4.0であった。各項目を見てみると、「テスト、レポート提出物などの評価基準は明らかであった」について、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」について、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名、「少しそうでないと思う」と回答した学生が3名いた。「説明は理解しやすいものであった」について、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名、「少しそうでないと思う」と回答した学生が3名いた。「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」について、「全くそうでないと思う」と回答した学生が3名、「少しそうでないと思う」と回答した学生が3名いた。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに応える機会が作られていた」について、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。また学生の意見をみると、講義中に学生に対して指名し、質問することや、質問に対する教員の応答に対する否定的な意見がみられた。オンラインの講義で学生の反応がわからない中ではあったが、次年度は講義の双方向性について方法を検討し、学生が参加する機会を工夫していきたい。また講義内容の説明や評価基準の説明も、全ての学生が理解できるよう努めていきたい。質問の機会も各回の講義で設け、質問に対する回答の時間も設けていたが、質問の機会についても、全ての学生が理解できるよう伝えていきたい。</p> <p>学習量の評価をみると、2, 3回以上の予習を行った学生が49%、2, 3回以上の復習を行った学生が67%、自発的学習を行った学生が65%であり、講義を通して一定程度、自発的学習を促すことができたと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は2年次の必修科目であり、社会福祉士指定科目である。本科目は「福祉専門科目」の中でも、社会福祉の基礎となる科目であるため、より多くの学生が講義内容を理解できるよう、説明の仕方や教材を工夫していく必要がある。また講義の双方向性について方法を検討し、学生が参加する機会を工夫していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
権利擁護論	3	後期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は43名（回答率58.9%）であった。受講動機を見ると、「必修科目である」67.4%、「資格取得に必要である」65.1%であった。社会福祉士・精神保健福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、相談援助に必要な成年後見制度とその知識の前提となる民法・行政法の内容を中心に、なるべく理解しやすく伝えるよう努めた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は第1回を除いて、対面で授業を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける可能性を考慮して、昨年度に引き続き、授業中の確認テスト、コメントおよび後期終了時のレポートで成績評価を行った。素点の平均点は77.23点であった。コース別の平均点は福祉・養護教諭コース79.00点、子ども家庭福祉コースの平均点は69.32点と、両コース間に大きな差がついている。理想的レベル（90点以上）に達した者は11名、再試対象者は0名であった（ほか、出席数不足1名）。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.1、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値がいずれも4.0であった。「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」を除く他の項目の平均値も3.9-3.8を示しており、ほぼ昨年度並みであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP,カリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは高い。国家試験受験のために必要な最低限度の内容となっているため、内容的には妥当であると考えられる。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績の分布に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考えられる。よって、内容的妥当性には問題ないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.4、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は4.3、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値は4.2、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.0であり、いずれも昨年度と同様の数値を維持している。授業以外の学習をしていない学生が34名いるが、授業の課題以外に学習していない理由として「する余裕がなかった」、「授業で十分だったから」、「何をすればいいかわからなかった」などの意見が見られた一方で、授業の課題以外に具体的に取組んだ学習として「わからないところを調べた」、「関係書籍の講読」、「復習」などの意見が挙げられていた。学生の意見については、「難しい内容もありましたが、具体例を示すなど、詳しく説明して下さったので理解できました」、「全14回とても実りのある授業となりました」、「実習期間の補講も丁寧に講義をしていただきありがとうございました」、「確認テストは、国試対策にも繋がるので、来年度の他の講義でも実施してほしいなと思いました」など、授業内容に非常に満足しているものが見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えている。授業以外の学習をいかに増やすかが、今後の課題となろう。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
介護技術演習	1	後期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は主に外部講師2名（高齢者介護の実務者）が担当している。授業評価アンケートにおける本科目の受講動機には、「関心のある内容である」（91.1%）が見られ、学生の関心・動機は非常に高い状況にあった。授業では、こうした学生の関心・意欲をさらに高められるよう内容や指導方法について、外部講師との連携を密に図った。また、課題レポートを提出させ（計3回）、学生個々の知識・技術の習得度を把握した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>各DP項目の達成状況について、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（わりにそうだと思う25.0%、かなりそうだと思う58.3%）となっており、目標は達成されたと考える。また、「技能表現」(DP5)は、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」（わりにそうだと思う33.3%、かなりそうだと思う33.3%）であり、目標をある程度達成したと考える。</p> <p>しかし、学習量（予習0回58.3%、復習0回58.3%）や図書館利用の状況（図書・雑誌の利用なし75.0%）からは、今後さらに主体的な学習態度を涵養していく必要性も示された。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ
授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価からも、教育目標はある程度達成されており、DP上の位置づけに問題はないと考える。

②CPカリキュラムマップ上の位置づけ
本科目は、受講生が少なかったことから、2018年度より開講時期を1年次後期に変更した。その結果、本年度は20名と受講生は増加した。引き続き状況を見ていく必要があると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

これまで通り、外部講師との連携を密に図ることで円滑な授業展開を行いたい。また、学生のモチベーションを維持する観点から、介護技術の習得度に応じた個別指導を行うとともに、できる限り学生の希望を授業内容に反映していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

本科目の教育目標はある程度達成されたものの、受講者数という点では課題が継続された。入学後、ボランティア活動や高齢者領域での実習を希望する学生については、特に受講を促したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>医療ソーシャルワークの事例を読ませ、当事者（患者及びその家族）の思いや援助者の考え方や援助の展開についてを考えてもらい、行間に隠れる思いについてを学生一人ひとりに想像させる形式を用いた。「受講動機」は「必修科目」「資格取得に必要」と答えた者が多かった。医療の事例であったことで病名や病態の理解が出来ず理解し辛かった者もいたと思われる。相談援助の場面は、実際にソーシャルワーカーが関わり始める際には、いずれも理解できないところから始まる。学生たちに、疑問な点を考えさせるようにしたが、遠慮したのか意見が少なかった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	学習到達度は必ずしも高いとは言えないが、理解しようとする姿勢は評価する。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP達成度はいずれもやや低いものではあったが、学習の成果はあったと判断する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

事例を読んだ後に、解らない言葉やソーシャルワーカーの介入の仕方などに疑問があれば促したが、返って来る意見が殆どなかった。大学では良くても、実習に行った時には必ず意見を求められると促したが、言葉の使い方が悪く学生には理解してもらえていなかったように思えた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

事例を深く読み、自分の意見を出せるように今後も指導して行きたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、これまでの相談援助系の科目を通して学んだことを踏まえて、1いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、2課題を抱えた人々(当事者)の状況、3社会福祉士による具体的な支援内容、4社会福祉士に求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めることを本授業の目的とした。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。なお本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、遠隔システムを軸に授業を展開した。</p> <p>① グループワーク等を中心に、基礎的な視点に基づき、本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。</p> <p>② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。</p> <p>③ 講義内容の振り返りとして、レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。</p> <p>④ 本講義の特性上、福祉的な問題の理解や実際のコミュニケーション技術の方法等の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が標準的レベル及び理想的レベルに達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、中央値4.0に対して、全体的に中央値の水準であった。(3)「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」が共に平均値4.3が最も高く、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と、(5)「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、(6)「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」、その他(7)(10)が平均値4.21であった。一方で、(1)「自分なりの目標を達成できた」は平均値3.9であった。3「授業の質評価」は中央値のほぼ水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、相談援助に携わる上で、①いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、②課題を抱えた人々(当事者)の状況、③社会福祉士による具体的な支援内容、④社会福祉士に求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めた。今後も現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、相談援助の技法、専門職としての価値・倫理を基盤に基本的なコミュニケーション技術を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の基礎を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は相談援助職を目指す学生を対象に、社会福祉の基礎的な知識や技術を学ぶ科目である。そのため近年の福祉的課題や問題の実情を把握するとともに、社会福祉士がどのような倫理と価値をもち、実践するのか等の理解のために、グループワークを中心とした講義の展開が主であった。4年次の本学における社会福祉士・精神保健福祉士・介護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識と技術を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による社会福祉士の在り方や実践・方法論を注察する必要があるが、2021年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価からみても全体的に一定の水準を保っている。自己目標・職業選択に関する達成度が比較的低く、方法的妥当性の問題である。しかし、3年生の段階では自分自身の将来の選択肢について、その専門性を高め、自己内省を深め自己決定をしていくものであるため、本科目を学んでの今後の学生の成長を注察したい。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成できた」の平均値3.9と全体数値よりも低かった。本年度は、地域社会における福祉の問題について具体的な事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会をもったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、グループディスカッションが十分にできなかったことが考えられる。科目の性質上、社会福祉における知識・技術、価値、専門性をおさえるため、次年度に向けた関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、相談援助場面において社会福祉士が社会的にどのような支援を行うのか、社会的な役割を果たすのか等、事例を提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。学生の意見として、授業での学びを深めるために、課題を提示し、その学びを整理するとともに、次年度の講義に生かしていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉実践の展開を学ぶ位置づけであることから、相談援助における基礎的知識の形成と事例を通してみた福祉専門職としての実践の在り方については概ね達成できたが、地域や多様な生活場面に応じた実践をする上での相談援助技術の面で課題を残した。この点は、3年次の相談援助演習Ⅴにおいて社会福祉士が対応する地域での実践事例の検討や演習活動を取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出していきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次の社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみると、「必修科目である」が88.5%、「資格取得に必要なものである」が61.5%、「関心のある内容である」は26.9%であり、本演習への関心は高くはないことがうかがえる。</p> <p>本科目では、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を活用し、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。演習ではできるだけ多くの事例を用い、「相談援助実習」で実践的に用いられる社会福祉の視点や職業倫理、援助技術を習得できるような内容となるよう工夫した。2年次科目ということ踏まえ、特に職業倫理に関わる事例をはじめに重点的に取り扱った。また、相談援助の実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを実施して、学生同士の意見交換から課題解決を導けるような演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は、82.8点、中央値は85点であり、十分なレベルの成績であった。学生の学習到達度の自己評価は、「自分なりの目標を達成した」の平均値4.2、中央値4.0で、目標は達成されたと判断した。各項目をみると、DP1の知識理解が平均値4.2-4.5、中央値4.0-5.0、DP2の思考判断が平均値4.2-4.4、中央値4.0、DP3の意欲関心が平均値4.3、中央値4.5、DP4の態度が平均値4.4、中央値5.0、DP5の技能表現が平均値4.4、中央値4.5-5.0であったため、目標は達成されたと判断した。ただし、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の項目において、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。事例の解説等を丁寧に行い、学生の思考判断力を向上させていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本演習は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置付けられている。4. に記したように、内容的妥当性には問題がなかったと考えられる。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性
上記同様、内容的に妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業の質評価では平均値4.4-4.7、中央値5.0であり、授業の質は問題なかったと判断した。ただし、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の項目において、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。オリエンテーション時に全ての学生が理解できているかを確認しながら、丁寧に説明を行っていくようにしたい。

学習量の評価をみると、2, 3回以上の予習・復習をした学生は約70%であり、自発的学習に取り組んだ学生は約60%であった。課題等により予習・復習、自発的学習を一定程度促すことができたと考え。学生の意見をみると、演習に関連した倫理綱領や福祉制度などを調べ学習したと回答した学生が多かった。学生が関心を持てるような事例を取り上げ、さらに自発的学習を促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価により、概ね授業の目標は達成されたと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（2年次対象・選択）の1つであり、相談援助演習Ⅳ（3年次前期）及び相談援助演習Ⅴ（3年次後期）と連動し、4人の教員がオムニバス形式で担当している。主な教授内容は、各担当教員の専門領域（障害福祉、高齢福祉、医療福祉、地域福祉）における事例を活用した支援内容の検討となっている。 授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「資格取得に必要である」（78.9%）や「必修科目である」（78.9%）が見られ、学生の多くが社会福祉士取得を意識した受講であることがうかがえる。一方で、「関心のある内容である」（31.6%）はやや低い状況にあり、授業内容や展開等を工夫し、学生の関心・意欲を高める必要があると考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体の成績は平均81.3点であり、この点では教育目標を達成したと考える。各DP項目の達成状況について、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見てみると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（わりにそうだと思う34.2%、かなりそうだと思う42.1%）であり、目標をある程度達成できたと言える。思考判断（DP2）については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（わりにそうだと思う44.7%、かなりそうだと思う36.8%）であり、目標を達成できたと言える。「意欲関心」（DP3）については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（わりにそうだと思う52.6%、かなりそうだと思う31.6%）であり、これも目標を達成できたと言える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（わりにそうだと思う30.0%、かなりそうだと思う39.5%）であり、目標をある程度達成できたと言える。「技能表現」（DP5）については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要とする技術を身につけることができた」（わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う31.6%）、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」（わりにそうだと思う36.9%、かなりそうだと思う21.1%）となり、目標をある程度達成できたと考える。 なお、授業評価アンケートにおける学生の自発的学習（授業の課題以外の学習への取組み）について、「していない」57.9%が見られ、今後、学生の関心・意欲を高め、主体的学習態度を引き出す必要があると考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ

学生の到達度自己評価からは、教育目標をある程度達成できており、また、全体の成績は平均81.3点と高いことから、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ

本科目は相談援助の専門的視点や態度、知識・技術を実践的に修得するものである。これらの学びは3年次開講の相談援助実習の展開において不可欠であり、本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

既述の通り、学生の自発的学習の状況から、学生の主体的学習態度を十分に引き出せていない現状が明らかとなった。学生の関心・興味を引き出す授業展開（教授内容と方法）について、教員間で再度検討を行いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体の成績や各DP項目の達成度評価という点では、本科目の教育目標はある程度達成されたと考える。しかし、学生の動機や関心を高め、主体的な学習態度を引き出すという点では課題が残ったと言える。本科目は、教員4名によるオムニバス形式の授業形態となっており、教員間の連携が特に重要になる。今後も授業内容や展開方法等について教員間で共有しながら、より教育効果の高い授業を目指したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習 V	3	後期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>予定通りに実習が出来ず焦りを感じながらだったと思う。しかし、実習で実践場面を経験したところから援助の視点が拡がりを持てたように感じられる。更に気づき足りない点を構造化できればと演習を進めた。受講動機で「資格取得に必要」と答えた者が85.7%とあり、学生が「実習などでの経験を通して専門的な援助の必要性に気づいてくれているものと評価でき「専門分野で必要となるを身につけることができた」と評価する者が多かった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「学びを深めたいと意欲を持つことができた」に高い評価が得られた。また、図書館利用においても評価は少なかったものの自主的にインターネットを利用し取り組む姿勢が伺えた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

「到達度自己評価」「授業の質評価」いずれにおいてもやや低い評価であった。また、「学習量」については僅かではあったが予復習とした者がいたものの演習の時間内のみの学習しか行っていない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「図書館」をする学生はいなかったものの、僅かでも自主的にインターネットを活用した姿勢は評価できると考える。調べることも含め、課題の提出など事前学習、事後学習に結び付ける改善を行っていききたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

総じて達成されたと考える。今後においては、一人ひとりからの疑問や質問について何らかの形で関わりを持ちたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習 V	3	後期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、これまでの相談援助演習科目を通して学んだことを踏まえて、①地域における総合的かつ包括的な援助のあり方、②地域福祉の基盤整備と開発に係る相談援助の方法、③社会福祉士による具体的な支援内容、④社会福祉士に求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めることを本授業の目的とした。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。</p> <p>① 地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握の方法やあり方について理解し、説明できるよう指導した。</p> <p>② 地域福祉の計画について理解し、説明できるよう指導した。</p> <p>③ ネットワーキングの方法やあり方について理解し、説明できるよう指導した。</p> <p>④ 社会資源の活用・調整・開発の方法やあり方について理解し、説明できるよう指導した。</p> <p>⑤ サービスの評価の方法やあり方について理解し、説明できるよう指導した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が標準的レベル及び理想的レベルに達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、中央値4.0に対して、全体的に中央値の水準であった。</p> <p>(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が平均値4.5と最も高く、つぎに(1)「自分なりの目標を達成できた」、(3)「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」、(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」等が平均値4.4、その他の項目は中央値を超える水準であった。3「授業の質評価」は中央値の水準であった。</p> <p>本科目は、相談援助に携わる上で、①地域における総合的かつ包括的な援助のあり方、②地域福祉の基盤整備と開発に係る相談援助の方法、③社会福祉士による具体的な支援内容、④社会福祉士に求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めることを目的に、演習課題を通して表現する練習に取り組んだ。今後も現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、相談援助の技法、専門職としての価値・倫理を基盤により高度なコミュニケーション技術を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の専門および実践の展開を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は相談援助職を目指す学生を対象に、社会福祉士に求められる知識や技術を学ぶ科目である。そのため近年の福祉的課題や問題の実情を把握するとともに、社会福祉士がどのような倫理と価値をもち、実践するののか等の理解のために、グループワークを中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識と技術を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による社会福祉士の在り方や実践・方法論を注察する必要があるが、2021年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価からみても全体的に一定の水準を保っている。自己目標・職業選択に関する達成度が比較的低く、方法的妥当性の問題である。しかし、3年生前期の段階では今後の履修状況において学びながら、自己内省を深め自己決定をしていくものであるため、本科目を学んでの今後の学生の成長を注察したい。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、ほぼ平均値の水準であったが、本年度は、地域社会における福祉的問題について具体的な事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会をもったが、遠隔対応であるため具体的なイメージをもちづらかったと考えられる。科目の性質上、社会福祉における基礎的な内容をおさえるため、次年度に向けた関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、相談援助場面において社会福祉士が社会的にどのような支援を行うのか、社会的な役割を果たすのか等、事例を提示して検討を加えて授業に参加するよう更に促していきたい。</p> <p>本科目は福祉的課題を抱える当事者等の事例を取り扱うとともに、法律・制度・サービスといった広範な情報量を取り扱う性質があり、講義内容の要点を整理する必要性から、課題を通して講義の学びをまとめ、整理することに重点を置いた。本科目においても、課題の内容を整理し、次年度の講義に生かしていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の専門および実践の展開を学ぶ位置づけであることから、ソーシャルワーカーによる地域支援の在り方（住民組織化、地域内の支援機関との連携・協働など）についての基本的な専門知識・技術の形成は概ね達成できたが、関心意欲及び思考判断の面で課題を残した。この点は、専門研究による各領域の指導を通して、社会福祉士が対応する事例の検討や演習活動を取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出していきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習 V	3	後期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（3年次対象・選択）の1つであり、相談援助演習Ⅲ（2年後期）及び相談援助演習Ⅳ（3年前期）と連動し、4人の教員がオムニバス形式で担当している。主な教授内容は、各担当教員の専門領域（障害福祉、高齢福祉、医療福祉、地域福祉）における事例を活用した支援内容の検討である。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「資格取得に必要である」（42.9%）が見られ、約半数の学生が社会福祉士取得を意識した受講動機となっている。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成されなかった
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> <p>全体の成績は平均82.3点であり、この点では教育目標を達成したと言える。各DP項目の達成状況について、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見てみると、「知識理解」（DP1）については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（わりにそうだと思う42.9%、かなりそうだと思う21.4%）であり、目標をある程度達成できたと言える。「思考判断」（DP2）については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（わりにそうだと思う42.9%、かなりそうだと思う14.3%）であり、目標をやや達成できなかったと言える。「意欲関心」（DP3）については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う14.3%）であり、目標をある程度達成できたと言える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（わりにそうだと思う35.7%、かなりそうだと思う14.3%）であり、目標をやや達成できなかったと考える。「技能表現」（DP5）については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」（わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う14.3%）、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」（わりにそうだと思う35.7%、かなりそうだと思う14.3%）であり、目標をやや達成できなかったと考える。</p> <p>この他、授業評価アンケートにおける学生の自発的学習状況（授業の課題以外の学習への取組み「していない」71.4%、予習「0回」50.0%、復習「0回」64.3%）から、学生の関心・意欲を高め、主体的学習態度を引き出す必要があると考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ
全体の成績は平均82.3点であった。授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、全体として教育目標の達成は「どちらともいえない」であったが、DP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ
本科目は相談援助の専門的視点や態度、知識・技術を実践的に修得するものである。これらは当該学年で履修する相談援助実習の展開において不可欠となるものであり、本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

先述の通り、授業評価アンケートでの「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」との問いに対して、「していない」（71.4%）が見られ、本科目において学生の主体的学習態度を十分に引き出せていない現状が明らかとなった。引き続き学生の関心・興味を引き出す授業展開を検討する必要があると考える。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

本年度は教育目標の達成という点で課題が残ったと考える。本科目は教員4名によるオムニバス形式の授業形態となっており、教員間の連携が特に重要になる。今後も授業内容や展開方法等について教員間で十分な共有を図りながら、より教育効果の高い授業を目指したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習 V	3	後期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみると、「必修科目である」が60.0%、「資格取得に必要である」が70.0%、「関心のある内容である」が20.0%であり、資格取得のための履修であることがうかがえる。本演習は相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴと連動しており、学生にとって演習Ⅴは最後の相談援助演習となるため、これまで演習・実習で学んできた援助技術を総括できるよう、地域を基盤として、複数の課題を解決することが求められるような事例を用い、ソーシャルワークの理論と実践を統合できるような内容になるよう努めた。</p> <p>昨年度と同様、地域福祉の実践としてある自治会を中心とした地域づくりを含む事例を取り上げ、コミュニティソーシャルワークの視点を学ぶ内容とした。今年度は昨年度に比べ、講義回数が増えたため、新たに学生がイメージしづらい地域づくりについて、実際に地区を歩いて地域診断を行う演習や、地域住民を対象としたプログラムの企画立案などの演習を取り入れ、実践的な内容になるよう工夫した。また、相談援助の実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを通して課題解決を導けるような演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は82.1点、中央値は85点であり、十分なレベルの成績で合った。学生の学習到達度の自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」の平均値が4.2、中央値4.0であった。これらの点から学生は概ね目標達成レベルに達していると判断した。各項目については、DP1の知識理解が平均値4.6、中央値5.0、DP2の思考判断が平均値4.4-4.5、中央値4.5、DP3の意欲関心が平均値4.4、中央値4.5、DP4の態度が平均値4.5、中央値4.5、DP5の技能表現が平均値4.5-4.7、中央値4.5-5.0であった。これらの結果より、目標は達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本演習は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置付けられている。4. に記したように、内容的妥当性には問題がなかったと考えられる。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性

上記同様、内容的に妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業の質評価では平均値4.5-4.8、中央値5.0であり、全ての項目において「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかった。このことから内容的に問題はなかったと判断した。

学習量の評価をみると、2, 3回以上の予習・復習をした学生は約30-50%、自発的学習を行った学生は約20%にとどまった。自発的学習に取り組んだ学生の意見を見てみると、演習に関連した内容の自己学習であったため、次年度以降、課題の提示等により、さらに予習・復習、自発的学習を促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価により、授業の目標は達成されたと考える。次年度以降は、予習・復習、自発的学習をさらにうながしていく取り組みが必要である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅰ	2	通年	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>実習の領域を考えて選択しているためか専門職を目指す意志として「資格取得」の回答が100%、「必修科目」が75%であった。実習先やそこで行われていたことの具体的なイメージが掴めるよう現場でのことを多く話し、何をするのかを理解できるようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全員が「到達度自己評価」各項目の④以上の回答であり教育目標は達成されたと考える。また、図書館、インターネットの利用も全員が検索をして調べ学習をしていることがわかった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

「到達度自己評価が高かったことは、学ぶことで実習領域への関心と理解が深まって来たものとする。自分から積極的に取り組む姿勢が感じられる回答であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

自分から積極的に取り組む姿勢が感じられる回答であった。実習指導II、実習を実りあるものとなるよう指導していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

実習先についてのイメージが掴めないため今後は現場の専門職からの話なども取り入れていけるようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅰ	2	通年	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、3年次の「相談援助実習」に向けた準備学習を行う科目として位置づけられる。授業では、2年次までに修得した相談援助にかかわる基礎的な知識・技術を障害者領域に特化して再度復習するとともに、障害者支援に関する実践的知識・技術を教授する。加えて社会福祉士を目指すモチベーションを確認し、実習に向けた自己の準備性や対人援助職への適性を確認していくことを目標に授業を展開した。受講動機を見てみると、「必修科目である」が75.0%、「資格取得に必要である」が58.3%を占め、「関心のある内容である」は16.7%であった。必ずしも社会福祉士取得に意欲の高い学生のみが受講している訳ではないことを踏まえ、将来の進路を見定めていくことも目標に加えて、できるだけ実習やソーシャルワーカーの仕事をイメージ化できるよう、実技指導を行いながら授業を展開した。</p> <p>今年度は利用者の障害理解に関して、各自での調べ学習を取り入れ、それぞれが知識を整理し確認できる機会を取り入れた。また前年度と同様、障害者支援の現場で実際に用いられている、視覚的構造化や認知行動療法などの技術を実践的に学べる演習を取り入れた。ソーシャルワークの実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを実施できるようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は81.3点、中央値85点で十分な目標レベルに達していた。学生の学習達成度の自己評価においては、「自分なりの目標を達成した」の項目が、平均値4.3、中央値4.0であった。各項目をみても、DP1の知識理解が平均値4.3、中央値4.0、DP2の思考判断が平均値4.3、中央値4.0、DP3の意欲関心が平均値4.3、中央値4.0、DP4の態度が平均値4.3、中央値4.0、DP5の技能表現が平均値4.3、中央値4.0であった。また全ての項目において、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかった。このことから学生の自己評価においても目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」という社会福祉実践の展開につなぐ科目として位置付けられている。学生の資格取得へのモチベーションに課題はあるものの、「職業選択の参考になった」の平均値4.3、中央値4.0という評価をみると、本科目を通して学生が進路を定めていくことに貢献できた点で内容的妥当性はあったと考えられる。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性

4. に記したように成績の平均値、および学生の自己評価から内容的妥当性はあったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業の質評価の回答をみると、平均値4.4、中央値4.5であり、全ての項目において「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかった。このことから授業の質は問題なかったと判断した。

学習量の評価をみると、2, 3回以上の予習を行った学生が75%、復習を行った学生が75%であり、自発的学習を行った学生が58%であった。自発的学習に関する自由記述をみると、「分からなかったところ」や、「学んだことを深める」ためにインターネットや本を使って調べたとの回答が多かった。課題等への取り組みを通して、一定の学生に対しては予習・復習を促すことができたと考え。今後は資格取得への関心をさらに高めることで、自発的な学習を促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」という社会福祉実践の展開につなぐ科目として位置付けられている。本科目を通して「職業選択の参考になった」の評価から、学生が進路を定めていくことに貢献できたと考え。今後は資格取得への関心をさらに高めることで、自発的な学習を促していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅰ	2	通年	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目の一つであり、「相談援助実習(3年次)」の実施に向けた準備段階として位置づけられる。児童福祉領域の実習で求められる知識・技術を確認し習得すると同時に、実習に向けての動機づけが高まるよう、授業を展開した。例年実施している見学実習については、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から実施を見合わせたため、視聴覚教材による学習や意見交換・共有の機会を多くもつよう授業を構成し、これまでに福祉専門科目で学んできた様々な知識を実践的な場面と結びつけて理解し説明できるようになることに重点をおいた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価においては、「知識・理解」(DP1)において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う45.5%、わりにそうだと思う36.4%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う27.3%、わりにそうだと思う54.5%)、「思考・判断」(DP2)においては、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う36.4%、わりにそうだと思う45.5%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う27.3%、わりにそうだと思う54.5%)、「関心・意欲」(DP3)においては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う45.5%、わりにそうだと思う36.4%)、「態度」(DP4)においては「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う36.4%、わりにそうだと思う45.5%)、「技能表現」(DP5)においては、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(かなりそうだと思う27.3%、わりにそうだと思う63.6%)「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う18.2%、わりにそうだと思う63.6%)であった。本科目における教育目標は概ね達成できたと言えるが、「技能表現」において課題が残ったと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP:行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記述したように、十分とはいえないものの一定程度の達成状況にあると考えることができ、本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える</p> <p>②CP:カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は3年次の「相談援助実習」の実施に向けて展開される科目であり、実習に向けた具体的準備、実習に向けての動機づけを行い、準備学習を深めていくものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、いずれも平均値4.2となっており高い評価が得られた。授業に参加するための準備を1度も行わなかった学生は0名であり、復習を一度も行わなかった学生は1名のみであった。この授業で図書館を利用した学生は36.4%と少数にとどまったが、授業の課題以外に学習に取り組んだと回答した学生は81.8%であり、自発的学習に主体的に取り組む姿勢を培うことに一定の成果があったと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>次年度の「相談援助実習」に向けて、必要な知識の習得、主体的に学びを深めようとする姿勢の涵養という点からは、本科目における教育目標はある程度達成できたと考えるが、DPにおける「技能表現」において課題が残った。さらなる改善、工夫に取り組んでいきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅰ	3	通年	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（2年次対象・通年）の1つであり、相談援助実習（3年次）の実施に向けた準備学習として位置づけられる。学生自身も本科目のこうした位置づけを認識していると思われ、授業評価アンケートの受講動機は、「資格取得に必要なである」（73.3%）と高い割合が示された。</p> <p>本科目では、高齢者福祉領域の実習指導を担当した。既述の通り、本科目が実習に向けた準備学習であることから、実習領域・施設や利用者理解を深めることを目的に、調べ学習を中心とした授業を展開した。また、学生を少人数のグループに分け、調べ学習の結果を共有させるなど、学生間の相互交流により実習への動機が高まるよう意識した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成状況について、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（わりにそうだと思う40.0%、かなりそうだと思う33.3%）であり、目標をある程度達成したと言える。「思考判断」（DP2）については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（わりにそうだと思う40.0%、かなりそうだと思う26.7%）となっており、目標をある程度達成できたと言える。「意欲関心」（DP3）については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（わりにそうだと思う40.0%、かなりそうだと思う26.7%）であり、これも目標をある程度達成できたと言える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（わりにそうだと思う40.0%、かなりそうだと思う26.7%）となっており、目標をある程度達成できたと言える。「技能表現」（DP5）については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」（わりにそうだと思う40.0%、かなりそうだと思う26.7%）、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」（わりにそうだと思う40.0%、かなりそうだと思う35.7%）となっており、目標はある程度達成されたと考えられる。</p> <p>以上、DP項目の達成度からは、総じて本科目の教育目標は、ある程度達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ

授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、全体として教育目標をある程度達成しており、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ

本科目は3年次に実施する相談援助実習の準備学習として、実習に必要な知識・技術や態度を修得するものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

各DP項目の達成状況から、本科目の教育目標はある程度達成できたと言える。今後も学生個々の理解度や学習の進捗状況の把握を十分に行い、授業を展開していきたい。また、図書館や情報処理演習室を積極的に利用するなど、学生の主体的な学習態度の涵養と実習への動機づけに取り組みたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は、実習への準備・事前学習としての位置づけにあり、実習への動機や実習に取り組む姿勢に直接関わってくる。今後も引き続き学生個々の状況を踏まえながら、授業改善に取り組みたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必修科目である」が50.0%、「資格取得に必要である」が100%であった。医療における社会的な問題を抱える人々の生活課題を解決調整する意味について感じ、考えることを学生らに求めたことから、実習での経験で随分と成長したと評価できる。</p> <p>①医療機関での実習に必要と思われる知識と技術について参考資料の提示と講義を行った。</p> <p>②配属については、コロナ禍で3年時に全員が実習に出れず、不安を持たせる結果になった。実習は4年時に持ち越す学生がいた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>①「到達度自己評価」「授業の質評価」の項目は、平均値が4.5以上であり教育目標は達成されたと考える。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.5以上を得ている点は学生自らの成長から伺える。</p> <p>②図書館の利用が少なく、インターネットの利用は高い傾向にあり主体的に調べる取り組みは評価できる。</p> <p>配属先の情報については、学生各自で過去の先輩らが同じ施設で実習した時の資料を参考にしたり、インターネットなどを活用し調べさせるように指導した。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

医療機関は実習先として他の領域と同じ扱いではあるが、生命を扱う場としての特殊性があると説明し、受験資格を得る為の実習態度であれば他職種の実習生と比較され注意、指摘を受けることになると注意をし緊張感と積極性を持つよう指導した。そのことが「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が4.5と高く「到達度自己評価」に表れDPは達成できたと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

実習先としての医療機関は、他の領域と同じ扱いではあるが、生命を扱う場としての特殊性があると説明し、受験資格を得る為の実習では、他職種の実習生と比較され注意、指摘を受けると注意を喚起し緊張感と積極性持つよう指導した。そのことが「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が5.0と高く「到達度自己評価」に表れDPは達成できたと考える。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

学生一人ひとりが、実習（現場）において学んできた専門職の方たちと同じ場所で緊張しながら学んだ経験は大きかったと思われる。教員の評価は、実習に出て成長したと評価している。次年度以降も実習を元に学びを深め将来的な方向性を見定めてもらいたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して展開される科目である。授業は実習前指導、実習配属中の指導、事後指導からなり、事前指導ではソーシャルワークの視点形成、事後指導ではスーパービジョンを通じた実践と理論との統合化を目標に展開した。学生の受講動機を見てみると、「必修科目である」が77.3%、「資格取得に必要である」が81.8%、「関心のある内容である」は18.2%となっており、多くの学生は資格取得のための履修である。</p> <p>今年度もコロナ禍での実習となり、実習延期等への対応が余儀なくされ、実習担当教員間や実習先と密に連携を図りながら調整を行った。またその影響で学生へ不利が生じないよう、各学生の実習の実施状況に応じた個別の対応を行い、授業を展開した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の最終的な成績の平均値は87点、中央値87.5点で、十分なレベルの達成度であった。学生の学習達成度の自己評価においては、「自分なりの目標を達成した」が平均値4.5、中央値5.0であった。各項目については、DP1の知識理解が平均値4.4-4.5、中央値4.5-5.0、DP2の思考判断が平均値4.4-4.5、中央値4.5-5.0、DP3の意欲関心が平均値4.5、中央値5.0、DP4の態度が平均値4.5、中央値5.0、DP5の技能表現が平均値4.5、中央値5.0であった。全ての項目において「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はおらず、目標は達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して展開される科目として位置付けられている。4. に記載したような成績の平均値、および学生の自己評価から内容的妥当性はあったと考えられる。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性

4. に記したように成績の平均値、および学生の自己評価から内容的妥当性はあったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業の質評価については、平均値4.5、中央値5.0であり、全ての項目において「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかった。このことから、授業の質については問題なかったと判断した。

学習量の評価については、3～6回以上の予習をした学生が55%、復習をした学生が64%、自発的学習をした学生が64%であった。自発的学習を行った学生の自由回答を見てみると、障害、障害者福祉、実習施設などに関して調べ学習をした学生が多かった。実習の経験をもとに、自発的学習を促すことが一定程度できたと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して展開される科目である。4. に記したように成績および学習達成度の自己評価、授業の質評価から、概ね授業の目標は達成されたと考えられる。学生の意見には、実習を通して自分が成長できたとの記述もあり、次年度以降も実習生が実習を通して自己の成長を実感できるように指導を行っていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目の一つであり、「相談援助実習」のスーパービジョン、及び事前指導・事後指導を行うものである。児童福祉領域(児童養護施設・障害児施設を含む)での相談援助実習を通して、相談援助の知識・技術を実践的に体得し、社会福祉士として求められる総合的に対応する力を高められるよう事前指導、事後指導を展開した。事前指導においては、実習施設で求められる援助技術や知識の習得とソーシャルワークの視点の形成、実習中及び実習後指導においては実践と理論の統合化を学生の主体的な学びと気づきの中から達成できるようスーパービジョンを実施することを心掛けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成状況について、学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)においては「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う54%、わりにそうだと思う15%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う46%、わりにそうだと思う23%)、「思考判断」(DP2)については「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う54%、わりにそうだと思う15%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う54%、わりにそうだと思う15%)、「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う54%、わりにそうだと思う15%)、「態度」(DP4)については「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う46%、わりにそうだと思う23%)、「技能表現」(DP5)については「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術や技術を身につけることができた」(かなりそうだと思う54%、わりにそうだと思う15%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う54%、わりにそうだと思う15%)であった。新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、多くの制限がある中での実習となったが、学生一人一人が多くの学びを得、実習先からも学生の熱心に取り組む姿を評価していただいた。履修学生の中には対人援助場面において困難を抱える学生も複数名おり、実習においては相当程度のつらさやしんどさに直面しながら自身と向き合い乗り越え、履修学生全員が実習を無事終えることができた。本科目における目標を概ね達成したと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP:行動目標からの内容的妥当性

4(2)に記述したように、学生の到達度自己評価から、DPにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。

②CP:カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性

本科目は「相談援助実習」と連動して展開される科目であり、実習に向けた具体的準備、実習に向けての動機づけを行い、事前学習、学びの整理を行うものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては平均値4.0～4.2が得られた。授業の課題以外に学習に取り組んだ学生は85%であった。新型コロナウイルスの影響で実習延期となり、半数以上の学生は当初12日間の実習を2期に分けて実施する予定であった実習が24日間連続となったが、学生が意欲を失うことなく実習に向けての準備に取り組み、長い期間の実習を乗り切り無事終えることができた。実習後の振り返りとまとめ、後輩に向けての実習報告やアドバイスにも積極的に取り組む姿が見られた。

学生一人ひとりが実習でよい体験や学びを得ることができるよう、引き続き、実習前、実習後、実習期間中の指導とスーパービジョンの質の向上に取り組んでいきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の教育目標は概ね達成できたと考える。学生一人ひとりが対人援助職として目指したい姿を思い描き、さらに意欲をもって学びを深めていけるよう、今後も取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、社会福祉士指定科目（3年次・通年）の1つであり、相談援助実習（3年次）の事前及び事後指導を行うものである。高齢者福祉領域を担当し、実習前指導では、実習関連書類の作成指導や実習現場で必要となる知識・技術の教授を通じて実習への動機を高めた。実習後指導では、個別面談を通して実習で得た学びや気づきを深めさせた。また、実習期間中は巡回訪問を行い、個別指導及び実習指導者への面談を通して、実習状況の確認を行った。 ※昨年同様に、新型コロナウイルスの影響で実習期間・施設等が大幅に変更となったため、授業運営においても個別対応を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>各DP項目の達成状況について、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う25.0%、かなりそうだと思う62.5%)となっており、目標を達成したと言える。「思考判断」(DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う37.5%、かなりそうだと思う50.0%)となっており、目標を達成できたと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う37.5%、かなりそうだと思う50.0%)であり、これも目標を達成できたと言える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う25.0%、かなりそうだと思う62.5%)となっており、目標を達成したと言える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う25.0%、かなりそうだと思う62.5%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(わりにそうだと思う25.0%、かなりそうだと思う62.5%)となっており、目標を達成できた。 以上、本科目の教育目標の達成については、各DP項目の達成度から全体として達成できたと考えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ
授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、DP項目の達成は全体として達成されており、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ
本科目は相談援助実習の実施に向けた事務手続きや動機づけ、実習で得た学びの整理・振り返りを行うものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

実習前指導では、実習実施に向けた関連文書の作成、実習で必要となる知識・技術の獲得、動機づけ等を行っている。こうした過程において、学生には主体的学習態度が求められるが、授業評価アンケートの「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」との問いでは、「していない」(50.0%)が示された。今後、いかに学生の学習意欲を引き出すか、課題が示されたと言える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目における教育目標は達成されたと言えるが、一方で実習への動機づけや主体的学習態度を引き出す点では課題が残った。相談援助実習指導Iと同様に、今後は本科目で修得した知識・技術が実際の実習現場でどのように役立ったか/役に立たなかったか、実習後指導(個別面談、発表、レポート)が知識・技術の修得に十分寄与したかといった点での評価も必要と考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神障害者の生活支援システム	2	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、メンタルヘルスの課題を抱える当事者(精神障害者など)の生活支援の意義と特徴及びそれに関する制度と施策についての理解を深めるとともに、さまざまな活動領域における精神保健福祉士の相談援助活動について理解することを目的に本授業を構成した。本年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点により、遠隔システムを軸に実践事例・福祉教材などを用いたり、社会的な課題について考察することで、精神障害者の生活支援システムについての知識と支援内容の基本的な理解を深めた。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。</p> <p>① 講話法を中心とした講義の展開が主であった。地域で生活するメンタルヘルスの課題を抱える当事者及び家族、支援者等に関する横断的な理解が求められる。そのため3年次以降の本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。</p> <p>② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。</p> <p>③ これまでの講義内容の振り返りとして、レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。</p> <p>④ 本講義の特性上、地域で生活するメンタルヘルスの課題を抱える当事者、家族、支援者、各種法制度等の広範な理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は、84点であり、再試対象は0名であった。本年度は遠隔授業中心の講義を実施したものの、全員が標準的レベル及び理想的レベルに概ね達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、中央値4.0に対して、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、(6)「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」が平均値4.2が一番高く、次に(1)(3)(5)(7)(10)の順であった。3「授業の質評価」は中央値の水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、地域福祉の観点からメンタルヘルスの課題を抱える当事者の地域生活を支える知識について問うものである。精神保健福祉に係る法制度、サービスについては、広範な情報量となるため、現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士・精神保健福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、メンタルヘルスの課題を抱える当事者の地域生活を支える法律、制度、サービスを理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理したり、グループ討議等、次年度に向けて検討したい。</p>					
*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「精神保健福祉関係科目」では、精神保健福祉の専門を学ぶ位置づけであり、選択科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目はメンタルヘルスの課題を抱える当事者の地域生活を支える支援の在り方、諸制度やサービスの仕組み等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による法制度・サービスの動向を注視する必要があるが、2020年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から表現技能に関する達成度が比較的低かったが、メンタルヘルスの課題を抱える当事者及び家族への支援や地域生活支援上の諸制度・サービスの表現の機会が少なかった点では方法的妥当性の問題である。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題(具体的な事例)を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値3.6と全体数値よりも低かった。本講義は、講義形式により、メンタルヘルスの課題を抱える当事者の地域生活を支える知識について学ぶ機会を中心においたため、事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会が少なかった。次年度に向けて関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、「精神保健福祉関係科目」では、精神保健福祉の専門を学ぶ位置づけであることから、精神障害者に対する地域支援に求められる基礎的知識の形成については概ね達成できたが、関心意欲及び思考判断の面で課題を残した。この点は、3年次の精神保健福祉の関連科目(演習活動や現場での実習体験等)を通して、学生自身の主体的な学びを促し、精神保健福祉士に求められる倫理と価値、知識や技術を学ぶことの意欲を引き出していきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り、学生自身の考える時間をとること、学生が体験的に捉えた学びを基に、コミュニケーションを図ることで、学生自身の学びを深めていきたい。そして、主体的な学びを深めていくためには、復習課題を意識的に提示する。適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	高口 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	3	後期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が58.8%であり、「資格取得に必要である」が88.2%、「関心のある内容である」が17.6%であった。精神保健福祉士を目指すものにとって基本的な知識を得る教科であるが、関心が極端に低かった。実践がイメージ出来るような事例を豊富に取り入れながら、実践で役立つよう、要約や記録の機会を多く設けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が58.8%であり、「資格取得に必要である」が88.2%、「関心のある内容である」が17.6%であった。精神保健福祉士を目指すものにとって基本的な知識を得る教科であるが、関心が極端に低かった。実践がイメージ出来るような事例を豊富に取り入れながら、実践で役立つよう、要約や記録の機会を多く設けた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見て、本科目は資格取得に必要な「選択科目」であり、精神保健福祉に関する援助の基盤となる知識を高める教科である。学生からの感想では「精神保健福祉に関する関心が高まった」とあり、学習達成度の自己評価からみても、DP、CPともに内容は妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について「評価基準が明らかである」の平均値は4.2、「学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.2、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.1、「自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」の平均値は4.4、「口頭、文書など、何らかの形で質問を受け付け、答える機会が作られていた」の平均値は4.3であった。考察や意見交換の時間を意識的に設けたことは、体感として現れていると考える。学習量の評価では、自主学習に取り組む機会を設けることが出来なかった様子が見られた。評価基準を明確に示し、学生が自主的に考察し自習に取り組むことが出来るよう工夫したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉の基本的知識を「学ぶ」時間と、学んだことを要約し記録する時間を多く設けたことから、学生の知識向上につながったと考える。しかし、授業時間以外に学習に取り組む機会につなげることが出来なかったことは課題である。以上のことから、学習のねらいや復習課題を提示するよう努めていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	三木 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神疾患とその治療	2	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神医学の知識は精神保健福祉士では必須であり、社会福祉士においても多くの場面で有用な知識と考えている。このため受講動機が資格取得のために高知となったと考える。高齢化に伴う認知症の増加、発達障害や社会的な引きこもりが注目を集めるなど新たな状況が生じてきていることもあり、そうした理由以外でも今精神医学を学ぶことは大きな意義があると考えている。また2022年にはICDの改訂も予定されており、最新の知識を得ておくことも重要である。これらを踏まえて授業計画を作成した。担当者が臨床医であることから臨床事例を多く取り入れるようにした。各時間ごとのアンケート、評価のためのレポートより学習に積極的に参加していただいたと感じている。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された		達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>多くの科目選択者が毎回出席するという出席率および各授業毎のアンケートからは学習意欲の高さがうかがわれた。全ての授業が遠隔で行われたため態度や知識理解について個々の聴講者についての評価が難しかった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

精神医学の基本的な知識に加え、最新の情報も盛り込んだ。臨床事例も取り込み実践的な内容とした。こうしたことより目標は達成できたと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

遠隔授業のため、質疑応答、グループディスカッションが実施できなかった。2022年度では対面での講義が予定されているためそうした方法の導入を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

遠隔授業という限られた情報量のやりとりしか行えない難しい状況であったが概ね目標は達成できたと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助演習Ⅰ	2	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であり、受講学生は、全員が精神保健福祉士レールである。精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、1年生時や2年生前期において受講済みの精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更には精神保健福祉士レールで初めての演習グループであることも十分に考慮をして講義を展開させた。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、北九州市における精神保健福祉社会資源マップの作成をグループ化して行うことを事前に知らせ準備させた。毎回講義のレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p> <p>なお、今年度に関してはweb講義中心での対応となり、学生の反応を直接確認することはできなかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、演習参加協力度、リアクションペーパー、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が殆どを占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、初めての精神グループでの演習で、仲間との理解も深まったし精神に進んでよかったと思ったや、次年度からも精神保健福祉関連の講義が楽しみです等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、受講の全学生が、精神保健福祉士のレーン選択の学生であり、精神障害者福祉や医療福祉領域に興味があるということで、講義に対してのモチベーションは非常に意欲的なものが感じられ、高い関心を感じられた。学生も成績評価からみて、一定の到達領域に達しており、内容的には十分に妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見での内容的妥当性についても、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均点が、他の項目と比較すると低かった。その場面設定を行い、実際にグループ化して社会資源マップを作成する作業を行った。2年生になって初めての自分の専攻の演習であったので、なかなか慣れていないということもあったかもしれないが、可能な限り今以上に展開できるように、次年度以降も工夫をしていきたい。また、昨年度は、調査の作業を課したのでインターネット上での検索は多く、残念ながら学術データベースの活用が殆どなされてなかった。今年度は利用の仕方からのインフォメーションを行い、積極的に活用できるよう指導をした。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、忙しかったという回答があった。時間の作り方に関しても、引き続き具体的な方法を提示するなどの指導を行いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉士国家試験受験資格の必須科目であり、全員が精神保健福祉士養成レーンの学生であった。1年次や2年前期での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、初めての専攻のグループであるので、前半部分は相談援助の基本的なことの復讐も含めて講義を進めていくこととした。また、後半部分は、実際に援助支援をする時に必要なものに理解を深めさせるために、地元の精神保健福祉社の社会資源マップの作成をグループ化して分担で課した。更には、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、ロールプレイを取り入れ実際に演じてみるという演習を行って、良い意識づけはできたと思う。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めることができたと感じられる。次年度も引き続き、予習復習、学術データベースの利用方法に関しても、具体的な指示を出すことにしたい。web衷心ではあったが、対面講義と同等の達成状況であった感じられる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助演習Ⅲ	4	通年	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であり、精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、他の精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更なる考慮をして講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職能団体のWebでの研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、精神保健福祉士の過去の国家試験問題等を利用したりしての解説等を行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジメを作成して配布し、理解度を高めた。</p> <p>なお、今年度に関してはweb中心の講義での対応となり、学生の反応を直接確認することはできなかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、演習参加協力度、リアクションペーパー、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が殆どを占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の試験対策にとても役に立ったや、幅広く福祉全般の関連分野まで理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、受講の全学生が、精神保健福祉士の国家試験受験者であり、精神障害者福祉や医療福祉領域に興味があるということで、講義に対してのモチベーションは非常に意欲的なものを感じられ、高い関心を感じられた。学生も成績評価からみて、一定の到達領域に達しており、内容的には十分に妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見での内容的妥当性についても、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目が他の項目より平均点が低かった。Webでもあり、座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討を行い、引き続き次年度以降の課題としたい。学術データベースの利用に関しても残念ながら殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも引き続き検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、昨年度に引き続き具体的に指導を行いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉士国家試験受験資格の必須科目であり、全員が精神保健福祉士養成レーンの学生であった。今までの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、4年後期の開講科目という点から、前半部分は今までの復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、後半部分は両福祉士の国家試験が近付くということも考慮して、その試験に関することに関係性を持たせて講義を行った。更には、上記に示したように、よりリアルティを習得できるように、Web中心ではあったがロールプレイを取り入れ実際に演じてみるという演習を行った。さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めた。次年度は予習復習に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。Webが中心ではあったが、対面と同等の効果があつたと感じられた。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3	通年	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であり、精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、他の精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更なる考慮をして講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を、また、シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。更には、実習指導の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件等々を詳細に説明した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p> <p>なお、今年度に関しては殆どがweb講義での対応となり、学生の反応を直接確認することはできなかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の資格取得に課せられた精神保健福祉援助実習Ⅰ（医療機関実習）の事前事後指導の科目である。3年次の医療機関実習での実習に向けた各自の目標設定や課題の確認等を行いながら医療機関実習に臨むことができている。Web中心での実習ではあったが、終了後のグループワークの中でも、Webの実習を振り返ることができており、更には次年度の実習Ⅱの目標も、ある程度立てられるようになっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

3年次の精神保健福祉援助実習Ⅰに対しての、事前事後指導という位置づけである。精神保健福祉援助実習Ⅰを通して学んだことを、個別体験から総合的包括的な理解へと広がるための科目設定である。従って、内容的には妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価に関しては、授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた項目と、質問の受付答える機会の提供の項目については高得点だった。できるだけ主体的参加によるグループワークが展開できるような、演習形式を意識して行っていたための評価であると考えている。実習事前事後指導については、Web中心の実習であったため、Web機構を十分に利用して情報収集や振り返りをさせ、各自の実習目的を明確化することを進めていった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉士を目指す学生のみが受講生をしめる本科目において、学生の学習への動機づけはある程度学生自身でできていると思われる。実習に向けての職業倫理や行動規範などにより時間をかけるとともに、授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができたのではないと思われる。次年度も、引き続きこの点を取り入れて授業を組み立てていこうと考えている。Web中心での講義であったが、対面と同様の効果はあったと感じられる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4	通年	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は、精神保健福祉士の国家試験受験資格の指定科目であるため、必修であると回答した学生が多いと考えられる。また、学生は資格取得に必要な科目であることを意識しての受講であることがわかる。</p> <p>②資格取得のための指定科目という意識づけをオリエンテーションでの目的として、実習指導の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。</p> <p>③授業の実施に当たっては、できるだけ具体的な内容を含めて、説明を行った。</p> <p>なお、今年度に関しては殆どがweb講義での対応となり、学生の反応を直接確認することは少なかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の資格取得に課せられた精神保健福祉援助実習Ⅱ（地域実習）の事前事後指導の科目である。3年次の医療機関実習での学びを通して4年次の実習に向けた各自の目標設定や課題の確認等しながらWeb中心ではあるが、地域実習に臨むことができている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

精神保健福祉援助実習Ⅱに向けた、事前事後指導という位置づけである。精神保健福祉コースの総括としての実習Ⅱを通して学んだことを、事後指導の時間を多く設けて個別体験から総合的包括的な理解へと広がるための科目設定である。内容的には妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価に関しては、授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた、及び質問の受付答える機会の提供の項目についても高得点であった。Web中心ではあったが、できるだけ主体的参加によるグループワークが展開できるような演習形式を意識して行っていたための評価であると考えている。実習事前事後指導については、Webでの実習ではあったが、よりリアリティな状況を説明していきながら、各自の実習目的を明確化することを進めていった。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉士を目指す学生が受講生をしめる本科目において、学生の学習への動機づけはある程度学生自身でできていると思われる。実習に向けての職業倫理や行動規範などにより時間をかけるとともに、授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができたと思われる。次年度も引き続き、この点を取り入れて授業を組み立てていこうと考えている。Webでの講義が中心であったが、体面と同等の効果があつたと感じられる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神障害者地域生活支援論	4	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士や精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目ではないが、精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、他の精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更なる考慮をして講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職団体のWebでの研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、精神保健福祉士の過去の国家試験問題等を利用したりしての解説等を行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジメを作成して配布し、理解度を高めた。</p> <p>なお、今年度に関しては殆どがweb講義での対応となり、学生の反応を直接確認することはできなかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、最終レポート、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が殆どを占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の試験対策にとっても役に立ったや、幅広く地域での福祉全般の関連分野まで理解が深まった等の内容の記載もあった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、両福祉士の国家資格を取得するための専門科目ではないのにも関わらず、その関連性の高さから、講義に対してのモチベーションは非常に意欲的なものを感じられた。また、受講の全学生が、精神保健福祉士の国家試験受験者であり、精神障害者福祉や医療福祉領域に興味があるということで、高い関心を感じられた。学生も成績評価からみて、一定の到達領域に達しており、内容的には十分に妥当であると思われる。DP、行動目標から見た内容的妥当性についても、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目が他の項目より平均点が低かった。Webでの座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討を行い、引き続き次年度以降の課題としたい。更には、昨年度及び一昨年度も学術データベースの利用に関しても残念ながら殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも工夫をしていきながら、引き続き検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、引き続き具体的に指導を行いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

科目とのつながりを考えて教授を行ったが、4年後期の開講科目という点から、前半部分は今までの復習とその関連性も含めて講義を進めていくことにした。また、後半部分は両福祉士の国家試験が近付くということも考慮して、その試験に関することに関係性を持たせて講義を行った。更には、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、多くの事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めることができたと感じられる。次年度は予習復習に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。Webでの講義が中心であったが、対面と同等の効果があつたと感じられる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
認知行動療法基礎演習	2	後期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ひとの体験を認知行動モデルから理解する視点を身に着け、さらに認知行動モデルを基礎とした支援の在り方を学習することを目的とした。受講学生は認知行動モデルや認知行動療法について詳しく学習するのは初めてであることが予測されたことから、授業前半では認知行動モデルについての理解が定着するよう基礎概念の解説を時間をかけて行った。また、授業評価アンケートにおける「受講動機」では、「関心のある内容である」と回答した学生が多かった。講義時も、意欲的な受講態度が認められたため、自身の体験を認知行動モデルから捉えなおすワークや事例検討などを行い、学生自身が考える課題を多く取り入れた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>本講義の最終的な成績は、平均83.6点(標準偏差5.81点)であった。DP1に関して、成績結果から、本講義で取り扱った学習内容について受講学生が適切に理解し知識を獲得したものと評価した。またDP2についても、DP1と同様に、成績結果より、本講義で学習した内容をもとに、自身の体験や事例について認知行動モデルから捉え理解する視点が概ね獲得されたと判断した。DP3に関しては、受講時の学生の姿勢から学生の意欲関心は高いと判断した。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

2019年度、2020年度と開講年時以外の学年（3年生）での履修が多かったが、今年度は履修学生全員が開講学年である2年生であった。引き続き次年度以降の経過をみて2年時での開講が適切であるか、もしくはより専門性を身に着けたいと考える3年や4年での開講が適切であるか判断する必要があると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業では演習課題の提出などを度々求め、最終的な成績にも反映されることから、今後も初回のオリエンテーション時や授業の後半時に成績評価基準についての説明を丁寧に行うことを心がけたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

受講意欲の高い学生が多く、授業の目標は概ね達成された。受講学生が少なかったことも、教員と学生間での相互的なやりとりにつながり、目標を達成しやすかったものと考えられた。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
発達心理学Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機によると、本授業は、「必修科目である」6.7%、「資格取得に必要である」16.7%、「関心のある内容である」83.3%、「単位数を確保する」46.7%、「GPAをあげる」10.0%、「友人が履修している」13.3%、「先輩に勧められた」3.3%、「教員に勧められた」3.3%であった。本授業は、選択科目であるため、関心があること、単位数を確保することを目的とした学生が多く受講したと考えられる。</p> <p>1年前期の「心理学と心理的支援Ⅰ」において発達心理学のいくつかの主要理論について紹介しているため、それを踏まえてさらに学生が発達心理学について理解を深めることができるように準備した。</p> <p>①本授業は発達の前期にあたる「胎児期、乳児期、幼児期、児童期」を取り扱っており、学生が経験した発達段階も含まれていることから、自分自身の経験も意識してもらいながら、理論や知識を提供するようにした。</p> <p>②胎児期、乳児期、幼児期、児童期の各時期における、運動面や認知・情動面など各領域ごとの発達の変化について、研究や理論を提示しながら説明を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均点は86.3点であり、80点以上の者が75.7%であった。再試験に該当する学生はおらず、概ねすべての学生が標準レベルの学力を修得することができた。</p> <p>学生の到達度自己評価においても、殆どの学生が「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えている。特に「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均点は4.2点であった。また、「学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均は4.1、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均は4.0であった。</p> <p>1回以上予習した学生は、60%であった。1回以上復習した学生は、77%であった。復習を重視した学生が多く見られた。</p> <p>授業の課題以外に学習に取り組んでいない学生は「授業で十分だった」「小レポートとレジュメで十分理解できた」とのことであった。</p> <p>また、自発的学習に取り組んだ学生は43%であり、自由記述には「インターネットで動画を視聴した」「気になったワードについて深く調べた」「分からなかった所を調べた」「自分があまり理解できなかった所や、気になった内容を調べたりした」などがみられた。オンラインの遠隔授業であったことから、授業後にインターネットにアクセスすることも比較的容易であったことも考えられる。</p> <p>以上、学生による授業内での十分な取り組み、予習や復習、自発的学習により、教育目標は達成されたのだと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本授業は、1年前期の「心理学と心理的支援Ⅰ」において心理学の概論について触れた学生が、さらに専門性の高い「発達心理学」の領域を学ぶことができるようにと設けている。発達心理学は、社会福祉士として必要な「対象者の理解」のために基盤となる学問であり、2年前期には「発達心理学Ⅱ」として青年期以降の発達心理を学んだり、「発達アセスメント演習」にて発達の査定について学ぶために、「発達心理学Ⅰ」として児童期以前の発達心理を学ぶ時期は早い方が望ましい。1年次後期の開講は妥当であると考えられる。

学生も概ね苦勞なく取り組めており、授業内容としても1年次後期にふさわしい内容になっていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

テキストに沿って進めたが、不足する情報は適宜プリントして配布した。説明には、パワーポイントを用いて、視覚的に整理され分かりやすく伝わるように工夫をしている。

授業の質評価では、「評価基準は明らかであった」の平均値は4.2、「学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.3、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.2であった。

毎授業終了後に小レポートの提出を求めているが、殆どの学生が授業内容を自分自身の経験や身の回りの他者から得た情報、これまでの知識等の具体的事象と適切に結び付けて考察することができており、これは授業内容の復習にもつながったのではないかと考えられる。

学生アンケートには「子どもの発達段階を学びながら、自分の幼児期と照らし合わせたり、改めて知る発見ばかりだったのでとても楽しく講義を受けることができました」と意見があり、授業内容への理解と関心が深まったのではないかと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成できた。

評価対象となった全ての学生が単位修得することができた。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
発達臨床心理学	3	後期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、臨床心理学や発達心理学、障害者心理学等の基礎知識を踏まえたうえで、発達支援について検討することを目的としている。前提知識を身に着けた学生を対象としているため、発達障害当事者の視点から障害について理解することや、そこから適切な支援の在り方について考えるといった発展的な内容を扱った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>本講義の成績は、平均91.6点（標準偏差 3.32点）であった。個々の事例を読み、これまで学習してきた基礎的な知識についてあらためて理解を深めることができたと考えDP1は、達成されたと評価した。障害当事者の体験の多様性や個性を理解したうえでの支援の在り方についても、実習等の経験を踏まえて深く考察していたことから、DP2、3についても達成されたと評価した。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

先述のように、本講義では、発達障害児者への理解や支援の検討に関して発展的内容を扱うため、その基礎となる学習を踏まえたうえで実施されることが望ましく、開講時期は妥当であると考えられた。実習等の経験があると、より学習内容に関するイメージを持ちやすく理解しやすいと考えられた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の感想シートの提出を頻回に求めなかった。学生の習得度や疑問点について細やかに把握するためにも、定期的に授業感想シートの記入を求めている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本講義の目標は受講学生の成績及び授業評価アンケートから達成されたと考えられた。次年度以降は、上記記載のように質問感想シートの提出を定期的に求め学生の理解状況等の把握につとめたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
障害者心理学	2	後期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義では、身体及び精神に関する様々な障害を取り上げ、個々の診断基準や障害特徴などについて解説する。授業評価アンケートにおける「受講動機」において、「関心のある内容である」と回答した学生が93.3%であったが、多くの学生が3年次の学外実習に向けて意欲的に履修していたことが推察された。そのため、障害の特徴だけでなく、心理社会的支援の例についても紹介するよう心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義の学生の成績は、平均91.82点（標準偏差7.23点）であった。</p> <p>この結果から、DP1およびDP2に関しては、受講学生の多くが到達目標を達成したと判断した。</p> <p>また、DP3に関しては毎授業で提出を求めた質問感想シートより評価した。受講学生の経験を振り返る記述や授業内容から発展させて考えた感想や疑問が記述されており意欲的な態度であったと評価した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

3年時での実習の前段階として、障害に関する専門的知識を身に着け、適切な援助の在り方について考える姿勢を培うことは重要と考えられ、開講年次は妥当であると考えられる。また、授業の目標にDPも対応しており、設定DPも妥当と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

個々の障害に関する診断基準及び特徴に関して解説する際には、言語的説明だけでは学生がイメージできずに理解することが難しいことが予測されたことから、適宜映像等を利用し学生の理解を促した。授業評価アンケートにおける「到達度自己評価」においてもすべての項目で平均3.5点以上であったことから、有効であったことが考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本講義の目標は達成されたものと考えられる。有効であった授業上の工夫については、対面形式になる次年度以降も活かしていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
臨床心理学概論	1	後期	選択	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生は、本講義において初めて臨床心理学について本格的に学習する。そのため、授業内容としては、現在の臨床心理学領域において中心となっている心理療法や心理検査について幅広く取扱うこととした。また、受講生にとってなじみのない用語や抽象的概念について解説を行うことも多いため、具体例を挙げたり、学生の質問に答える時間を設けるなどして受講生の理解が深まるよう心掛けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		どちらともいえない		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>本講義の最終的な成績としては、平均値87.2点（標準偏差 10.98点）であった。この結果から、概ねの学生が新たな知識理解 (DP1) を身に着けたと評価した。しかしながら成績のばらつきも大きく学生によって習得度が異なることが考えられ、「やや達成された」と評価した。</p> <p>意欲関心 (DP3) については、授業評価アンケート「学習量の評価」において、授業の予習・復習の回数が学生によるばらつきがあったことや、「図書館利用」のインターネット等の利用者が少なかったことから「どちらともいえない」と評価した。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

専門知識や専門技術を身につけるうえでの基礎知識となることから、1年次での開講は妥当である。また、受講学生は、1年前期の心理学概論において、限定的な内容であるものの臨床心理学領域の事柄について学習している。そのため1年後期に実施される本講義の知識が定着しやすいように感じられた。この点からも開講時期は適切だと考えられた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

2020年度での反省を活かし、復習や学生の質問への回答を丁寧に行うことを心がけつつも、時間配分に配慮した。新しく学習する内容が多かったため、余裕のある授業進行を心がけ、学生に知識が定着しやすいよう工夫した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

受講学生が関心をもったテーマについて自主的な学習が出来るよう推薦図書の紹介なども随時行っていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会心理学	3	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「資格に必要である」9.1%、「関心のある内容である」81.8%、「単位数を確保する」63.6%であった。選択科目であり、自主的な判断により選択、受講されている科目と考えられる。</p> <p>本科目は、個人と環境との関係を重視する心理学の領域を取り上げており、身近な現象を研究により理論としたものが多い。講義のなかでも身近な例を取り上げて、研究方法やその理論について解説を行うが、学生が日常生活や今後の専門性を生かした働き方と重ねて学ぶことができるよう、小レポートにて学生から具体的な例を提案させることにより、専門性のある概念や言葉に親しみ、関心を深めるようにしている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績の平均値は96.2点であった。受講者の全員が90点以上であり、理想的レベルの知識理解が進んだと考えられる。					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。	学生の自己評価では特に、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均点が4.1であった。また「自分なりの目標を達成した」「さまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均点は3.9であった。「的確に判断する力を得ることができた」「学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均点は3.7、「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均点は3.6であった。					
<授業評価の指標>	予習を1回以上行った学生は45%、復習を1回以上行った学生は64%であった。教科書（9%）、配布資料（64%）に記録を行ったり、自分なりのノートを作成する（18%）など、授業を重視して学んでいたと考えられる。自由記述にも「教科書中心の学習をしていた」「教科書を読んだ」という意見がみられた。中には「教科書を読んだり、授業で気になった単語や事象についてネットで調べたりした」学生もおられたようで、オンライン授業であったからこそ、「調べる」ような自発的学習には取り組みやすかったと考えられる。					
<授業評価の指標>	「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「選択科目」であるが、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験に頻出の内容である。また、それらの資格に加え、養護教諭、保育士など対人援助職として個人と環境との問題を検討するためには基礎となる学問である。心理学の概論、発達心理学、臨床心理学等の心理学の各領域の知識を獲得し、さらに専門性を高めようとする3年の時期に学ぶことは、適切であると考えられる。

受講動機では、「関心のある内容である」が81.8%と高かった。また、授業の質の評価にて「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.2であり、関心の高まりと学習段階に合わせた適切な時期に開講することができたと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、テキストに沿ってパワーポイントで解説を加えながら説明を行った。身近な例を加えて説明するようにし、学生にも授業の後に、社会心理学の理論や概念を学生自身にとって身近な例で説明するよう小レポートの課題を課した。次の授業では、受講生全員の<例>をもとに、前回の授業を振り返った。自由記述欄にて「授業で出てきたキーワードを自身の体験と照らし合わせることで、自分も経験していたんだと更なる理解の促進を図ることができました」という感想を得ることができた。授業の質の評価では、「評価基準は明らかであった」の平均点は4.0点、「学習の範囲や課題は明らかであった」の平均点は4.0点、「説明は理解しやすいものであった」の平均点は4.2点であった。このことから、授業の進め方はおおむね評価されていると考えられる。

本授業はオンラインによる遠隔授業で実施されたが、授業出席を授業後に提出する小レポートにて確認することは第1回のオリエンテーション時に全受講生に伝達してあった。小レポートの提出が締め切りに間に合っていなかった学生に対し、PCや通信状況の不具合が発生していたことも考えられるため、再度締め切りを設け提出を促したことについて、学生より「出席日数が足りていない学生に対してどうか試験を受けさせようとしていた場面があった」という意見があった。ルールを十分に伝えることができていなかったことは反省点である。ただし、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」ことに「まあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えた学生が100%ではあった。評価方法・基準については学生の認識とずれがないように周知徹底を行っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の目的とする基礎的知識の形成および関心意欲の向上について、達成できた。

今後も継続して学生の知識と意欲の向上に努めていく。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
微生物学	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①オンライン講義であることを意識し、専門用語などをできるだけ平易な言葉を使い説明した。重要点は、ピクアップしパワーポイントにまとめ講義に使用した。また、トピックスである新型コロナウイルス感染症などの最新情報を講義に取り入れた。</p> <p>②教科書を使い講義の振り返りを促すために、講義進行に合わせてポイントの整理をclassroomにアップした。</p> <p>③また、小テストを2回実施した。試験後には、試験結果と解説を行ない学生にフィードバックした。</p> <p>④講義への積極的な参加を促す一案として、教員側から学生に質問をする、また、講義説明後には、学生にスライドを見ながら復唱してもらうなどの取り組みを行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①総合評価の平均値は70点（±13.2）だった。61.2%の学生が標準レベル（70点以上）に達しており、理想レベル（80点以上）に達した学生は24%だった。小テストの平均得点は14/20点（±3.4）であった。再試験の結果2名の学生が不合格となった。</p> <p>②自由記述から「教科書で復習した」「まとめノートを作った」「ポイントの整理をした」などの意見がある一方、「していない」「する必要がなかった」「時間をとれなかった」など、学生の講義に取り組む姿勢に差が認められた。</p> <p>③学生の自己点検評価値は、「自分なりの目標を達成した4.2」「知識を確認、新たに得ることができた4.4」、「専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた4.3」「専門分野について学びたいと意欲をもつことができた4.3」と、知識の修得と課題を検討する力の評価値は、昨年とほぼ同程度であった。</p> <p>④学習量については、1回に30分以上の予・復習に4、5回以上かけた学生が予習32%、復習61%と昨年に比較して予習が30%、復習が10%減少した。また、復習に時間をかけてない学習量0回の学生は、昨年度0%に対して今年度4%だった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性

専門教育科目で養護教諭取得免許取得に必要な必須科目である。将来の就職に向けて福祉・医療・学校現場に必要な感染症の基礎知識を身につけるうえで、CPの位置付けからみた講義内容は妥当であると考え。学生の到達度自己評価「自分なりの目標を達成した4.2」からも講義内容は適切だったと思われる。

②DP, 行動目標からみての内容的妥当性

養護教諭採用試験や福祉・医療現場で役立つ知識の修得を目指している。上記に記載したの学生の知識到達度からみても内容は妥当であったと考える。

③まとめ

以上、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考え。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①学生の授業の質評価は、「学習範囲の明確さ4.3、説明の理解しやすさ4.3」は昨年と同等、「テストなどの評価基準の明確さ4.4、質問を受け答える機会を作る4.5」は、昨年より評価値は高くなった。学生の意見から、「授業がわかりやすかった」「内容が最初難しいと感じていたが、復習したり大事なポイントをわかりやすく教えてもらい学ぶことができた」などの意見があった。一方、自己学習を「していない」「時間が取れなかった」などの意見もあった。

②今年度は、昨年度に比較して学習に主体的に取り組んだ学生とそうでない学生の差が大きかった。今までの講義工夫で効果のあったものは継続し取り組みと同時に学生が学修に積極的に関わるような働きかけが必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年度に引き続き、今年度もオンラインでの講義だった。専門教育科目や教員免許資格に関わる科目のため対面講義と同等の教育を提供するよう質の担保を心がけた。知識到達度達成状況と授業の質評価から教育目標は、概ね達成できたと思われる。次年度は、オンライン講義で培った講義工夫を対面講義にも活かしていきたい。また、一部の学生については、主体的に学修に取り組む姿勢を培うために講義工夫をどうするか課題が残った。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	天本 理恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
栄養学	2	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①「栄養学」は、福祉に従事する立場から健康・栄養の大切さへの理解を深める科目であり、養護教諭一種免許状取得に必要な必須科目である。よって、受講動機の「資格取得に必要である(87.5%)」であるのは当然の結果である。「関心のある内容である」が約29%であり、養護教諭として学童や思春期の子供たちの食に興味をもつ学生も30%程度いることがわかった。</p> <p>②講義はすべてオンラインによる実施であった。講義形式は、スライド資料を配布し、その資料には、板書を書き写すためのスペースを設けるなど、資料作成に努力はしている。オンラインによる講義でも、毎回の授業終了時に、その日の講義の復習小テストを行い、解説するようにした。意見や授業理解度を記入する項目を作りたかったが、オンラインということもあり、2021年度は削除した。しかし2022年度は対面での講義予定のため、小テスト、授業理解度の自己評価に関して行っていく予定である。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DP1(知識理解)、DP3(意欲関心)に関しては、定期試験結果から評価した。試験結果は39名の受講生中、A(秀)が27名(69.2%)と高く、B(優)が15.4%であり、C(良)が10.3%であった、D(可)が5.1%であった、不可の学生はゼロであった。受講生の約85%が理想的レベルに至っており、全受講生が標準的レベル以上であった。試験が遠隔であったことも高得点の理由かもしれないが、講義内容は妥当と評価し、実施していく。また学習到達度の自己評価においては、講義への関心の高さがうかがえ、この科目を「的確に判断する力を得ることができた」、「学びを深めたいという意欲を持つことができた」「さまざまな課題を検討する力を得ることが出来た」との回答が多かった。これらの評価結果から今年度のこの科目のDPの達成は「やや達成された」と回答する。学習量の評価では、約33%の学生が予習および復習を一度もしていないかった。他分野の科目ということもあり、予習復習を促すことはするが、主に自主性に任せるようにしたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、養護教諭一種免許状取得のための必修科目である。このことから、受講動機の「必修科目である：41.7%」「資格取得に必要である：87.5%」なのは、当然の回答である。また、本科目に対する学習到達度からは、資格取得に必修教科ではあるものの関心の高さや達成度の高さは伺えたため、DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性に関しては、妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習量の評価では、約33%の学生が予習・復習を一度もしていないと回答した。この授業を履修する際にシラバス記載を参考にした学生は54%であった。講義初回時にシラバスの説明をしており、このシラバスを参考にしながら、講義を受講できたものと思われる。今後も講義初回のオリエンテーション時における、シラバスの説明、今後の授業の進め方、自己学習の仕方等を丁寧に実施していき、常にシラバスを参考にするように促していく。予習復習等自己学習に関しては、まずは、少時間でもいいので、予習・復習をする習慣をつけてもらえるよう、シラバス記載の予習・復習項目を常に意識するよう学生に促す予定である。だが、上記にも記載したように、福祉学科の学生にとっては専門科目外の科目であるため、予習復習時間に関しては、自主性に任せる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の位置づけは、養護教諭免許状の必修科目としての履修ではあるが、学習到達度の学生の自己評価から、概ね全てのDPを達成できたものとする。今後も学生の学修レベルの把握を行いながら講義を展開していくことを考える。本科目の予習・復習に関しても、毎回の講義で、実施を促していく。小テストだけでなく、予習・復習課題の作成も検討していく。授業評価では、担当教員に対し、講義がわかりやすかったと良い評価を得ることも出来た。これからも講義時の学生の反応をみつつ、常に意見を取り入れ、授業改善を行っていく。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡部 明仁

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生理学	2	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>生理学は、細胞の機能から生命体の維持の基本となる主要臓器の働きについて学ぶ学問である。福祉学科、特に養護教諭を目指す学生にとっては必要な科目であることから、内臓機能や神経系の働きについて理解することに重点を置いた。高等学校で学んだ生物基礎の知識をもとに、対象を認識するための感覚器の働き、中枢での情報の統合、運動神経による骨格筋の制御の仕組みなど、基本的な事柄が理解できるように努めた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価のすべての項目において、「少しそうでないと思う」以下の否定的な意見が1-2割程度あったが、平均値が3.2-4.0、中央値は「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が3.0、および「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が3.5であったがそのほかの項目の中央値が4.0であったことをみると、本科目で意図した教育目標はほぼ達成できたと言える。</p> <p>評価は課題の提出をもって行ったが、ほとんどの学生が大変まじめに取り組んでおり、真摯な態度がうかがい知れた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、社会福祉士国家試験の中の「体の構造と機能及び疾病」において必要な生理学分野の科目である。受講生の約6割が資格取得を目指して受講を決めている。カリキュラムマップの中では、「解剖学」、「医学総論」などと連携して、人体の構造と機能と疾病の成り立ちについての正しい知識を身につけるための科目である。

近年の教員採用試験問題は、難易度の高い設問も含まれており、本科目の授業内容では不十分な点もあるかと考える。時間数が限られる中で、採用試験問題のレベルに合致した授業内容となるよう、創意工夫が必要と考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

講義で使用したスライドや資料は全てPDFとしてclassroomにて学生に配布した。これらの資料はほとんどが教科書から抜粋しており、教科書を読み進めるために必要なエッセンスを書き出している。つまり、自宅での復習や次回の予習に役立てられるよう配慮したつもりである。しかしながら、予習・復習を全く行わなかった学生が1/3程度おり、反省すべき点である。またインターネットの利用など半数以上の学生が行っていなかったことから、周知が足りなかったと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

限られた時間内に、人体のすべての臓器について基本的事項を習得することは不可能である。生理学で学ぶ事象については、身近な現象や病態などをできるだけ多く例示したつもりであるが、必ずしも学生にとって理解できる内容ではなかったのかもしれない。しかしながら、今年度は受講態度も課題の取り組み方も大変よく、講義をしやすいかった。

今後の課題としては、より丁寧な説明を行い、教科書全ての項目を網羅しようとするのではなく、学生に興味を持ってもらえるような事例をもっと多く提示する必要があると考えている。次年度は、2年前期で開講される「解剖学」と連携し、大まかな一連の流れを示しながら、個々の講義の位置づけを伝えられるよう努力したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	樋口 善之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域保健学Ⅰ	3	後期	選択		36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の実施にあたっては、本科目が養護教諭コースを希望する学生が受講していることから、地域保健の仕組みや実践活動の具体例など、養護教諭として知っておくべき基本的内容を網羅することに努めた。また、授業の準備性を高めるため、適宜、学校保健との関連性について説明を加えた。学修準備性については、おおむね良好であった。しかしながら、課題以外の学習に取り組んだ学生は非常に少ないこと（30分以上の予習が0回の者が12/21、30分以上の復習が0回の者が12/21）から、主体的な学びをいかに実現するかを今後の課題としたい。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、養護教諭の実践力の育成に関連する科目であり、知識理解に重点を置いた。学習到達度の自己評価として、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.4であり、知識理解は達成できたと考える。また、思考判断・意欲関心についても「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことが出来た」が4.3点、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」が4.3点であった。</p> <p>一方、技能表現については、リモート講義形式であったため、完全に達成されたとは言いがたい。学生の自己評価も「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」は4.2点と良好であったが、「コミュニケーション能力や表現力を高めることができた」が3.8点と他の項目に比べて低くなっていた。この点について、オンデマンド型の遠隔授業となったことが影響している可能性はある。授業コメントや質問に対するフィードバックは行っていたが、学生間のディスカッションやプレゼンテーション等の取り組みが必要であると考えられる。</p> <p>全体を通して、最終的な成績の平均点は82.2点、再試験対象者が1名であった。到達度としては良好であったと考える。授業の予習復習や課題への課題については取り組み姿勢が見られたが、前述の通り、指示された課題以外の学習に取り組むものがいなかったことは非常に残念である。参考図書などを紹介して、自主的な学びを促していきたい。</p>
--	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムとして、本科目は養護教諭を希望する学生が受講する選択科目であり、専門教育科目として位置づけられている。学校保健の実践者になる上で必要な関連知識を学ぶ位置づけであることから、講義の内容としては、基礎的な知識の修得と意欲の醸成に重点を置き、成績評価としては学校保健との関連づけた内容理解を問うレポート課題をとして、地域保健に関する基礎的な知識と共に、養護教諭を目指すうえででの自己の考えを述べる設問内容としている。カリキュラムの位置づけとしての内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、より学校保健との関連性についての説明を適宜加えていくことが学修意欲を高めることにつながると考える。公衆衛生的な地域保健に関する高度な内容の解説よりも、学校保健との関連性から地域保健事業の背景や課題などをみることによって、知識だけでなく、積極的な主体的学びにつながると考える。また、講義の中で専門用語や組織などは名称や詳細などは、インターネットなどを活用して自主的に調べることを促したところ、自由記述欄にその旨のコメントがあり、今後も継続していきたいと考える。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

総合的評価として、良好であったと思われる。すべての授業はリモート形式となったが、今回の授業評価アンケートの結果を見ると好意的に受け止められていたことは授業者として大変うれしい。引き続き、地域保健に関する基礎的な理解に重点をおきつつ、学校保健との関連性について触れるようにしていきたい。授業の進め方について、毎回、授業コメントや質問に対するフィードバックを行ったところ、肯定的な評価（口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた・・・4.5点）となった。対面授業の歳にもコメントカード等を利用していきたい。前段でも触れたが、「地域保健をなぜ養護教諭が知っておくべきなのか」という点について受講生が主体的に考えるようにしていくことが本科目の課題であると考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
看護学	2	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。</p> <p>受講動機としては「資格取得に必要なものである」88.2%、「必須科目である」61.8%、「関心のある内容である」52.9%であった。これらのことから、講義を通して基礎的な知識が定着できるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②授業では、養護教諭に必要な看護理論について基礎を学び、その定着を図るために解剖生理学の復習を取り入れながら授業をおこなった。また、学校現場において実践に生かすことができるように、児童生徒に多い疾患についてグループワークを取り入れた。さらに、学校現場における養護教諭に必要な看護の知識をわかりやすく解説することに心がけ、意欲関心が高まるよう授業内容の改善に心がけた。授業では、classroomに事前に資料を掲載し、学生が事前学習をして授業に取り組むことができるように心がけた。自由記述では、「自分なりにまとめて、復習に取り組んだ。」、「演習の事例の予習。」、「図書館でわかりにくい用語などを本を借りて自宅学習をした。」などの意見がみられ意欲的に学習に取り組んでいる様子がうかがえた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な平均値は82.0点 (±6.9) であった。理想的レベル (80点以上) 25名であった。					
*根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示し下さい。	目標別の達成度は知識・理解に関しては、83.0%、思考・判断85.0%、意欲・関心90.0%、態度87.0%であった。知識・理解では、基礎的な問題の正答率は高かったが、基礎的な知識を応用した論述問題の正答率が低かった。このことは、基礎的な知識の定着とそれを応用しての理解が不十分であったと考えられる。授業では基礎的な問題の定着を確認しつつ、復習問題を課題に出すなどの工夫を通して、応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。					
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	学生の授業評価においては思考・判断において、自分が学ぼうとしている専門分野において課題を検討する力を得ることができた (平均値4.3 中央値4.0)、関心・意欲において、自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた (平均値4.3 中央値4.5) であった。また、職業選択の参考になった (平均値4.4 中央値4.5) であった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性

本科目は「保健・医療関係科目」であり、養護教諭一種免許状取得するための看護臨床実習、養護実習の履修要件科目である。

受講動機としては、「資格取得に必要である」88.2%、「必須科目である」61.8%、「関心のある内容である」52.9%であった。

学生の授業評価においては、知識・理解において、知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均値4.3 中央値4.0) また、関心・意欲においては、自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた(平均値4.3 中央値4.5)と答えている。また、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。

②DP,行動面から見ての内容の妥当性

成績評価から見て最終の平均値は高かった。さらに基礎知識を活用し、応用問題に適応するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業に取り組んだこととして、授業内容をもとに提出した課題に真摯に取り組んでいた。

③まとめ

以上のことから、内容的妥当性には問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

養護教諭として学校現場で、救急処置等実践できるような基礎的知識と実践力を身につけることができるように授業内容を工夫していきたい。また、オリエンテーションの際に授業について丁寧に説明を行い、自分の目標が達成できるように目標シートを提示するなどの工夫を行いたい。自由記述では、課題以外に取り組んだこととして、「気になった内容について調べなおした。」、「インターネットの検索、採用試験対策問題集を解いた。」、「授業で取り扱った疾患に関する検索等。」、「プリント、資料の整理。」など熱心に授業に取り組んでいる意見があった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、学校現場では医学的な知識を持った専門職として臨機応変な対応が求められる。基礎的な知識を定着させ、学んだ知識をさらに活用し、実践力が身につくような授業構造に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育原理	2	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○学生にとってわかりにくい授業のひとつであり、授業において教育を本質・文化・制度など多面的に理解するためのフックを工夫した。</p> <p>○保育に携わる者にとって教育の意味をイメージできるようつとめた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>○平均点81.0点。秀2名 (16.7%)、優5名 (41.7%)、良4名 (33.3%)、可1名 (8.3%)、不可0名 (0.0%)。SD7.05。</p> <p>昨年度参考：平均点72.7点。秀2名 (15.5%)、優4名 (30.8%)、良1名 (7.7%)、可6名 (46.2%)、不可0名 (0.0%)。SD12.8。</p> <p>○平均点は9点上昇し、秀・優と良・可の二極化が改善した。標準偏差も5点低下した。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

○DP、CP、カリキュラムマップ上では子ども家庭福祉コースに必要なものとして位置づけられており、内容妥当性について問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

○授業ごとに取り扱う内容をコンパクトにしたテキストを用いたが、学習内容に抽象的なものがかかり多く、その解説に時間を取られてしまった。

○高校時代の世界史の知識を活用できる資料を作成し、社会や文化と教育の関連を具体的資料や事例を通じて理解できるよう工夫した。

○報告書など調査データを一緒に読み取りながら意味を解説し、現代の教育の現状と課題を結びつける工夫を行った。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

○昨年度と比較して全体的な理解度のばらつきが小さくなり、集団としての学習到達度に関しては満足できるものであった。

○課題としては興味のある事例が写真資料や歴史的解説を充実させた範囲に集中する傾向があり、資料の読み取りのような数値を通じた理解の領域への反応が今一つであった。

○本授業だけでなく、様々な機会に資料活用や理解を促す経験を充実させる必要を感じた。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育者論	1	後期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目である。保育者の役割と倫理、保育の専門性について理解すると同時に、学生の今後の学びへの意欲、保育者像をいかに描いていくかに関わる重要な科目である。保育者の専門性の奥深さや魅力を伝えるとともに、幅広い専門的知識が求められること、ソーシャルワークの専門性と保育の専門性をかけ合わせるがいかに役立つのか、現代の子どもと家庭をとりまく現状で求められるのはなぜかを伝えることに重点をおいた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価によると、「知識・理解」(DP1)においては「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う50%、わりにそうだと思う25%)「事象を理解する視点や考え方をえることができた」(かなりそうだと思う50%、わりにそうだと思う25%)、「思考・判断」(DP2)においては「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」において、(かなりそうだと思う50%)、「関心・意欲」(DP3)においては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う50%)、「態度」(DP4)においては「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う50%)であった。本科目における教育目標は概ね達成できたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP:行動目標からの内容的妥当性

4 (2) に記載したように、学生の学習到達度自己評価と「保育士養成課程を構成する各教科目の目標及び教授内容」に示された内容とを照らし合わせると、現時点では、本科目が含むべき教育内容とめざす教育目標に関連するDPが設定されておらず、修正が必要である。

②CP:カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性

本科目は保育士養成科目の導入部分に位置づけられる科目であり、他の保育専門科目に取り組み土台となる科目である。カリキュラムマップにおいては適切な位置づけである。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては、平均値4.3~4.5となっており、比較的高い評価を得た。「学習量の評価」においては、授業の準備および復習を行った回数^が0回と回答した学生が100%であった。本科目は子ども家庭福祉コースの学生にとっては、大学での学びへの導入となる科目であると考えられるため、学生が学びへの意欲を高め、自発的学習につながるような授業の展開を工夫していくことが今後の課題である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本科目における教育目標は概ね達成できたと思うが、主体的学習態度の形成につながるよう授業運営の改善に取り組みねばならないと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	西崎 亜紀子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの食と栄養	3	通年	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>子どもたちの食生活は、生涯にわたり心身の健康に大きく影響することが明らかになっている。</p> <p>受講動機をみると「必修科目である」80%、「資格取得に必要である」60%と多いが、単位取得のため、友人が履修しているとの回答もあるので、これを機に食生活に興味をもち、栄養学の重要性を感じ、まずは、自分自身の健康管理ができること、また毎日の食事が乳幼児のからだの成長を支える場となる事を理解することを重点とした。</p> <p>食品学や栄養学、調理学など基礎知識を身につけ、自ら、バランスの良い食事をとることができる等健康な食生活を実践し、子どもに食の大切さを伝え、家庭や社会への食育支援ができるようにした。</p> <p>時折、復習や確認チェックを行い、学習状況を確認した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は89.6点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達していたが、理想的レベルに達したものは11名だった。</p> <p>実習以外でも離乳食を作った等の意見もあり、乳幼児の食事について日ごろから意識していると考えられる。レポートにおいてもそれぞれ異なるテーマを選び、内容もまとめられ、理解していると考えられた。</p> <p>授業で学んだことをどのように実践していくか、さまざまな場合、場面をイメージする力をどのように獲得していくかという点を課題と捉え、次年度にむけて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DRDPSカリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性

国家試験に備え、現場で活かせるものとして、講義、演習を行った。

学生はグループワーク等に積極的に参加し、課題も十分理解し、応え、一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、遠隔授業や演習室の調整等で変更する部分もあったので、口頭だけではなく、インターネットの共同授業（クラスルーム）も活用し、改善を図りたい。

シラバスを参考にしたもの、授業計画をたてたものの割合が少なかったため、シラバスを活用し、計画がたてられるように内容の見直しをしていきたい。授業の課題以外に学習に取り込んでいない理由に、『時間がない』、『調理実習が多かった』と意見があったが『特になし』との回答もあったので、自己学習につながるよう進めていきたい。

演習（調理実習）においては、学生からの事前に内容（献立表）を配布すると、予習ができ、当日すぐにとりかかれると意見があったので、これは配布物等の内容を一考し、取り入れたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業過程を振り返ってみたとき、事例を検討する時間をとることができたが、じっくり検討し、発表する等の時間がとれなかった。

『授業中に学生が参加する機会が作られていた』『期間内に行うべき学習や課題は明らかであった』が3.2と他の項目に比べると低かったため、改善を図りたい。

以上のことから、毎回のねらいを具体的に示す、可能な限り考える時間をとる、予習・復習課題を意識的に提示する、発表の場を設けることなどを加えていきたい。

また、内容の整理を行うことで、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容 総論	3	後期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、ほぼ全ての学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないが、今年度は具体性の高い内容を設定し、実施に保育現場にも行って演習を行なった。</p> <p>実践現場での演習を行うために、事前に現場の保育士・園長と協議し、子どもの生活に根ざした活動となるよう配慮し、その点を学生の動機づけにも還元するよう情報共有を行なった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」からも、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。保育現場での演習のための準備においても、概ね全ての学生が積極的に取り組んでおり、「資格取得に必要な科目」でありながら、意欲関心が非常に高く、主体的な学びの様子が確認された。</p> <p>また、現場の保育士の先生からの感想・助言をもらい、新たな課題達成に向けた動機付けとなるよう配慮した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、保育内容におけるまとめとなる科目のため、関連DPについては妥当であるとする。また、保育内容の各論を踏まえ実習後に総合的に保育内容について理解する科目として位置付けていることから、CP、カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であるとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

他科目との関連から、課題量が負担になると言う意見が多く、今年度は授業内容を変更した。一つの課題にかける時間を増やす代わりに、学外演習を取り入れる等、内容を深めたが、学生の取り組み、成績評価から、一定の成果があったと考える。

課題を減らしたものの、事前の現場との調整や準備に時間を要することになったが、実践現場の保育士から課題や助言の提示をもらうことで、新たなモチベーションに繋がったと考えられる。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお願いします。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。

昨年度の結果を受けて、学内での授業展開や課題については配慮したが、その分学外に出ることで生じる諸々の時間的な拘束等、学生にとっては総合的にみて時間的コストが生じる結果となった。一方で、課題内容が実際の子どもの前での演習ということで、モチベーションは高く維持できたと考える。学年毎に演習内容との相性はあると考えるが、今年度は概ね円滑に進んだと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	田中 沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容 健康	2	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達であったが、意欲的に学ぼうとする姿が見られた。そのため、講義形式で知識の伝達等に留まらず、演習の中で専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう授業内容を構成した。非常勤という立場から、受講学生の普段の様子には開講まで正確に把握することはできないため授業内での学生の興味・関心や技能・経験を把握することに努め、具体的な事例の提示、教科書の内容の実演を遠隔で行い、机上の知識とならないよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生の「達成度自己評価」については概ね達成できたと考えている。しかし、遠隔授業であった点、成績評価から全員が目標を達成したとは言い難く、「やや達成された」とした。課題に取り組む際に「図書館利用」「インターネット利用」については一部学生においては幅広いソースから学習の準備をしていたと判断できるが、学習準備性についても個人によって意欲・能力に差異があり、教員側が期待する学習量を満たす学生は一部のみの学生に限られた。資格取得のための科目という性質を考えると、受講意欲が低い学生も数名みられたが、学生が主体的に授業に参加したと思える割合を増やすことで意欲を持って授業に臨めるようになった学生も少なくなく、全体としての目標達成度は達成された部分が多い。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

一部成績下位の学生については、学習方法が明確でないこと習慣が身につけていない学生が一部存在すると考える。これらの学生に対しては、さらに具体的な学習方法の提示や、課題に対するアセスメントを行いながら、大学生である現在の状況に即した事例提示や学習意欲を高める授業導入が必要であると考えられる一方で、科目教授内容の過密さから困難な側面もある。とりわけ、遠隔授業ということもあり、意欲において差が出やすかったことが考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標にしている本科目で、成績評価と学生が目標達成に向け取り組んだ結果として、概ね目標は達成できたと考えられる。一方で、演習系科目において遠隔授業で実施であったため、十分な教授が行えたかは疑問が残る。授業内容や授業スケジュールなど、学生にとって見通しを持って学習ができるように情報の提示の仕方を工夫する必要がある。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容 ことば	1	後期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、全ての学生の動機がそれに該当する科目である。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>とはいえ、学生にとっては入学後初の実践的な専門科目のため、高いモチベーションで参加している様子であった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価結果から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても全項目3.8点以上であり（コメント参照）、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。一名、履修放棄があった点について、来年度以降、細やかなサポートを心がけたいと考える。					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>オンラインでの演習系科目ということで、細かな「間」や雰囲気伝えることが困難であったため、その点は今後の科目でフォローしていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育技術に関する内容の教授であることから、関連DPについては妥当であると考え。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考え。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方は概ね問題ないと考えているが、遠隔授業における演習科目の課題を痛感している。

例えば、反転授業やオンデマンド教材等、柔軟な対応を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。履修放棄の学生に対するサポートについて考える必要がある。演習系授業における遠隔授業では限界もあると感じているが、次期に向けて、対面授業における進め方について検討したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障害児保育	3	通年	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期は、授業計画に沿って、テキストを参考にして障害の捉え方や、各種の障害の特性などの理解を深め、後期は、もっぱら療育の方法論に焦点を当てて学習を促した。学生が具体的な障害児やリスクのある子どもたちに実際に出会った経験が皆無であるため具体的な例示を含めて授業を進めた。講義として解説した部分もあったが、学生に担当を振り分け事前学習の上プレゼンテーションなどの方法を用いて演習を実施した。担当個所についての理解は深まったと考えられる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	提出されたノート、レポート等を参考に評価したが、学生間でばらつきが大きかった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容は概ね妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度の学生は、課外活動や実習等で、プレゼンテーションの予定が大幅に変更があり、当該箇所の認識ができていないことがあったため、来年度は学生と十分に対話し滞りの内容に組み立てたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

履修学生が少ないことや学生間でのばらつきが大きいため、個別的な評価になるため平均的な評価はできかねる。次年度以降もこの点を留意し学生の準備性や理解度に応じて個々に対応していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育相談支援	4	後期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機によると、本授業は、「必修科目である」57.1%、「資格取得に必要である」100.0%、「関心のある内容である」42.9%、「単位数を確保する」14.3%であった。本授業は、保育士資格取得を目的とした学生が履修している。</p> <p>本講義「保育相談支援」は、子育てを介した保護者への支援の目的と意義についての理解を深め、保育相談支援について具体的な事例を元にその方法や技術を学ぶことを目的としている。保育に関わる基本的な知識理解が十分に習得されている4年後期の開講は適切であると考えられる。また、本講義は保育に関わる基本的な知識を応用する力、思考力・判断力をつける内容であり、4年後期の開講は適切であると考えられる。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>平均点は88.7点であり、90点以上の者が44.4%、89～80点の者が55.6%であった。すべての学生が標準レベル以上の学力を修得することができた。</p> <p>学生の到達度自己評価においても、すべての学生が「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えている。「さまざまな課題を検討する力を得ることができた」「学びを深めたいと意欲を持つことができた」「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.9であり、それ以外の項目も到達度の自己評価の平均値は4.7であった。</p> <p>今年度はオンラインによる授業であったが、グループディスカッションも多く、事例検討のような課題に積極的に取り組んだことが、自己評価の高さに反映されたと考えられる。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本授業は、保護者への保育相談支援について学ぶ科目であり、子どもに関わる保育関係科目を十分に習得し、福祉関係科目において保護者及び社会についての学びを深めてきた学生にとって、本学科4年次後期の開講は妥当であると考えられる。

学生も概ね苦勞なく取り組めており、授業内容としても4年次後期にふさわしい内容になっていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

テキストに沿って進めたが、不足する情報は適宜プリントして配布した。説明には、パワーポイントを用いて、視覚的に整理され分かりやすく伝わるように工夫をしている。具体的な事例を取り上げ、どのような支援が必要か意見を出し合い、より質の高い保育相談支援について検討する機会を毎回設けた。

授業の質評価では、「説明は理解しやすいものであった」の平均値が4.7であり、それ以外は4.9であった。学生アンケートの自由記述には、「授業内で考える時間が多くあった」とあり、基本的な知識を習得している4年生にとって適切な授業の進め方であったと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成できた。

評価対象となった全ての学生が単位修得することができた。

これまで保育士資格取得学生の学力・実践力向上に役に立ってきた科目であるが、カリキュラム改定により、「保育相談支援」という科目名での開講は今年度が最後となる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅰ	3	通年	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、ほぼ全ての学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うというよりは、必然的に受講している科目である。</p> <p>学生の受講動機に関わらず、保育実習に行くための準備科目であるため、社会人としての基礎的なマナーから実習に必要な書類作成、実習の心がけ、基本的な保育技術について教授する準備を整えた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価から、全体的な教育目標はやや達成できたと考える。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>実習の準備に関わる科目のため、授業内容、進行については大きな変更は困難であるが、説明についてより詳しくする必要があると考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、学内の学びを総合的に実践の場で学ぶ機会であるため、上級学年での開講の必要がある。その点を踏まえて、DP、CP、カリキュラムマップにおける位置づけにおいては妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

実習に行くために必要な知識・技術を身に着けるための科目であるため、必要な教授内容を系統的に配置し、進行した。講義だけでは、学生の理解に差が出るため、学習進度に合わせて4名の教員で授業時間外に個別に対応し、全体の授業進行を均一に保った。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

実習先からの評価、成績評価から概ね教育目標は達成できていると考える。学生の学力差に対する対応が今後の課題である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育実践演習	4	通年	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、履修者全員資格取得を目指している。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記を踏まえ、保育士として勤務するに当たり必要となる実践的な知識・技術を演習形式でロールプレイを通して経験し、身に付けることが出来るよう、多様な演習内容を準備した。具体的には、5つの異なる演習の計画・実行・反省を通して、学修が進むように授業を進めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価において全ての学生が達成されたと答えており、成績もそれを反映するものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、4年間のまとめとなる科目のため、関連DPについては妥当であると考えます。また、4年間の学習後に総合的に保育実践力を身に付ける科目として位置付けていることから、CP、カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業への取り組み、授業内のディスカッションの内容、各演習の実施、振り返り、成績評価を踏まえて、授業の進め方は概ね問題ないと考えます。各演習課題の準備について準備時間が不足するという学生の意見については、準備時間は必要に応じて設けているにもかかわらず、取り組みが遅く、直前で時間が足りていない様子が見受けられるため、準備期間中に継続的に課題に取り組むよう促し、適宜サポートする必要があると考えています。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考えます。授業進行については、継続的な課題への取り組みの促しとサポートが必要であると考えます。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅰ	3	通年	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業を受講者は4名で、うち3名は養護教諭1種免許を、1名が保育士資格の取得を目指している学生であった。</p> <p>この授業では、健康や体力に関連した記事を読んだり、ビデオをみて理解できた内容や感想を発表させたり、わからなかった用語を調べさせると共に、内容について質問したり、説明を加えることによって興味・関心を高めた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84.6（±11.8）点であり、90点以上が57%、89～80点が29%、69～60点が14%であり、86%の学生がが理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が43%、「わりにそうだと思う」が29%、「まあまあそうだと思う」28%であり、すべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.1）。</p> <p>「知識・理解 (DP1)」に関する学生の到達度自己評価（質問項目2と3）についても、「かなりそうだと思う」が45%、「わりにそうだと思う」が29～57%と、すべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.1～4.4）。</p> <p>「思考・判断 (DP2)」に関する学生の到達度自己評価（質問項目4と5）についても、「かなりそうだと思う」が14～43%、「わりにそうだと思う」が43～71%。「まあまあそうだと思う」が14～29%と、すべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.0）。</p> <p>「意欲・関心 (DP3)」に関する学生の到達度自己評価（質問項目6）についても、「かなりそうだと思う」が43%、「わりにそうだと思う」が43%、「まあまあそうだと思う」が14%と、すべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.3）。</p> <p>その他、「技能・表現 (DP5)」（質問項目7と8）、「態度 (DP4)」（質問項目9）に関する学生の到達度自己評価についても、平均値はそれぞれ3.9～4.0、3.9であり、すべての学生が肯定的に捉えていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

専門教育科目の「専門研究科目」に含まれる科目である。授業では、健康や体力に関連した記事を読んだり、ビデオをみて理解できた内容や感想を発表させたり、わからなかった用語を調べさせると共に、内容について質問したり、説明を加えることによって学生の興味・関心を高めた。すべてのDPおよび「全体を通して」に関する学生の到達度自己評価では、すべての学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP、CP、カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生による授業の質評価は、平均値が4.5～4.8であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。
学習量の評価についてみると、1回30分程度以上の予習を行った学生の割合は、4,5回が43%、2,3回が43%、0回が14%であった。
1回30分程度以上の復習を行った学生の割合は、4,5回が14%、2,3回が14%、1回が14%、0回が58%であった。
また授業課題以外の学習にも全員が取り組んでおらず、学生の学習意欲をさらに高める工夫をする必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

目標は概ね達成できたと考える。
今後の課題としては、学生の興味関心をさらに高め、積極的に研究する姿勢を身に付けさせるために、具体策を考えることである。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅰ	3	通年	必修	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉専門職を目指す学生、特段メンタルヘルス分野（精神保健福祉領域）に興味を持つ学生を対象としたゼミである。可能な限りリアリティを重視し、現場実践学を学ぶ機会の提供を行うことに重点を置いている。ゼミで、司法施設や福祉施設のWebでの見学を積極的に行ったり、社会福祉士会や精神保健福祉士協会のWeb研修会にも積極的に参加した。本ゼミを選択するに当たり、事前に全員と面談を行い、趣旨説明やゼミの学習内容を説明した。Webでの外部活動を行ったら、必ず振り返りを行い、レポートにまとさせた。更には、4年次につながる様に、最終的に卒業研究である「ゼミ論」のテーマの選定が行えるよう、アドバイスをを行った。</p> <p>なお、今年度に関しては殆どがweb講義での対応となり、学生の反応を直接確認することはできなかったが、感想等にて専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、参加意欲、態度、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全学生が80点以上であり、理想的レベルに達している。レポート等の内容から、幅広く福祉全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容的妥当性については、卒業するための必須科目であり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、メンタルヘルスや障害福祉、医療福祉領域に興味がある学生が選択しているということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、理想的な到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

昨年度及び一昨年度は、学術データベースの利用に関してが殆どなされてない状況であったので、卒業研究にもかかわる重要事項でもあり、利用の仕方からのインフォメーションを行った。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。最終学年になることも考慮して、時間の作り方に関しても、引き続き指導を行いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

メンタルヘルスについて興味関心がある学生が多く、精神保健福祉士養成レーンの学生が21名、養護教諭レーンの学生が3名であった。これまでの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授し、教職にもつながるメンタルヘルスに関する内容も教授した。次年度には専門研究Ⅱが設定されているので、それに引き継ぐような関連性を持って講義を行った。また、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、実践現場のWebでの見学を行ったので、現状と課題を追求できるように、さらなる内容を吟味していく必要があると感じた。次年度は予習復習に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。Web中心ではあったが、対面と同様の効果はあったものと感じられる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅰ	3	通年	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前年度に提出された希望ゼミ調査票と面接の結果を基に、全受講学生の共通の関心を導入の題材として、事前の準備を行った。個別の指導に加え、授業外学習の必要性が増すため、他の課題と時期が重ならないよう配慮した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>「到達度自己評価」は概ね高く、学生の自己評価としては、学習目標が達成されたと考える。成績評価も、良好な結果であったと考える。学習量や図書館、インターネットの利用も充分になされており、各学生が課題意識をもって臨んだと考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

卒業のための必須科目であり、学内の学びを総合的に学び自己課題をもって研究を行う科目であるため、DP、CP、カリキュラムマップにおける位置づけにおいては妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

各個人が研究課題を明確にもって臨んでいたため、個々に対して必要な課題提示を行った。

「授業の質の評価」や「学習量の評価」「図書館、インターネット利用」についても課題提示の際に誘発されるよう組んだため、それを反映した結果となっている。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

総合的に授業目的は概ね達成できたと考える。他の授業との兼ね合いから、極端に課題が重なる時期があったことから、他の授業も含めた学生の利用可能時間の年間を通した均一化が必要であると考えます。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅰ	3	通年	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機としては、「必須科目である」75.0%、「関心のある科目である」25.0%の学生が答えている。</p> <p>専門研究では個人で設定したテーマやグループで設定したテーマをもとに演習形式で行った。オリエンテーションではお互いを知るために、他己紹介等のグループワークを取り入れた。さらに、個人の興味のあるテーマについてディスカッションを行い、各自がテーマを設定しテーマについて、プレゼンテーションを行い、その後そのテーマについてグループワークを行った。授業においては、グループワーク等を取り入れ積極的な意見交換を行い、自己の意見を発表したり、まとめたりする場を保障するように心がけた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な平均値は83.4点であった。</p> <p>授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.5 中央値5.0)、また意欲・関心が高く、学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値5.0 中央値5.0)、コミュニケーション力や表現力を高めることができた(平均値4.8 中央値5.0)、職業選択の参考になった(平均値4.5 中央値5.0)と答えていた。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。
学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた（平均値4.5 中央値5.0）、また意欲関心においては、コミュニケーション力や表現力を高めることができた（平均値4.8 中央値5.0）と答えていた。
学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の学習量の評価においては、「気になったことを調べた。」「論文を読んだ。」などして積極的に授業に取り組んだという意見があった。また、図書館での学習などを通して、学生が学習準備をしていた。
本科目を通して養護教諭としての専門性を深めていけるよう、グループ討議などを取り入れ授業構造を改善していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目を通して養護教諭としての専門性を深め、学校現場において活躍できるような実践力を身につけることができるように授業工夫していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>3年次からの引き続きで、社会福祉専門職を目指す学生、特段メンタルヘルス分野（精神保健福祉領域）に興味を持つ学生を対象としたゼミである。可能な限りリアリティを重視し、現場実践学を学ぶ機会の提供を行うことに重点を置いた。ゼミで、司法施設や福祉施設のWebでの見学を積極的に行ったり、社会福祉士会や精神保健福祉士協会のWeb研修会にも積極的に参加した。3年次に設定した、自分の卒業研究の課題を「ゼミ論」としてまとめさせ、それに伴う文献研究や実践現場でのインタビューや調査等の指導を行った。なお、今年度に関しては殆どがweb講義での対応となり、学生の反応を直接確認することはできなかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、理想的レベルには達成した。また、ゼミ論、参加意欲、態度、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全学生が80点以上であり、理想的レベルに達している。ゼミ論、レポート等の内容から、幅広く福祉全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容的妥当性については、卒業するための必須科目であり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、メンタルヘルスや障害福祉、医療福祉領域に興味がある学生が選択しているということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、理想的な到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前年度は、一昨年度と同様に、ゼミ論をまとめるために、学術データベースが、あまり利用がなされてない状況であったので、今年度はその活用方法を教授した。次年度も、利用の仕方からのインフォメーションを行うことを引き続き行いたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。就職活動や国家試験対策で時間を取ることが多くなるということも考慮して、時間の作り方に関しても、引き続き指導を行いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

メンタルヘルスについて興味関心がある学生が多く、全員精神保健福祉士養成レーンの学生の受講であった。これまでの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授した。卒業研究のゼミ論完成に向けて、それに引き継ぐような関連性を持って講義を行った。また、よりリアリティを習得できるように、Webではあったが実践現場の見学を行って、現状と課題を追求できるように指導できた。最終的には、全ゼミ生の就職が決定し、国家試験も良い結果を残せた。Webが中心であったが、対面と同等の効果があったと感じられる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○本年度の専門研究Ⅱは全員教職課程参加者であるため、研究テーマも養護教諭の実践と関連の深いものであった。専門研究Ⅰの段階では各自の研究テーマを絞り込めない学生もいたため、専門研究Ⅱはあたらめてテーマ設定から開始した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○専門研究Ⅰの成果が十分とは言えない状態で専門研究Ⅱが始まり、コロナ禍での養護実習が重なることになった。そのため実質的な実習準備を取り入れざるを得なかった。</p> <p>○また福祉実習の時期が混乱し、教員採用試験や国家試験の学習計画を大幅に変更することになった。ゼミ運営も学生自身も非常に戸惑った。</p> <p>○知識理解、技能表現などは達成できた部分と手つかずの部分が混在していた。</p> <p>○意欲関心は後期以降高まった。おそらく対面によるグループワークが良い影響を与えたと思われる。</p> <p>○採用試験後のモチベーションのあり方には個人差が大きかった。後期は各人が迷いながら学習を進めていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

○DP、CP、カリキュラムマップに位置づけられた科目であり、内容妥当性に問題は無いと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

○教員採用試験後には、進路とゼミ活動の関係に迷いがあったように感じる。ただ、ゼミ活動自体には熱心に参加し、特にグループワークを充実させたいという意欲が高かった。

○グループワークについては子ども集団を想定した遊びの要素を取り入れるなど工夫した。学生も楽しみながら積極的にアイデアを出していた。

○今年度の専門研究Ⅱは学生の人間関係が良好であることを前提として展開することができた。そうでない場合にどのような取組が可能かも検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

○本年度は希望者全員が養護教諭・養護助教諭になることができた。タイミングとしてはゼミ終了後になったが、卒業後も専門研究Ⅱに引き続いて指導を希望する学生もおり、卒業生支援まで含めた体制を強化したい。

○次年度専門研究Ⅱは前期が各種実習でメンバーが揃うことが難しく、その状態から教員採用試験へと向かうことになる。オンライン指導等も活用しながら、個人のモチベーションを高めると共に、ゼミの一体感を感じられる工夫を行いたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講学生の取得しようとする資格が同一ではないことから、各学生が強みとする専門性や学習準備性の不揃いな点を活用して、ともに学び合い教え合うことを通じて理解を深めていくことを大切にしながら授業をすすめた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価においては、「知識・理解」(DP1)において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う50%、わりにそうだと思う50%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う66%、わりにそうだと思う17%)、「思考・判断」(DP2)においては、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う67%、わりにそうだと思う33%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う50%、わりにそうだと思う33%)、「関心・意欲」(DP3)においては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う50%、わりにそうだと思う33%)、「技能表現」(DP5)においては「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う83%、わりにそうだと思う17%)であった。本科目における教育目標は概ね達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

専門教育科目の「専門研究科目」に含まれる科目である。学生の学ぶ意欲を引き出し、これまでの大学の授業で学んだ知識、理解を土台として、自身の専門領域における関心と学びを深めていくこと、主体的自発的に学ぼうとする態度を形成することによって、自立した専門職として自身をさらに向上させていく人となるうえで重要な科目である。本科目はDP,CP,カリキュラムマップにおける位置づけから見て内容的に妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生による授業の質評価はすべての項目で平均値5.0であった。授業の進め方は概ね問題はなかったと捉えてよいと考える。今後も学生の学習意欲を高めること、主体的に学びを深める態度を形成することに取り組んでいきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

本科目における教育目標は概ね達成されたと考えている。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機としては、「必須科目である」100.0%、「資格取得に必要な科目である」25.0%という結果であった。</p> <p>専門研究Ⅱでは専門研究Ⅰで取り組んだテーマをもとに個人で発表を行い、テーマについてグループワークを行った。さらに、そのテーマについて探索的に研究し、養護教諭としての専門性を高めるように講義内容を工夫した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は84.0点であった。</p> <p>授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた（平均値4.5 中央値4.5）、また思考・判断、自分が学ぼうとしている専門分野において様々な課題を検討する力を得ることができた（平均値4.5 中央値4.5）、また、意欲・関心においては、自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた（平均値4.5 中央値4.0）と答えていた。さらに職業選択の参考になった（平均値4.3 中央値4.0）と答えていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。
学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた（平均値4.5 中央値4.5）、また意欲・関心、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができ（平均値4.5 中央値4.5、また、職業選択の参考になった（平均値4.0 中央値4.0）と答えていた。
学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の学習量の評価について、「他の人の研究内容について調べた。」「興味がわいたこと（発達障害、不登校等）について調べ学習を行った。」などの意見があった。また、図書館も積極的に活用していた。
本科目を通して養護教諭としての専門性を深めていけるよう、グループ討議などを取り入れ授業構造を改善していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目を通して養護教諭としての専門性を深め、学校現場において活躍できるような実践力を身につけることができるように授業構造を改善していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	高口 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が100%であり、「関心のある内容」が66.7%であった。対人援助の仕事を目指す学生さんを対象としていたため、自分の考えをまとめ他者に伝える技術を高めるため、ディスカッションの機会を多く取り入れ、必要に応じて演習を行った。また、様々な専門職の意見を聞く機会を設け興味関心を広げることで、自身の進路についてより具体的にイメージすることを目的として授業を行った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成自己評価では「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」「必要となる技術を身に付けることが出来た」が4.7と高い評価である。このことから、知識を身につけ関心が高まり、そのことによる主体性が伺える。その他の項目も平均値4.0以上であることから、専門分野における興味関心を高め、視点や考え方を広げることが出来たと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムマップ上の位置づけから見て、本科目は「必修科目」であり、受講動機も「必修科目である」が100%を占める。受講動機は低めであるが、到達度自己評価では専門分野への感心が高まっている様子が伺え、考察を深めることができおり内容は妥当であるとする。これらのことから、行動目標から見ても、CP、DPともに学習内容も妥当であるとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について、全ての項目が5であった。学習量の評価では、予習は取り組んでいたが、復習に取り組む機会を設けることが出来なかった様子がかがえたため、学生がさらに自主的に自学に取り組むことが出来るよう工夫したい。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示ください。

知識や情報を「得る」時間と、課題について「考え」ディスカッションする時間を多く設けた事で、学生の専門分野に対する関心が高まり、学習意欲が高まったと考える。また、現場で働く専門職との交流を持つことで、より具体的に自身の職業選択をイメージする機会にもつながったと考える。さらに自身の考えを積極的に発信していけるよう、視野を広げ多角的に考察する機会を設けたい。今後、職業倫理や行動規範についても強化してつたえていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「入院医療中心から地域生活中心への施策転換」、「地域共生社会の実現」に向けて、「我が事・丸ごと」の地域作り・包括的な支援体制の推進が求められている最中、「地域」では、児童福祉、高齢者福祉、障害児者福祉、医療福祉、教育福祉、司法福祉、精神保健福祉、地域福祉等の専門領域を包括的に捉えるフィールドでもあり、社会的つながりの弱い人たち(当事者や家族等)が安心して地域で暮らす上でも分野横断的な支援ができる地域を基盤としたソーシャルワーカーが今後一層求められている。専門研究Ⅱでは、学生各自が地域で生活する中で捉える最も関心の深い社会的・福祉的問題に着目し、その内容を研究として深化させることを目的に実施している。主には次の点において授業準備に配慮をおいた。なお本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、遠隔システムを軸に授業を展開した。各々の学生の関心のあるテーマに基づいて指導教員の指導の下、専門領域の研究を行い、大学4年間の集大成である成果物の作成について指導にあたった。指導は少人数グループで行い、学生1人ひとりに合わせた個別指導を展開した。なお、「専門研究Ⅱ」は3年次に履修する「専門研究Ⅰ」に引き続き、同一教員により指導を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>全員が標準的レベル及び理想的レベルに達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、中央値5.0及び4.0に対して、全体的に中央値の水準であった。(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が平均値が4.8ともっと高く、次に、(5)「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」が平均値4.7であった。3「授業の質評価」は中央値の水準であった。</p> <p>本科目は、学生各自が地域で生活する中で捉える最も関心の深い社会的・福祉的問題に着目し、その内容を研究として深化させることを目指している。主に各々の学生の関心のあるテーマに基づいて指導教員の指導の下、専門領域の研究を行い、大学4年間の集大成である成果物の作成について指導にあたった。卒業後の自己イメージの確立、進路選択にあたっての情報収集、目指す専門職に求められる専門的な知識・技術等の獲得のため、現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士、精神保健福祉士、養護教諭、保育士の社会的な役割を踏まえ、学生自身の主体的な活動を促した。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、相談援助の技法、専門職としての価値・倫理を基盤により高度なコミュニケーション技術を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「福祉専門科目」では、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は相談援助職を目指す学生を対象に、学生各自が地域で生活する中で捉える最も関心の深い社会的・福祉的問題に着目し、その内容を研究として深化させることを目的に実施している科目である。そのため近年の福祉的課題や問題の実情を把握するとともに、社会福祉士がどのような倫理と価値をもち、実践するのか等の理解のために、グループワークを中心とした講義の展開が主であった。本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士に向けての横断的な知識と技術を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による社会福祉士の在り方や実践・方法論を注察する必要があるが、2021年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価からみても全体的に一定の水準を保っている。今後の講義内容にて、学生間に演習課題を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、ほぼ平均値の水準であったが、本年度は、コロナウイルスの感染拡大防止の観点により、遠隔授業での実施に取り組んだ。地域社会における福祉的問題について具体的な事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会をもったが、遠隔対応であるため具体的なイメージをもちづらかったと考えられる。科目の性質上、社会福祉における基礎的な内容をおさえるため、次年度に向けた関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、相談援助場面において社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士が社会的にどのような支援を行うのか、社会的な役割を果たすのか等、事例を提示して検討を加えて授業に参加するよう更に促していきたい。</p> <p>本科目は福祉的課題を抱える当事者等の事例を取り扱うとともに、法律・制度・サービスといった広範な情報量を取り扱う性質があり、講義内容の要点を整理する必要性から、課題を通して講義の学びをまとめ、整理することに重点を置いた。本科目においても、課題の内容を整理し、次年度の講義に生かしていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は、相談援助職を目指す学生を対象に、学生各自が地域で生活する中で捉える最も関心の深い社会的・福祉的問題に着目し、その内容を研究として深化させることを目的に実施し、基本的な専門知識・技術の形成は概ね達成できたが、関心意欲及び思考判断の面で課題を残した。この点は、卒業後による各領域の専門領域での実践を通して、卒業生自身の主体的な学びを促され、他の支援機関との協働関係のなかで各自の専門性を高められることを期待したい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。そして、卒業生に対するリカレント教育を通して卒業生の専門性を高めていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
養護概説	2	後期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては、「資格取得に必要である」</p> <p>77.8%、「必須科目である」55.6%、「関心のある科目である」50.0%である。</p> <p>これらのことから、授業では養護教諭の執務について、学校保健で学んだことを基礎に、できるだけ具体例を示し、グループワークやロールプレイを取り入れ、関心意欲を高めるように心がけた。</p> <p>②本科目は学校保健の教授内容を踏まえ、養護教諭の専門性に基ついた養護活動の基本について学ぶ。学生は自身が児童生徒のときに会った養護教諭のイメージを持っている学生が多い。そのため、オリエンテーションでは自分自身が児童生徒だった時の養護教諭のイメージと理想の養護教諭像のグループワークを行い、授業に対する関心意欲を高めるように心がけた。講義内容は、養護教諭の職務内容をわかりやすく解説し、学校現場の実践に役立つように、具体的な事例を提示し、養護教諭の職務内容への理解と専門性について解説した。さらに、第14回では学生自身が養護教諭として保健室経営がイメージできるように理想の保健室のレイアウトを考え、グループ発表を通して、養護教諭の執務がより具体的にイメージできるように工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な平均値80.0 (±8.8) であった。理想的レベル (80点以上) は24名であった。</p> <p>目標別の到達度は、知識・理解に関しては78.0%、思考・判断82.0%、関心・意欲81.5%であった。基礎的な問題の正答率は高かったが、基礎的な知識を応用した論述問題の正答率が低かった。このことは、基礎的な知識の定着とそれを応用しての理解が不十分であったと考えられる。授業では基礎的な知識の定着を確認しつつ、グループワークなどを通して応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において、知識を確認、修正したり、新たに得ることができた (平均値4.6 中央値5.0)、自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた (平均値4.4 中央値5.0) また、関心意欲においては、自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた (平均値4.4 中央値5.0) であった。</p> <p>次年度に向けて、基礎的な知識を活用し応用問題に対応できるように復習問題などの課題を取り入れていきたい。さらに、発展的に課題を解決していく力を身につけることができるように授業内容を工夫していきたい。課題以外に取り組んだこととして、「教科書の問題を解いた。」、「気になったところについて調べた。」、「章末問題を解いて復習したり、採用試験の問題を解いたりした。」など意欲的に学習に取り組んでいた。</p>					
*根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性
本科目は「保健・医療関係科目」であり、養護教諭一種免許状を取得するための看護臨床実習、養護実習の履修要件科目である。
受講動機としては「資格取得に必要である」77.8%、「必須科目である」55.6%であった。
また、学生の授業評価においては知識・理解において、知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた（平均値4.6、中央値5.0）、また、自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた（平均値4.4中央値5.0）、職業選択の参考になった（平均値4.5 中央値5.0）と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。

②DP,行動面から見ての内容の妥当性
成績評価から見て知識・理解に関する達成度が比較的低かったが、基礎知識を活用し、応用問題に適應するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業以外に取り組んだこととして、授業内容をもとにレジュメを活用し、予習や復習に取り組んでいた。

③まとめ
以上のことから、内容的妥当性には問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業評価においては、「プリントを読み直した。」「演習問題を解いた。」「わからないところを調べた。」という意見があり、意欲的に学習に取り組んでいる様子がうかがえた。
学生から演習をするための模擬保健室に設置についての要望があったが、設置することができ、演習をする際に活用している。また、学生が自主的に教員採用試験等の演習に活用し、採用試験対策に効果を上げることができた。
さらに授業では、学校現場で臨機応変に対応できるような実践力を身につけることができるように、グループワークなどを取り入れ、コミュニケーション力や表現力を身につけることができるように、授業内容を工夫していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、養護教諭は学校現場において、臨機応変に対応することが求められる。基礎的な知識を定着させ、さらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。今後もオンラインでの授業の機会が多くなることも予想されるが、classroomの機能を活用しグループワークなどを取り入れ、積極的な意見交換ができるよう学生の要望に応じていきたい。
さらに、授業内容について基礎的な知識の定着を図るとともに、復習課題を提示し、応用力の養成にも取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅱ	3	後期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>演習系科目であり、授業を通して個々の学習状況に応じて理解を深めることができるように配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生の成果物等から判断して学生間のばらつきが大きかったため全体としてはすべての学生が十分に理解を深めたとは言えない。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容は概ね妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生のレディネスにバラツキが大きいため、平均的物を想定して授業を進めることは困難で、個別的に学習達成状況を考えながらの授業展開とならざるを得ない。学生のアンケートの中にマイクが切れていることに気が付いていないとの指摘があったが、マイクなしでも声は届いていたことは授業中に確認しており、何らかの誤解があると考えられる。また質問とは違う答えが返ってきたところどころ話している内容が分からなかったとの指摘があるが、学生からの質問を授業中に受けたことはなく、教員からの質問に対して学生からの返答等という意味であるならば、質問の意味が理解できていなかったのではと推測される。そうであるならば、学生に問う場合に抽象的な問いを避けてより具体的な問いをするように、心掛けたいが授業は具体～抽象という観点も重要であることも、再三教授する必要があったのかもしれない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

少人数の学生が対象で、レディネスもばらつきがあるため、全体の達成状況について平均値を示すことは困難である。個々の学生がその学生のレディネスや学習へのモチベーションに依存するが、できる限り個々の状態に応じた学習の方法なども示していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	田中 沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの保健	1	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達であるという結果であった。</p> <p>そのため、専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう授業内容を構成した。非常勤という立場から、受講学生の普段の様子は開講まで正確に把握することはできないため、具体的な事例の提示、教科書の内容の実演を行い、机上の知識とならないよう配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生の「達成度自己評価」については概ね達成できたと考えているが、遠隔授業であった点、成績評価から全員が目標を達成したとは言い難く、「やや達成された」とした。課題に取り組む際に「図書館利用」「インターネット利用」については一部学生においては幅広いソースから学習の準備をしていたと判断できるが、学習準備性についても個人によって意欲・能力に差異があり、教員側が期待する学習量を満たす学生は一部のみの学生に限られた。資格取得のための科目という性質を考えると、受講意欲が低い学生も数名みられたが、学生が主体的に授業に参加したと思える割合を増やすことで意欲を持って授業に臨めるようになった学生も少なくなく、全体としての目標達成度は達成された部分が多い。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、今後の課題として学生と教員間でさらなる評価の共有を行うことで目的の共有が達成されると考える。集団内の学力・意欲・態度に開きがあるため、全体の授業の流れとは別に、個人の学びに応じた支援方法を模索する必要がある。一部成績下位の学生については、授業開始時に実施する小テストが全く回答できていなかったり、回答する意思がないこともあり、「学習量の評価」の復習時間の短さの通り、学習習慣が身につけていない学生が一部存在すると考える。これらの学生に対しては、教科書の内容解説や専門職としての事例提示ではなく、大学生である現在の状況に即した事例提示や学習意欲を高める授業導入が必要であると考え一方で、科目教授内容の過密さから困難な側面もある。さらに、遠隔授業という形態から意欲に差が出やすい状況であったと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標としている本科目で、成績評価の結果からは、学生が目標達成に向け取り組んだ結果として、概ね目標は達成できたと考える。一部成績下位の学生や不合格の学生に対する関心・意欲を高める取り組みが課題である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の心理学	2	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育にかかわるテレビや新聞報道を見るにつけ現代社会はストレス社会であると感じる。心理学の分野に期待が高まっている。本講義では基本となる心理学一般の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。それは今を生きる学生に最も必要な「生き方の模索」に関わる問題だからである。昨年度の大きな課題は講義中の集中力をいかに途切れないようにキープさせるかという点であった。このため講義途中で「映像」を多く取り入れた。自由記述などを読むと概ね成功したと理解できる。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体を通して達成されたという根拠は「定期試験の結果」である。優れた及び良しという高評価を得た学生が95%以上に達した。記述式が中心の問題が中心であるが、記載内容も的を得たものがほとんどを占め、理解の深まりが進んだものが多かった。また授業評価アンケートの内容も自由記述欄には「わかりやすかった」の記述が多く講義のねらいはほぼ達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の声を授業中に聞いてみると「心理学的なことに興味がある」「子どもの行動の不思議を理解したい」など心理的な知識やその応用への意欲がうかがえるので、そのことからこのカリキュラムマップと講義内容の整合性は妥当であると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

昨年度と同様に、毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これに関する「質問の回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく先生の人生の話が面白かった」等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

昨年度の問題点であった、自学自習を促すための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝えた方が良いのではないかと授業アンケートの結果からまだまだ改善されていないと言える様である。昨年同様に学習量を高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後さらに試行継続してみたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども家庭支援の心理学	3	後期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必修科目である」90.0%、「資格取得に必要である」80.0%、「関心のある内容である」10.0%、単位数を確保する30.0%、「友人が履修している」10.0%であった。</p> <p>本講義は、保育士資格取得に必修の科目である。したがって、資格取得のため十分に学修する意欲がある学生の履修が中心であることを念頭に授業を展開するよう心がけた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業成績の平均点は89点であった。90点以上の学生は42.9%、89点～80点の学生は50.0%であった。すべての学生が標準レベル以上の学力を修得することができた。</p> <p>学生の到達度自己評価では、すべての項目において平均値は3.5であり、「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えていた。</p> <p>本年度はオンラインによる講義となった。また、途中で社会福祉士の実習、コロナ禍で実習先の都合に合わせて保育士の実習にバラバラと出て行くことになり「やむを得ない事由による欠席」とそれに伴う補講を積み重ねた学生も多かった。授業を一貫した流れとペースで受講することが非常に難しかったことが想定される。その反映と考えられるが学習量の評価はかなり低く予習・復習を1回以上行った学生は予習は30%、復習は10%であった。学生が目標に到達したのは、授業の機会を逃さず学ぶ姿勢をとることができたことによると考えられる。</p> <p>また、自発的学習として「わからないところや興味のあるところを調べたりしました」とする学生が10%、「インターネットのホームページを検索し、利用した」とする学生が70%いたことから、インターネット環境を有効に活用し学んだ学生が多くみられたこともうかがえる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目「子ども家庭支援の心理学」は、生涯発達心理学と親の心理、家庭の心理・社会的課題などの内容を含んでおり、子どもと家庭を支援対象としてどのように理解するかを学ぶ科目である。子どもを対象とする保育のみならず、養育者を対象とする支援のあり方にまで視野を広げ支援を考えていくことが求められる。したがって、保育の基礎を1, 2年次に学んだ後の3年次後期の開講は適切であると考えられる。また4年次以降の保育実践の展開に繋げていくためにも適切な時期に開講されていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

テキストに沿って進めたが、不足する情報は適宜プリントして配布した。説明には、パワーポイントを用いて、視覚的に整理され分かりやすく伝わるように工夫をしている。

授業の質評価では、「評価基準は明らかであった」「学習の範囲や課題は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」の平均値が3.7であり、「学生が参加する機会が作られていた」の平均値が3.6、「質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」が3.5であった。授業の進め方はおおむね肯定されているといえる。来年度からの対面授業では、オンライン授業では限界のあった学生の参加する機会、質疑応答の機会を積極的に設けていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成できた。
評価対象となった全ての学生が単位修得することができた。
来年度は、学生の参加する機会や学生からの質疑への応答の機会を増やし、学生同士の学び合いを促進し、到達度自己評価をより実感できるような授業展開に努めていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	田中 沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅰ	2	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達であるという結果であった。</p> <p>そのため、専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう授業内容を構成した。非常勤という立場から、受講学生の普段の様子は開講まで正確に把握することはできないため、具体的な事例の提示、教科書の内容の実演を行い、机上の知識とならないよう配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の「達成度自己評価」については達成できたと考えていることが分かるが、成績評価からは受講者全員が意欲的な学習が進められるような授業構成だったとはいえない。「図書館利用」からは、一部学生においては幅広いソースから学習の準備をしていたと判断できるが、「学習量の評価」からは、予習・復習をしたのは僅かである。毎授業ごとの小テストを行うことで、前回の授業の重点ポイントを整理したり、学生のこれまでの生活の経験から授業内容が理解しやすくなるように事例を用いての理論の解説を試みたが、全体としての目標達成度はそれほど高いとは言えない。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、今後の課題として学生と教員間でさらなる評価の共有を行うことで目的の共有が達成されると考える。集団内の学力・意欲・態度に開きがあるため、全体の授業の流れとは別に、個人の学びに応じた支援方法を模索する必要がある。一部成績下位の学生については、「学習量の評価」の復習時間の短さの通り、学習習慣が身につけていない学生が一部存在すると考える。これらの学生に対しては、教科書の内容解説や専門職としての事例提示ではなく、大学生である現在の状況に即した事例提示や学習意欲を高める授業導入が必要であると考え一方で、科目教授内容の過密さから困難な側面もある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標としている本科目で、成績評価の結果からは、学生が目標達成に向け取り組んだ結果として、概ね目標は達成できたと考える。一部成績下位の学生や不合格の学生に対する関心・意欲を高める取り組みが課題である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容の理解と方法Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は、保育士に求められるピアノ演奏技術を習得する。前期の「保育内容の理解と方法Ⅰ」で習得した技術を引き続き向上させるよう、個別のレベルに合わせた指導を心がけた。授業では、個人練習内容を明確化するために、「レッスンノート」を配布し、学生に記入させ、教員がチェックすることで、練習内容を深める計画をたてた。授業評価の受講動機は、「資格に必要な科目である」が100%の他、関心のある科目が33%であり、音楽に関心のある学生が受講しており、積極的な授業参加が認められた。毎回練習の成果が感じられ、毎回自分の課題をクリアして授業に望んでいた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価の自由記述には「毎日ピアノを弾くことを心がけた」と、学生が授業時間外にピアノの自主練習を行ったことが記述されており、技術習得に向けて自主的に取り組んだことが示された。ピアノ経験年数の差異が影響されたが、必要に応じて個別指導を行うことによって全員が一定程度のレベルに到達することができた。授業評価の到達度自己評価は、すべての項目において平均値が概ね4.0であった。試験の平均点は90点であり、ほぼ全員が理想的なレベルに到達することができたと判断された。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP:カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性
本科目は1年次開講科目であり、保育専門科目の受講に対する動機づけにつながるという点で重要な科目であると考えている。教育目標においてはピアノ奏法のレベルによる目標設定を行ったが、授業内容としては歌唱や人の前に立って表現活動を行うことを取り入れた。また、学習準備性において個人差が大きかったものの、授業への取り組み、達成状況においてはある一定の成果が得られたことから、内容的には妥当であると判断できる。

②DP:行動目標からの内容的妥当性
それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性には問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値が4.2であり、前年度より数値が上がった。ピアノ奏法の評価基準について、より具体的に示すことで、学生の試験に向けた取り組みに役立つような内容となったと考える。その他の項目についても、平均値は4.0であったことから、学生が自ら音楽表現を楽しむことに重点をおくことで、学習への意欲を向上させることができるよう更なる工夫を重ねていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成度自己評価の結果と日々の学生の取り組みの様子から、教育目標は一定程度達成できたと考えられる。本科目は1年時のみの開講であり2年次以降は個人の努力でさらにピアノ奏法のレベル向上に努めていくことが求められる。今後の自己学習の方法や目標を具体的に学生に周知させ、さらなる継続的な技術習得への意欲を高め、自発的な練習につながるよう説明していくことを来年度の課題としたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容の理解と方法Ⅳ	2	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、8割以上の学生の動機がそれに該当する科目である。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。保育技術に関する教授内容であるが、技術獲得のための課題は授業時間中だけでは実施困難であるため、基本的には次回授業時提出の形をとった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業評価アンケートにおいて全ての学生が「到達度事項評価」にて全項目達成できたと感じており、シラバスの達成目標を基に作成した自己評価チェックリストにおいても9割以上の学生が学修効果を実感している様子が確認された。成績評価上も良好で、学生の実感と近い結果であった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育技術に関する内容の教授であることから、関連DPについては妥当であると考え。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考え。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方は概ね問題ないと考えている。実演形式で保育の技術について教授し、授業外の学習時間で課題を行うという進め方であったが、学生の目標到達や成績上も良好な結果であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。次の段階として、これ以降の授業で本授業で獲得した技術を発揮できる時間の確保ができればなお良いと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会学と社会システム	1	後期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○高校時代までに経験したことのない授業であり、いったい何を学ぶのかという戸惑いが大きい科目である。それを興味関心に結びつけることができるよう、様々な事例を準備した。</p> <p>○社会福祉士国家試験に対応した授業であるが、受講学年が1年生であるため、学習意欲との直接的な結びつきはないと考えられる。</p> <p>○抽象的概念が多く出てくるため、それを具体的に考えるトレーニングを行う旨を初回授業で説明し、学生が意識的な授業参加をできるよう促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>○平均点89.4点、秀54人 (71.1%)、優11人 (14.5%)、良7人 (9.2%) 可3人 (3.90%)、不可2人 (2.6%)。SD10.11。</p> <p>○昨年度：平均点93.7点。秀65名 (81.3%)、優9名 (11.3%)、良7名 (8.8%)、可2名 (2.5%)、不可1名 (1.3%)。SD10.1。</p> <p>○昨年度と似た結果であるが、秀が減り優が増した結果平均点がやや低下した。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

○社会福祉士国家試験の受験科目と対応しており、DP、CP、カリキュラムマップにおける位置付けからみた内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

○本年度は昨年よりやや難化した問題難であった。昨年と比較すると秀が減りその分優が増加した。その他の成績は同程度であった。平均点が高い要因としては1年生にオンライン授業・試験を実施するということで繰り返し模擬テストを実施したため、これが復習の機能を果たしたためと思われる。

○昨年度の反省を踏まえ、やや難化した試験により平均点が低下したと考えられる。これは予定通りである。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

○本年度は対面授業であるため、おそらくオンライン授業との違いが出てくると予想される。特に非対面をカバーするために行っていた丁寧な説明やオンライン資料の活用などが、対面授業によって後退することのないよう気を付けたい。

○Google Classroomの活用についても学生に適時指示を行い、教員も学生も意識的に学習効果を上げる活用を行っていききたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	1	後期	必修	いいえ	87

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験に関する科目で必修科目でもある。特段、社会福祉専門職になるための基盤となる科目であり、本学科で非常に重要な科目であることから、動機付けを大切に講義している。</p> <p>第一回目の講義時に受講に関しての詳細の説明をし、シラバスに則って講義を進めた。講義の最初には、新聞等から毎時間必ず時事に関する話題を提供し、それが社会福祉専門職としてどのように捉えたらよいかを考えさせる時間を設けた。予習復習の内容の説明、理解しておくべきキーワード、実践につなげるように専門職団体の研修会案内等々も随時行った。リアクションペーパーに関しては、予習復習の時間の記入や、その方法、また本日の自己採点点数記入などを導入し、学習意欲の向上に努めるよう工夫した。</p> <p>なお、今年度に関しては殆どがweb講義での対応となり、学生の反応を直接確認することはできなかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、途中休学の学生を除いた受講学生が合格領域に到達しており、標準的レベル以上に達成したものと考えられる。定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。また、遅刻や欠席がほとんどなく、定期試験の結果も理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけでなく、幅広く社会福祉専門職としての現状や考え方、障害福祉、精神保健福祉、貧困等々の多岐にわたる分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格を取得するための必須専門科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、社会福祉を学ぶための1年生で開講する基礎的科目であることから、福祉専門職に興味があるということで、非常に高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見での内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解は一定程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目ということと、前期の「ソーシャルワークの基盤と専門職」の講義から続く、福祉学科の福祉の専門科目ということで、非常にモチベーションの高さを感じられた。また、今から開講される、社会福祉士や精神保健福祉士の関連科目とのつながりを考えて、思考が継続できるように教授を行った。次年度も、それらに引き継ぐような関連性を持ちながら講義を行いたいと考える。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回福祉業界の時事に関する資料配布し、その説明を行い、福祉専門職としての理解を深められたと感じられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目ということと、福祉学科における福祉の専門科目ということで、非常にモチベーションの高さを感じられた。また、今から開講される、社会福祉士や精神保健福祉士の関連科目とのつながりを考えて、思考が継続できるように教授を行った。次年度も、それらに引き継ぐような関連性を持ちながら講義を行いたいと考える。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回福祉業界の時事に関する資料配布し、その説明を行い、福祉専門職としての理解を深められたと感じられる。
Web講義ではあったが、対面講義同様の効果はあったものと思われる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習	1	後期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ソーシャルワークにとって自己を知ることと相手との信頼関係を形成することが出来るかが最重要課題だと考える。その為、ソーシャルワーカーに求められる基礎的な知識と技術についてコミュニケーションを取りながら解説をした。授業評価ではあるが「到達度自己評価」はほぼ4.0を超える結果を得た。1年生であり、学びに対する好奇心は大であった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習については、復習を中心に行っていたことがわかった。「到達度自己評価」はほぼすべてにおいて4.0以上であり学びの成果であると評価できる。ただ、図書館、インターネットの活用がなかったことは学び方に課題を残した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

「到達度自己評価」の結果と「受講動機」からもわかるが、資格取得をめざし専門職となるべく目標に向かって行こうとする熱意は感じられた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

テキストによる演習ばかりでなく、視聴覚教材を多く活用することも今後の課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

個人の性格やセンスの違いはあったが、学生一人ひとりの学びから将来を見つめて取り組んでいたことは評価できるものだと感じられた。今後段階的な演習教育で指導を続けていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習	1	後期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、ソーシャルワーク演習の体系、それぞれの位置づけについて理解した上で、1 社会や地域で起きている福祉的課題や問題の実情や背景、それらを抱えた人々（当事者）、2 社会福祉士の活動領域・場・具体的支援内容・役割、3 社会福祉士としての価値・倫理、4 自己覚知・他者理解、5 コミュニケーション技術について学ぶことを目的とし、授業を構成した。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。</p> <p>① グループワーク等を中心に、基礎的な視点(1～5に留意)に基づき、本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。</p> <p>② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。</p> <p>③ 講義内容の振り返りとして、レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。</p> <p>④ 本講義の特性上、福祉的な問題の理解や実際のコミュニケーション技術の方法等の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が標準的レベル及び理想的レベルに達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、中央値5.0及び4.0に対して、全体的に中央値の水準であった。(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」が共に平均値5.0が最も高く、(1)「自分なりの目標を達成できた」と(7)「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」が平均値4.8であった。一方で、(9)「職業倫理と行動規範について学ぶことができた」と(10)「職業選択の参考になった」が共に平均値4.2であった。3「授業の質評価」は中央値のほぼ水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、相談援助に携わる上で、①福祉的課題や問題の実情の把握、②社会福祉士としての倫理と価値、③社会福祉士の活動領域・場・支援内容、④自己覚知・他者理解、⑤コミュニケーション技術に関する知識について捉え、技能表現にて捉えた知識を演習課題を通して表現する練習に取り組んだ。今後も現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、相談援助の技法、専門職としての価値・倫理を基盤に基本的なコミュニケーション技術を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の基礎を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は相談援助職を目指す学生を対象に、社会福祉の基礎的な知識や技術を学ぶ科目である。そのため近年の福祉的課題や問題の実情を把握するとともに、社会福祉士がどのような倫理と価値をもち、実践するのか等の理解のために、グループワークを中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識と技術を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による社会福祉士の在り方や実践・方法論を注察する必要があるが、2021年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価からみても全体的に一定の水準を保っている。自己目標・職業選択に関する達成度が比較的低く、方法的妥当性の問題である。しかし、1年生後期の段階では今後の履修状況において学びながら、自己内省を深め自己決定をしていくものであるため、本科目を学んでの今後の学生の成長を注察したい。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、(9)「職業倫理と行動規範について学ぶことができた」と(10)「職業選択の参考になった」が共に平均値4.2と全体数値よりも低かった。本年度は、地域社会における福祉的問題について具体的な事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会をもったが、1年次生であるため具体的なイメージをもちづらかったと考えられる。科目の性質上、社会福祉における基礎的な内容をおさえるため、次年度に向けた関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、相談援助場面において社会福祉士が社会的にどのような支援を行うのか、社会的な役割を果たすのか等、事例を提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p> <p>学生の意見として、授業での学びを深めるために、課題を提示し、その学びを整理するとともに、次年度の講義に生かしていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の基礎を学ぶ位置づけであることから、相談援助における基礎的知識の形成と基礎的なコミュニケーションについては概ね達成できたが、関心意欲及び思考判断の面で課題を残した。この点は、2年次のソーシャルワーク演習(専門)Ⅰにおいて社会福祉士が対応する事例の検討や演習活動を取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出していきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	高口 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習	1	後期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講同期は「必修科目である」が90.9%であり、続いて「資格取得に必要である」が63.6%、「関心のある内容である」が18.2%と、受講動機が低い。対人援助の仕事を目指す学生さんを対象としていたため、実践がイメージ出来るような事例を豊富に取り入れ、演習を行った。特に、多角的に物事をとらえ、考えを他者に伝える力を高めることを目的として授業を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価ではすべての項目で、平均値4.3以上である。ディスカッションやまとめて発表する機会などを通して理解や関心を高めた様子が見え始める。学習量については、授業の準備や復習を行った学生は少なく、図書館利用などにもつながらなかったため、今後このような機会が得られるよう工夫したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①カリキュラムマップ上の位置づけから見て、本科目は「必須科目」であり、相談援助の基本となる技術を身につけるための科目であり、内容は妥当であると考えます。②DP、行動目標から見て、受講動機の低さが見られる中、学生の自己評価は全体的に高く、学習内容も妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について、全ての項目において平均値は4.5以上であった。引き続き学生さん同士が話し合う、発表する機会を多く取り入れながら、理解を深める工夫を行いたい。学習量の評価では、自主学習に取り組む機会を設けることが出来なかった様子がうかがえ、課題を明確に示し、学生が自主的に自学に取り組むことが出来るよう工夫したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

相談援助の基本的な技術の習得に向け、知識を「学ぶ」時間と、課題について「考え」ディスカッションする時間を多く設けたことから、学生の相談援助に対する関心が高まったと考える。しかし、授業時間以外に学習に取り組む機会につなげることが出来なかったことは課題である。以上のことから、学習のねらいや復習課題を提示するよう努めていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習	1	後期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は1年次の必修科目であるが、社会福祉士指定科目でもあり、2・3年次の「ソーシャルワーク実習」に向けた最も基礎的な知識・援助技術を学ぶ演習科目である。本科目は本年度より新カリキュラムに移行したが、内容にソーシャルワークの展開過程やグループワークの展開過程、面接技術が含まれるなど、初年次生に対してより高度なソーシャルワークの知識・技術が求められる演習科目となった。学生の受講動機を見てみると、「必修科目である」が77.8%、「資格取得に必要である」が66.7%、「関心のある内容である」が22.2%であり、本演習に対する関心は高くないことがうかがえる。</p> <p>本科目では、ソーシャルワークの倫理や自己覚知、基本的なコミュニケーション技術の習得に重点を置きながら、ソーシャルワークのベースとなる視点・技術を身につけられることを目標として授業を展開した。また初年次生が講義でも十分に履修できていない、ソーシャルワークやグループワークの展開過程に関しては、基礎的な事例を用い、基本的な専門用語の確認も加えながら、授業を展開した。またグループワークを通じて、学生同士で学び合える演習ができるよう努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は82.4点、中央値82点であったが、約半数ほどの学生が80点以下の成績であり、目標達成は不十分であったと考える。ただ学生の学習到達度の自己評価をみてみると、「自分なりの目標を達成した」の項目については、平均値4.3、中央値4.0であった。各項目をみてみると、DP1の知識理解は、平均値4.3-4.4、中央値5.0、DP2の思考判断は、平均値4.3-4.6、中央値4.0-5.0、DP3の意欲関心は、平均値4.2、中央値4.0、DP4の態度は平均値4.3、中央値4.0、DP5の技能表現は、平均値4.3-4.6、中央値4.0-5.0であり、全ての項目において「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかった。成績に関しては不十分であったものの、学生自身の自己評価では目標達成したと判断されていた。次年度以降は、初學者である学生がカリキュラムに定められた内容を十分に理解していけるよう、演習内容を工夫し、成績でも目標達成できるようにしていきたい。</p>
---	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は社会福祉士の指定科目であると同時に社会福祉の基礎を学ぶ専門科目として位置付けられている。4. にも記したように、学生の自己評価では、目標をある程度達成できたと考えられるが、学生の成績をみると目標達成は不十分であり、次年度以降、初学者である学生がカリキュラムに定められた内容を十分に理解していけるよう、工夫していきたい。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性

4. に記したように次年度以降へ課題が残った。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業の質評価は、平均値4.3-4.6、中央値5.0であり、「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかったため、授業の進め方は問題なかったと考えられる。

学習量の評価を見てみると、2, 3回以上の予習を行った学生は33%、復習を行った学生は67%、自発的学習を行った学生は11%であった。予習を行った学生、自発的学習を行った学生が少なく、今後は課題の提示や演習内容を学生の関心のある内容に変更するなどして、自発的学習を促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は社会福祉士の指定科目であると同時に社会福祉の基礎を学ぶ専門科目として位置付けられている。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価より、次年度以降の演習内容をより向上させていく必要がある。初学者である学生がカリキュラムに定められた内容を十分に理解していけるよう、演習内容を工夫し、成績でも目標達成できるようにしていきたい。また課題の提示や演習内容を学生の関心のある内容に変更するなどして、自発的学習を促していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習	1	後期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>必修科目であり1年生の全員が受講するが、学生の授業への関心・学習準備性にはばらつきがあると考えられる科目である。また、今年度は開講科目のうち半分が対面授業、半分がオンラインでの授業として進められている中で、学習意欲やこれまでの履修科目における理解度にもばらつきが見られた。講義系科目で未学習の部分についても取り上げることになっているため、できる限りわかりやすい説明に心がけながら、ソーシャルワークの全体像をできる限り現実に近いイメージとして学生一人ひとりが描けるよう、取り上げる事例の内容を吟味し、徐々にソーシャルワークの詳細な部分に触れていくような順序を考慮して授業計画をたてた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価においては、「知識・理解」(DP1)において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う73%、わりにそうだと思う13%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う67%、わりにそうだと思う20%)、「思考・判断」(DP2)においては、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」いずれも(かなりそうだと思う73%、わりにそうだと思う13%)、「関心・意欲」(DP3)においては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う67%、わりにそうだと思う13%)、「態度」(DP4)においては「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う67%、わりにそうだと思う13%)であった。本科目における教育目標は概ね達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は福祉専門科目の導入にあたる科目であり、必修科目である。カリキュラムの改編に伴い、講義系科目における未学習の部分を先行して演習でとりあげる内容が含まれるが、講義系科目で既習の内容と未学習の内容を踏まえつつ綿密に授業計画を立てることで学生のソーシャルワークに関する理解度を高めること目指していきたい。新カリキュラムにおいて実習開始が2年生からに早まったことを踏まえ、そのための準備性を高めるうえでも重要な科目となる。カリキュラムマップ上の位置づけからみて内容的に妥当であると考え、さらに妥当性を高めるために、授業の運営についてはさらに検討改善に取り組むことも必要であるとする。</p> <p>②DP行動目標からの内容的妥当性 それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性には問題はないとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は4.2～4.5であった。特に「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」において「かなりそうだと思う」と回答した学生が67%と高い割合を占めた。グループディスカッションにあたっては、一人ひとりの学生の意見表明をしやすいように、授業の説明の中でポイントを明確にすること、議論の焦点を絞ること、各自の意見を引き出すような工夫を加えることによって、授業の回数を重ねるごとに学生間の議論が深まり、様々な意見が出されるようになった。グループディスカッションにおいて多様な意見が出されることの重要性、他者の意見に耳を傾けることがさらにディスカッションを発展させていることなど、何気なく行われている行為の中に、コミュニケーションの重要な要素があることを捉え、評価することを大切にしたい。学生の中にはコミュニケーション場面での困難を抱えている学生が少なくないため、一人ひとりの様子を見守りつつ、個別のサポートも学生の状況に応じて行っていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成度自己評価の結果と学生の授業への取り組みや提出物から、教育目標は概ね達成できたとする。演習科目が理論系科目の知識理解を促し、学生の学びを深める意欲を高めることにつながるよう、さらに改善に取り組む。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学と心理的支援 II	1	後期	選択	いいえ	89

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必修科目である」62.5%、「資格に必要である」66.3%、「関心のある内容である」35.0%、「単位数を確保する」30.0%、「GPAをあげる」7.5%、「友人が履修している」5.0%であった。本科目は、今年度履修生より社会福祉士国家試験受験資格に必修の科目となったため、昨年度までと比べて「必修科目」「資格に必要」と答えた学生の比率が上がっている。</p> <p>1年次科目であるため、まずは資格取得科目として受講してみようかという学生が中心である。また、本科目は前期の心理学と心理的支援 I の続きであり、学生が初めて触れるような心理学の基礎的理論や研究を扱うことから、できるだけ具体的な例を挙げて、専門性のある概念や言葉に親しみ、関心を深めるようにしている。</p> <p>毎回、授業前に前回の復習として、授業の流れを振り返り、繰り返し説明することで、知識の定着を図った。学生からはアンケートの自由記述で「毎回前回の復習があり思い出すことができた」という意見を得られた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84.8点であった。80点以上の理想的レベルの者の割合は70.0%、60点～79点の標準レベルの者の割合は30.0%であった。100%の者は標準～理想的レベルの目標達成ができたと考えられる。</p> <p>学生の自己評価においても「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均点は4.2点と高かった。また、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「さまざまな課題を検討する力を得ることができた」の項目も平均点は4.0であり、実感のある学びができたと考えられる。</p> <p>授業後の小レポートにおいて、積極的に授業参加する姿勢（態度）がみられたが、アンケートの「学びを深めたいと意欲をもつことができた」の項目も平均点は4.0であり、授業を通して学ぶ意欲を引き出すことができたことが伺える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、卒業必修ではないが、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験必修科目である。また、それらの資格に加え、養護教諭、保育士など対人援助職としての専門性を養うには、人のこころの理解は基礎である。したがって、1年次の心理学と心理的支援の学習は重要でかつ妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価において「評価基準は明らかであった」「学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.4、中央値は5.0であった。また、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.2であり、教授内容を質、量ともに概ね適切に伝達することができたと考えられる。「わかりやすかった」「5分休憩で、集中力を維持することができた」という意見も得られた。

一部、受講生の中に「説明は理解しやすいものであった」に「全くそうではない」「少しそうではない」と思う方、「質問を受け付け、答える機会が作られていた」に「少しそうではない」と思う方がおられたようである。今期は遠隔授業にて実施したため、学生が登校時に個別に相談に来るといった機会が取りにくかった。学生の立場からすると、分かりにくい部分は、やはり対面で1対1でなければうまく分からなさを伝えることができなかったのではないかと考える。オフィスアワーの活用を促していきたい。

予習をしていない学生は、49.0%であった。一方、復習をしていない学生は21.0%であった。復習に力を入れて取り組んだ学生が多かったと考えられる。取り組んだ学生は「ノートをまとめた」「配布資料やパワーポイントを見直した」など学習内容の定着を図ったり、「難しかったところをインターネットで調べた」「図書館の関連する本を読んだ」など、学習したことさらに知識を広げる行動をとったようである。学生同士で積極的に学びの姿勢を共有し合うような声掛けを行っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の目的とする基礎的知識の形成について、概ね達成できた。

一部学生に、自主的な予習・復習を行い、日々の授業内容について行くことが難しい学生がいたことから、今後そのような学生に対しても十分な学びを促していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育社会学	2	後期	選択	はい	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○教職課程の科目であり、学生の参加意欲はある程度みられるが、教職教養科目であるため教師の専門性との結びつきは明確でないことが多い。</p> <p>○教育の現代的課題などと結びつけながら理解させることで、科目の意味を理解できるよう意識した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>○全学科：平均点92.3点、秀48人 (73.8%)、優12人 (18.5%)、良4人 (6.2%) 可2人 (3.1%)、不可0人 (0.0%)。SD8.41。</p> <p>○福祉学科：平均点93.0点、秀29人 (74.4%)、優7人 (17.9%)、良2人 (5.1%) 可1人 (2.6%)、不可0人 (0.0%)。SD8.33。</p> <p>○福祉学科 (昨年度)：平均点82.0点。秀14名 (29.8%)、優15名 (31.9%)、良12名 (25.5%)、可5名 (10.6%)、不可1名 (2.1%)。SD11.3。</p> <p>○昨年度と比較し大幅に得点が上昇し、成績の分布もほぼ秀と優となった。</p>					
<p>*根拠として、成績 (トータル成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

○教職課程の科目であり、DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置付けからみた内容妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

○昨年度と同程度の学習内容・程度であり、試験に関しても同様であった。

○本年度は次の2点に取り組んだ。(1)レジュメにおける事例や用語解説を充実させた。(2)オンラインで繰り返し学習できる復習テストを充実させた。

○また、オンラインでの試験であったため、試行を複数回行った。

○到達度が非常に高かったのは、試験形式に慣れると同時に、それが復習の機会となったと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

○本年度は非常に満足できる結果であった。

○少数ながら良と可がいた。全ての受講者の動機付けを高める工夫をしたい。

○次年度は対面授業の予定であるため、本年度とは異なる条件で授業を行うことになる。ICTの利点を生かした学習を促すとともに、教材や授業実践の工夫を行いたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
学校保健教育法	3	前期（後期）	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては「資格取得に必要である」82.1%、「必須科目である」46.4%、「関心のある内容である」14.3%であった。</p> <p>これらのことから、授業のオリエンテーションを丁寧に行い授業への関心が高まるように工夫をした。また講義を通して基礎的な知識が定着できるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②授業では、保健教育の授業の基礎（学習指導要領における保健教育の位置づけ、指導案の作成方法など）を講義と演習を通して行った。さらに、学生が題材を決定し学んだことをもとに模擬授業の指導案を作成し、10分間の保健指導を行った。模擬授業をおこなうだけでなく、自己評価、他者評価を行い授業への関心意欲を高め、また授業の質が向上するように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は80.3点（±8.5）であった。理想的レベル（80点以上）は22名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識・理解に関しては、81.0%、思考・判断81.0%、意欲・関心83.0%、技能・表現81.0%であった。知識・理解では、基礎的な問題の正答率は高かったが、基礎的な知識を応用した論述問題の正答率が低かった。このことは、基礎的知識の定着とそれを応用しての理解が不十分であったと考えられる。授業では基礎的な問題の定着を確認しつつ、復習問題を課題に出すなどの工夫を通して、応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた（平均値4.3、中央値4.0）、また、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができた（平均値4.3、中央値4.0）、であった。また、職業選択の参考になった（平均値4.3、中央値4.0）であった。</p> <p>さらに、学生が行った模擬授業において、指導案、教材等の作成の方法などを具体的に示し、達成感を得ることのできる授業内容の工夫を行っていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「保健・医療関係科目」であり、養護教諭一種免許状取得するための看護臨床実習、養護実習の履修要件科目である。 受講動機としては受講動機としては「資格取得に必要である」82.1%、「必須科目である」46.4%、「関心のある内容である」14.3%であった。 また、学生の授業評価においては、知識・理解において知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均値4.3、中央値4.0)と答えている。また、思考・判断において自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた(平均値4.2、中央値4.0)、自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた(平均値4.4、中央値4.0)と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て知識・理解に関する達成度が比較的低かったが、基礎知識を活用し、応用問題に適応するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業以外に取り組んだこととして、「関心を持った法律などについて必携の本を読んだ。」、「授業で取り上げた資料を調べて確認した。」、「参考書を用いての勉強。」など授業に積極的に取り組んでいた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価においては、「実際に模擬授業をして、授業を行う難しさや、教員としての言葉選びの難しさを実感しました。ありがとうございました。」、「模擬授業などの参考動画を見て発表の練習をした。」、「発表の準備をした。」などの意見があった。授業では、講義でしっかりと基礎知識を身につけ、グループワークなどを取り入れ、学校現場で授業を実践できるような力を身につけることができるように授業を改善していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、養護教諭は、学校現場で保健教育の中心となり活躍することが求められる。基礎的な知識を定着させ、学んだ知識をさらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。さらに、教材開発の方法などを取り入れ、学生が保健の授業の楽しさを味わうことができ、達成感を持つことができるような授業内容を工夫していきたい。</p>
-------------------------------	--